

# Endeavor

NJ3100/3100E

ユーザーズマニュアル

ご使用  
の前に

設置  
・  
準備

1

基本  
操作

2

装置の  
増設

3

BIOS  
設定

4

再  
インス  
トール

5

困った  
ときに

6

付録

Windows 7


### ご使用前に


- ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

## 安全にお使いいただくために


このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。









障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。









## ⚠ 警告

 	<p>交流100V以外の電源は、使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
 	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。</li> <li>・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。</li> <li>・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。</li> </ul> <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
 	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。</p>
 	<p>破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを加工しない。</li> <li>・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。</li> <li>・電源コードの上に重いものを載せない。</li> <li>・発熱器具の近くに配線しない。</li> </ul> <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。</p>
 	<p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを本機から取り外して、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>
 	<p>通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>

## ⚠ 警告

		<p>バッテリーパックの金属端子を水、コーヒー、ジュースなどの液体でぬらさないでください。</p> <p>感電・火災・火傷の原因となります。</p>
		<p>水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。</p> <p>感電・火災の原因となります。</p> <p>すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを本機から取り外して、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。</p>
		<p>本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。</p> <p>けが・感電・火災の原因となります。</p>
		<p>メモリーの増設・交換をするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーパックを取り外してください。</p> <p>取り付けのまま作業すると、感電や火傷の原因となります。</p>
		<p>バッテリーパックを、指定以外の方法で充電しないでください。</p> <p>発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。</p>
		<p>本体や付属のバッテリーパックなどを火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。</p> <p>破裂などで火傷の原因となります。</p>
		<p>バッテリーパックの金属端子をショートさせないでください。</p> <p>火傷の原因となります。</p>
		<p>付属のACアダプターやバッテリーパックを、分解・改造しないでください。</p> <p>また、本機には、指定以外のACアダプターやバッテリーパックを使用しないでください。</p> <p>感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。</p> <p>当社指定以外のACアダプターやバッテリーパック、または分解・改造したACアダプターやバッテリーパック（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。</p>
		<p>小さなお子様の手が届く所にバッテリーパックを保管しないでください。</p> <p>なめたりすると、火傷や化学物質による被害の原因となります。</p>
		<p>バッテリーパックには、落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるなど、強い衝撃を与えないでください。</p> <p>破裂や液漏れにより、火傷や化学物質による被害の原因となります。</p>

## ⚠ 警告

	<p>バッテリー駆動時間が極端に短くなった場合は、当社指定の新しいバッテリーパックと交換してください。</p> <p>駆動時間が短くなったバッテリーパックは、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーパックをそのまま使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因となります。</p>
	<p>アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。</p> <p>また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。</p>
 	<p>無線LAN機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。</p> <p>電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。</p>
 	<p>無線LAN機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。</li> <li>・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。</li> <li>・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。</li> <li>・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。</li> <li>・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。</li> </ul>
 	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線LAN機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。</p> <p>電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。</p>
 	<p>無線LAN機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。</p> <p>電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。</p>

## ⚠ 注意

		<p>小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
		<p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p>
		<p>起動状態で本機の通風孔をふさがないでください。 起動状態で通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。 次の点を守ってください。 ・じゅうたんや布団の上のせない。 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。 ・キャリングケースやバッグなどに入れない。</p>
		<p>各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p>
		<p>ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。</p>
		<p>パームレストやキーボードに長時間手を置かないでください。 パームレストやキーボードが熱くなることがあり、低温火傷のおそれがあります。</p>
		<p>ひざの上で長時間使用しないでください。 本機底面が熱くなり、低温火傷の原因となります。</p>
		<p>付属のACアダプターやバッテリーパックは、本機以外には使用しないでください。 火傷・火災の危険があります。</p>
		<p>破損したACアダプターやバッテリーパックを使用しないでください。 火傷・火災の危険があります。 万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、バッテリーパックが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーパックを取り外してください。 そのまま使用を続けると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。</p>

## ⚠ 注意

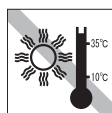
 	ACアダプターを毛布や布団で覆わないでください。 火傷・火災の危険があります。
 	ACアダプターの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。 低温火傷の原因となります。
 	メモリーの増設・交換は本機の内部が高温になっているときには行わないでください。 火傷の危険があります。 作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。
 	液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。 火傷や化学物質による被害の原因となります。 万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。
 	光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。 内部で飛び散って故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。
 	長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。 肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。
	本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
	連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーパックを取り外してください。
 	本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には、水銀が含まれています。

# 製品保護上の注意

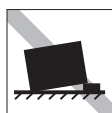
## ▶使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体およびACアダプターやバッテリーパックなどの同梱品に適用されます。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は10°C～35°Cです。



不安定な所には設置しないでください。落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



LCD画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。LCD画面の表面はアクリル製ですので、キズが付いたり、割れたりすることがあります。



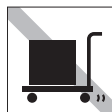
直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



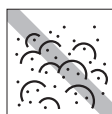
本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。バッテリーパックの状態により、電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えることがあります。



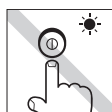
本機を長期間使わないときは、バッテリーパックを本機に装着したままにしないでください。液漏れを起こすことがあります。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。LCDやバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。

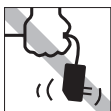




ほかの機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。



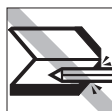
ACアダプターはコードを持って抜き差ししないでください。コードの断線や接触不良の原因となります。



ACアダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。



本機のLCDユニット（液晶ディスプレイ部）を開けた状態で、LCDユニットを持って移動しないでください。



キーボードの上などに、物（ボールペンなど）をはさんだまま、LCDユニット（液晶ディスプレイ部）を閉じないでください。

## ▶記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

### <記録メディアの種類>

**FD**

FD

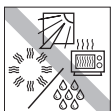
**CD**

光ディスクメディア

**MC**

メモリーカード

記録メディアの種類を指定していない注意事項は、すべての記録メディアに適用されます。



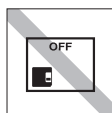
直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



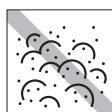
上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多い所では使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。

**FD MC**



磁性面や金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

**FD MC**



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

**FD MC**



何度も読み書きしたFDは使わないでください。磨耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

**FD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

**CD**



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

**CD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

**CD**



クリーナーCD

光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

**CD**



レコードのように回転させて拭かないでください。

内側から外側に向かって拭いてください。

**CD**



シールを貼らないでください。

**CD**



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

**CD**

# 無線LAN使用時における セキュリティに関する注意(無線LAN搭載時のみ)

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線LANを使用する前に、必ずお読みください。

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

## ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

## ● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティー対策を施さず、または、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

# 目次

製品保護上の注意 .....	8
使用・保管時の注意 .....	8
記録メディア .....	9
無線LAN使用時における セキュリティに関する注意（無線LAN搭載時のみ） ...	11

## はじめに

マニュアル中の表記 .....	18
本製品の仕様とカスタマイズ .....	22

## 使い始めるまでの準備

ご使用の前に .....	24
コンピューターを使い始めるまでの手順 ...	24
ご使用前の確認事項 .....	25
添付されているソフトウェア .....	26
本機でできること .....	29
各部の名称と働き .....	30
正面・左側面 .....	30
右側面 .....	33
背面 .....	33
底面 .....	34
コンピューターの設置 .....	35
電源の入れ方とWindowsのセットアップ .....	40
Windowsが使用できるようになるまでの作業 ...	40
電源を入れる前に .....	40
電源の入れ方とWindowsの起動 .....	42
Windowsのセットアップ .....	43
初期設定ツール .....	45
セットアップ完了後の作業 .....	46
Windows使用時の確認事項 .....	47
Windows 7の使用方法 .....	47
音量の調節 .....	48
Windowsの修復 .....	48
セキュリティ対策を行う .....	48
画面表示が消えたときは（省電力機能） ...	48
コントロールパネルの表示 .....	49
フォルダーメニューの表示 .....	50
ユーザーアカウントを作る .....	51
ユーザーアカウント制御画面 .....	52
Windows Live Suite .....	53
PCお役立ちナビを使う .....	54
本機の終了方法 .....	56
電源を切る（シャットダウン） .....	56
スリープにする .....	57

再起動 .....	58
ハングアップしたときは .....	59

## コンピューターの基本操作

ACアダプター / バッテリーパックを使う .....	62
使用時の注意 .....	62
バッテリーの使用可能時間 .....	65
バッテリーの充電 .....	65
バッテリー残量の確認 .....	66
バッテリー残量が少なくなったら .....	66
バッテリーの交換 .....	67
バッテリーの寿命を延ばすには .....	69
バッテリー保管上の注意 .....	69
使用済みバッテリーの取り扱い .....	70
タッチパッドを使う .....	71
タッチパッドの操作 .....	71
タッチパッド機能をOFFにする .....	73
タッチパッドユーティリティを使う ...	73
USBマウス（オプション）の接続 .....	74
キーボードを使う .....	76
キーの種類と役割 .....	76
文字を入力するには .....	77
日本語を入力するには .....	77
数値やアルファベットの入力 .....	78
Fnキーと組み合わせるキー .....	79
入力キーの機能の入れ替え .....	80
インスタントキー .....	81
キー操作でWindows Liveメールを起動するには ...	81
HDDを使う .....	82
データのバックアップ .....	82
購入時のHDD領域 .....	82
HDDを分割して使用する .....	83
光ディスクドライブを使う .....	84
ドライブの機能と使える光ディスクメディア ...	84
光ディスクメディアのセットと取り出し ...	85
強制的な光ディスクメディアの取り出し ...	88
CDメディアの読み込み・再生 .....	88
DVDメディアの読み込み・再生 .....	89
光ディスクメディアへの書き込み .....	91
Nero 9 Essentialsの使い方 .....	92
USB機器を使う .....	94
USB機器の接続と取り外し .....	94
メモリーカードを使う .....	96
本機で使用できるメモリーカード .....	96
メモリーカードのセットと取り外し .....	97

Expressカードを使う .....	100
Expressカードのセットと取り外し .....	100
画面表示をする .....	104
LCDユニットの仕様 .....	104
LCDユニットの調整 .....	105
表示できる解像度と表示色 .....	106
表示に関する各種設定 .....	107
画面サイズを切り替える .....	107
外付けディスプレイに表示する .....	109
ディスプレイの接続 .....	109
画面表示の種類 .....	112
画面表示を切り替えるには .....	113
外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色 ...	117
サウンド機能を使う .....	118
マイクなどの接続 .....	119
音量の調節 .....	120
サウンドユーティリティを使う .....	120
ネットワーク（有線LAN）を使う .....	122
ネットワークの構築 .....	122
インターネットへの接続 .....	123
主な機能 .....	123
無線LANを使う .....	124
対応規格 .....	124
無線LANの概要 .....	124
無線LAN使用時の注意事項 .....	126
無線LAN機能のON/OFF方法 .....	128
無線LAN接続の設定をする .....	129
無線LANを使う .....	134
インターネット接続の設定 .....	134
強固なセキュリティー設定をする .....	134
複数の無線LAN環境を登録する .....	137
インターネットに接続する .....	138
インターネットや電子メールを利用する ...	138
インターネットを使用する際のセキュリティー対策 ...	141
Windows Update .....	141
セキュリティーソフトウェア .....	142
Webフィルタリングソフトウェア .....	144
省電力機能 .....	147
本機を省電力状態にする .....	147
省電力状態に移行する方法 .....	149
その他の機能 .....	151
IEEE1394コネクタ .....	151
インテル・ターボ・メモリ（オプション） ...	151
セキュリティーロックスロット .....	152

## システムの拡張

拡張できる装置 .....	154
メモリーの装着 .....	155
メモリーの仕様 .....	155
メモリー装着の組み合わせ .....	155
作業時の注意 .....	156
メモリーの増設・交換 .....	156
メモリーの増設・交換後の作業 .....	161
外付け可能な周辺機器 .....	162

## BIOSの設定

BIOSの設定を始める前に .....	164
BIOS Setupユーティリティの操作 .....	165
BIOS Setupユーティリティの起動 ...	165
BIOS Setupユーティリティの操作 ...	166
BIOS Setupユーティリティの終了 ...	169
設定値を元に戻す .....	169
パスワードを設定する .....	170
HDDアクセス制限 .....	173
起動（Boot）デバイスの順番を変更する ...	174
BIOS Setupユーティリティの設定項目 .....	176
Mainメニュー画面 .....	176
Advancedメニュー画面 .....	177
Securityメニュー画面 .....	178
Bootメニュー画面 .....	180
Exitメニュー画面 .....	180
BIOS Setupユーティリティの設定値 ...	181

## ソフトウェアの再インストール

再インストールする前に必ずお読みください ...	184
重要事項 .....	184
ソフトウェアの再インストールを行う .....	186
必要なメディア .....	186
再インストールの概要 .....	186
インストールの順番 .....	187
インストール作業における確認事項 .....	189
Windowsのインストール .....	190
Windows 7をインストールする .....	191
リカバリーツールのインストール .....	195
本体ドライバーのインストール .....	195
Adobe Readerのインストール .....	197
セキュリティーソフトウェアのインストール ...	198
Windows Live Suiteのインストール ...	198

WinDVDのインストール .....	199
Nero 9 Essentialsのインストール ....	200
WDLCFォトガジェットのインストール ...	200
Webフィルタリングソフトウェアのインストール ...	201
JWord Pluginのインストール .....	202
gooスティックのインストール .....	202
そのほかのインストール .....	203
再インストール後の作業 .....	204

## 困ったときは

トラブルが発生したら .....	206
起動・画面表示できる場合...	
PCお役立ちナビで調べる .....	206
起動・画面表示できない場合 .....	207
起動・画面表示できないときは .....	208
診断をする .....	208
対処をする .....	209
エラーメッセージ/警告音一覧 .....	214
トラブル時に効果的な対処方法 .....	215
セーフモードでの起動 .....	216
常駐ソフトの停止 .....	216
システムの復元 .....	216
前回正常起動時の構成で起動する .....	217

Windows回復環境 (Windows RE) を使う ...	218
システム診断ツールを使う .....	221

## 付録

お手入れ .....	224
本機のお手入れ .....	224
データのバックアップ .....	225
PCお役立ちナビのデータをバックアップする ...	225
データのバックアップ方法 .....	226
バックアップCDの作成 .....	227
バックアップCDの作成方法 .....	227
バックアップCDからインストールを行うには ...	228
セキュリティーチップ (TPM) によるデータの暗号化 ...	229
HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成 .....	230
HDD領域を分割して使用する (概要) ...	230
Cドライブを分割・変更する .....	231
Cドライブ以外のドライブを作成・変更する ...	234
Cドライブ以外のドライブを削除する ...	237
リチウム電池の交換 .....	238
コンピューターを廃棄するときは .....	239
HDDのデータを消去する .....	239
機能仕様一覧 .....	241
索引 .....	243





# はじめに

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

「マニュアル中の表記」 .....	18
「本製品の仕様とカスタマイズ」 .....	22

# マニュアル中の表記

本書では次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する記号



制限事項です。  
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。  
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。  
例) 『梱包品の確認』: 本機に添付の『梱包品の確認』を示します。







参照先を示します。





操作手順です。  
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。

 はEnterキーを表します。また、 は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。



+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。  
この例では、 を押したまま  を押します。

## 名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CDメディア、DVDメディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリーカード	メモリースティック、マルチメディアカード、SDメモリーカードの総称

## オペレーティングシステム (OS) に関する記述

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows 7	Windows 7 <sup>®</sup> Professional Windows 7 <sup>®</sup> Home Premium
-----------	--

## HDD容量の記述

本書では、HDD容量を1GB (ギガバイト) = 1000MBとして記載しています。

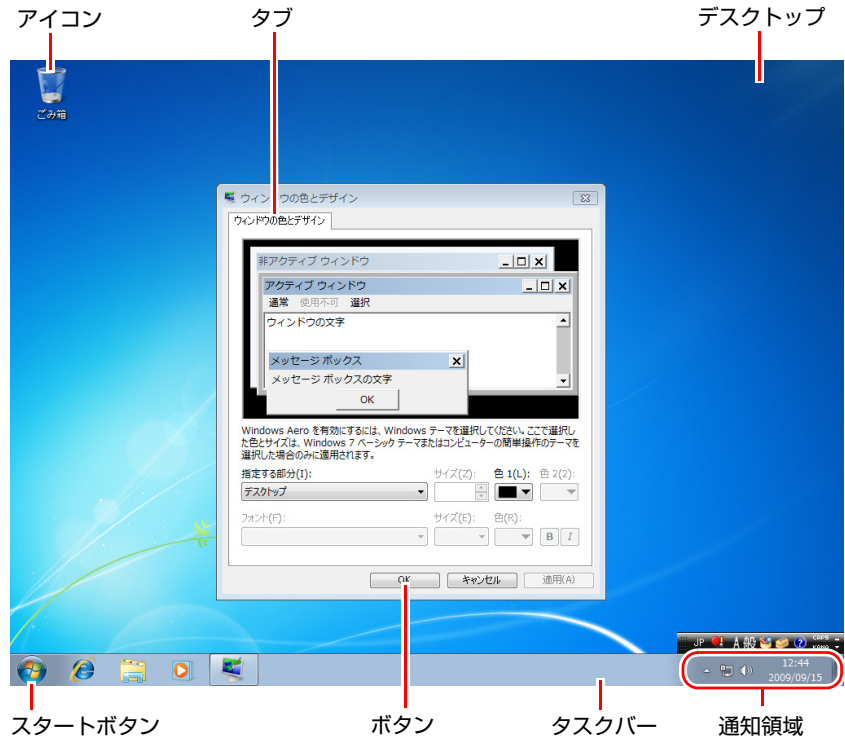
## メモリー容量の記述

本書では、メモリー容量を1GB (ギガバイト) = 1024MBとして記載しています。

## Windowsの画面表示に関する記載方法

### デスクトップ画面

本書では、Windowsの画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。



### ボタン

ボタンは [ ] で囲んで記載します。

例)  : [OK]

### スタートメニュー

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。



## 画面操作

本書では、Windowsの画面上で行う操作手順を次のように記載します。

- 記載例

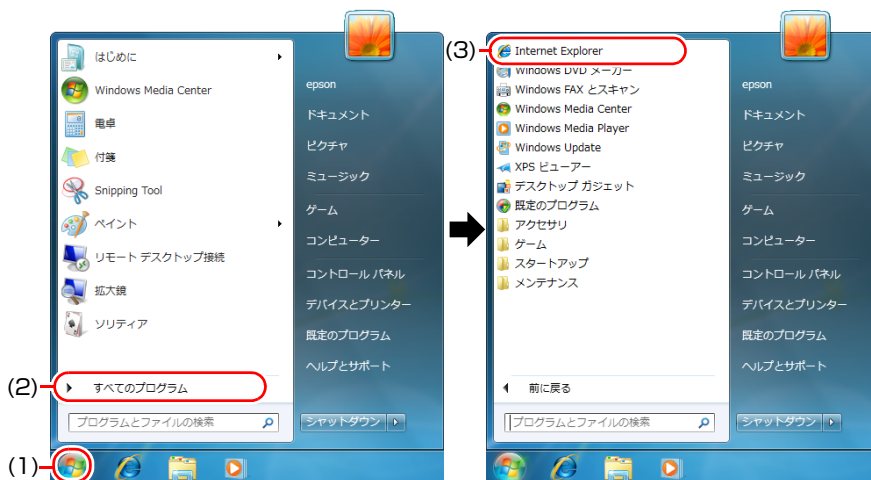
[スタート] – 「すべてのプログラム」 – 「Internet Explorer」をクリックします。

- 実際の操作

(1) [スタート] をクリックします。

(2) 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。

(3) 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。



※表示される項目は、システム構成によって異なります。

# 本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPUの種類・メモリー容量・光ディスクドライブなど、選択した仕様に合わせて、お客様 オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

## 仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROMなどに収録されている電子マニュアル（PDFファイルなど）
- コンピューターに収録されている電子マニュアル（「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅーわ」から閲覧）

# 第1章 使い始めるまでの準備

本機の接続方法、電源の入れ方や切り方、Windowsのセットアップについて説明します。


「ご使用前に」 .....	24
「添付されているソフトウェア」 .....	26
「本機でできること」 .....	29
「各部の名称と働き」 .....	30
「コンピューターの設置」 .....	35
「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」 .....	40
「Windows使用時の確認事項」 .....	47
「PCお役立ちナビを使う」 .....	54
「本機の終了方法」 .....	56

# ご使用前に

## ▶コンピューターを使い始めるまでの手順


購入後にはじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。


梱包品に不足や不良がないかを確認する


 『梱包品の確認』(別冊)





本機を使用する前に必要な情報を確認する


 p.2 「安全にお使いいただくために」


 p.8 「製品保護上の注意」


 p.18 「マニュアル中の表記」

 p.22 「本製品の仕様とカスタマイズ」

 p.24 「ご使用前に」


 p.26 「添付されているソフトウェア」

 p.29 「本機でできること」

 p.30 「各部の名称と働き」




コンピューターを設置し、各機器の接続を行う

 p.35 「コンピューターの設置」



電源を入れ、Windowsをセットアップする

 p.40 「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」



使用開始！



## ▶ご使用前の確認事項

### 貼付ラベルの確認

本機には、製品情報が記載された次のラベルが貼られています。本機をご使用前の前に、ラベルが貼られていることを確認してください。ラベルは絶対にはがさないでください。

- お問い合わせ情報シール

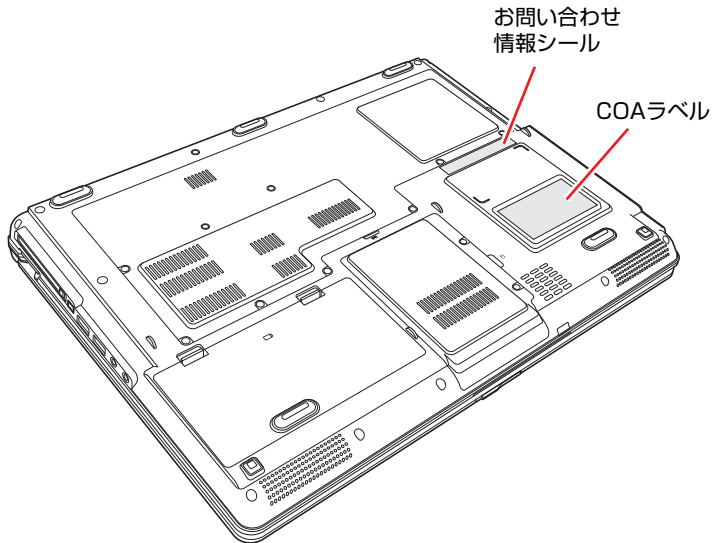
お問い合わせ情報シールには、型番や製造番号が記載されています。当社にサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

お問い合わせ情報シールに記載されている製造番号は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）の表紙に書き写しておいてください。

- COAラベル

COAラベル（Certificate of Authenticityラベル）は、正規のWindows商品を購入されたことを証明するラベルです。

万一、COAラベルを紛失された場合、再発行はできません。



### サポート・サービスのご案内




『サポート・サービスのご案内』には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや、万一の場合に備えてお読みいただくことをおすすめします。

# 添付されているソフトウェア





購入時、本機にインストールされているソフトウェアと、購入後、必要に応じてインストールするソフトウェアは次のとおりです。


## 表中記号の見方

	ソフトウェアは添付のDVDまたはCDに収録されています。
	ソフトウェアはHDDの「消去禁止領域」に収録されています。この領域を削除すると再インストールができなくなります。「消去禁止領域」は、絶対に削除しないでください。  p.83 「消去禁止領域とは」

## 本機にインストールされているソフトウェア


購入時、次のソフトウェアは、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
● Windows 7 本機のオペレーティングシステム (OS) です。	 Windows 7リカバリー DVD
● リカバリーツール HDDの消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアを再インストールするためのプログラムです。	 リカバリーツールCD
● チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	 消去禁止領域
● Intel Matrix Storage Manager Windows 上でHDDの状態を確認するためのユーティリティです。 インテル・ターボ・メモリ (オプション) を使用するためのドライバーも含まれています。	
● ビデオドライバー Windowsを高解像度・多色で表示するためのドライバーです。	
● サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。	
● タッチパッドドライバー タッチパッドを使用するためのドライバーです。	
● ネットワークドライバー ネットワーク機能 (有線LAN) を使用するためのドライバーです。	
● 無線LANドライバー (無線LAN搭載時) 無線LANを使用するためのドライバーです。	
● メモリーカードドライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。	
● インスタントキードライバー  と組み合わせて使用する機能キーや、インスタントキーを使用するためのドライバーです。	
● インスタントキーユーティリティ インスタントキーを使用するためのユーティリティです。	

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Java2 Runtime Environment</b> Javaアプリケーションを実行するためのソフトウェアです。</li> </ul>	 消去禁止領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>PCお役立ちナビ</b> コンピューターの情報簡単に検索できるサポートツールです。システム診断ツールも含まれています。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Adobe Reader</b> PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版</b> ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐWebセーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザープラス」も含まれています。購入時の選択によっては、インストールされていません。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Windows Live Suite</b> 「Windows Liveメール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>WinDVD</b> DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Nero 9 Essentials (書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時)</b> 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。</li> </ul>	

## 必要に応じてインストールするソフトウェア


次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。Windowsのセットアップ後に必要に応じてインストールしてください。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>WDLCフォトガジェット</b> デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。Windows 7 Home Premiumの場合は、購入時にインストールされています。</li> </ul>	 消去禁止領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>i-フィルター 5 30日版</b> インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを防止するWebフィルタリングソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>JWord Plugin</b> Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索するためのソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>gooスティック</b> Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するためのソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>セキュリティーチップユーティリティ</b> セキュリティーチップ (TPM) の設定を行うためのユーティリティです。</li> </ul>	

## その他のソフトウェア

次のソフトウェアは、CDから起動して実行します。インストールは必要ありません。

 p.221 「システム診断ツールを使う」

その他のソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"><li>● システム診断ツール コンピューターの調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD内のデータを消去することもできます。</li></ul>	 リカバリーツールCD



### 消去禁止領域に収録されているソフトウェアのバックアップ

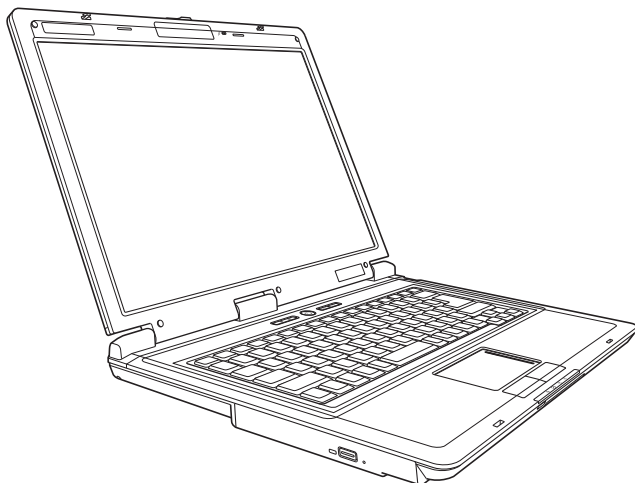
書き込み機能のある光ディスクドライブを搭載している場合、HDDの「消去禁止領域」に収録されているソフトウェアを、CDにバックアップすることができます。

 p.227 「バックアップCDの作成方法」

---

# 本機でできること

本機は、15.4型ワイド液晶ディスプレイを搭載したノート型コンピューターです。  
本機では、次のようなことができます。



インターネットやメールを利用する

 p.138

光ディスクを再生する  
光ディスクにデータを保存する (オプション)

 p.84

ネットワークに接続する

 p.122

無線LANを使う (オプション)

 p.124

USB機器を接続して使う

 p.94

IEEE1394機器を接続して使う

 p.151

メモリーカード (メモリースティックなど)  
やExpressカードを使う

 p.96  p.100

音声の入力・出力をする

 p.118

画面表示を調整する

 p.104

外付けディスプレイに表示する

 p.109

省電力機能を使う

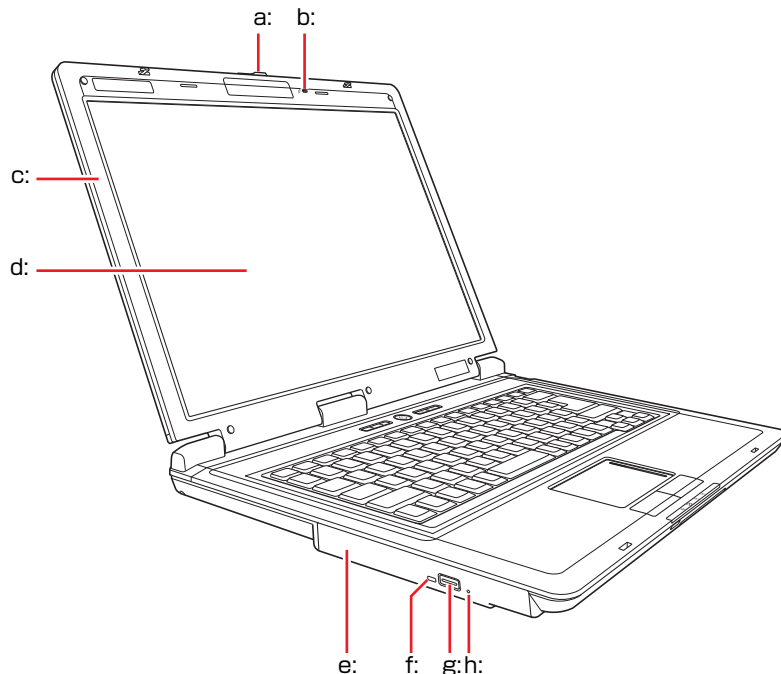
 p.147

メモリーを増設・交換する

 p.155

# 各部の名称と働き

## ▶正面・左側面



**a: LCDラッチ**

LCDユニットを開くときにスライドします。

**b: 内蔵マイク**

音声をコンピューターに取り込みます。

**c: LCDユニット**

LCD画面を含めたカバー部分です。

**d: LCD画面**

入力した文字や、作業内容を表示します。

**e: 光ディスクドライブ**

光ディスクメディアの読み込みや書き込みなどを行います（光ディスクドライブにより使用できるメディア、機能は異なります）。

**f: 光ディスクドライブアクセスランプ\***

メディアへのアクセス中に点灯・点滅します。

**g: 光ディスクドライブイジェクトボタン\***


光ディスクドライブのディスクトレイを開けるときに押します。

**h: 光ディスクドライブイジェクトホール\***

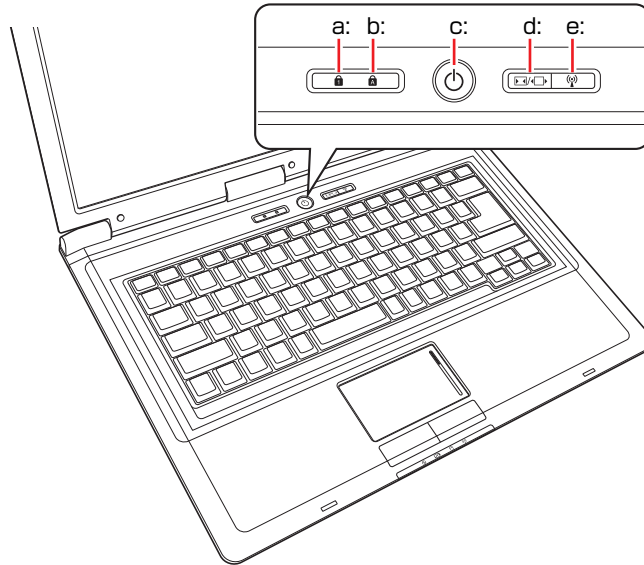
光ディスクドライブのディスクトレイが開かなくなった場合に使用します。

\* 位置は光ディスクドライブによって異なります。光ディスクドライブのPDFマニュアルをご覧ください。

PDFマニュアルは、「マニュアルびゅーわ」からご覧になれます。

 p.54 「PCお役立ちナビを使う」

## ステータス表示ランプ／電源スイッチ／インスタントキー

**a: NumLockランプ**

NumLockキーの設定状態を表示します。青色に点灯しているときは、数値キーモードに設定されています。

**b: Caps Lockランプ**

Caps Lockキーの設定状態を表示します。青色に点灯しているときは、アルファベットの大文字を入力することができます。

**c: 電源スイッチ**

電源の入/切を行います。また、スリープ状態や休止状態からの復帰にも使用します。

**d: 画面サイズ切り替えキー**

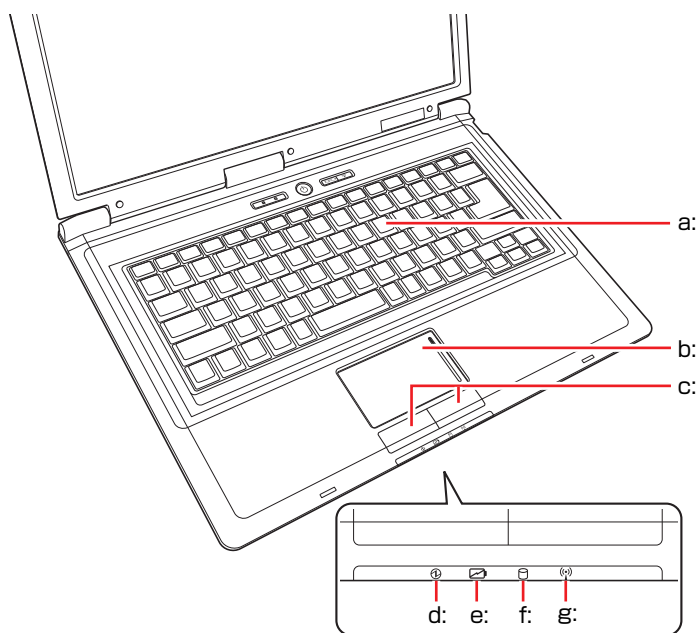
キーを押すたびに、画面のサイズを切り替えます。

**e: 無線LANキー**

<無線LAN搭載時のみ機能>

無線LANのON/OFFを切り替えます。

## キーボード／タッチパッド／ステータス表示ランプ



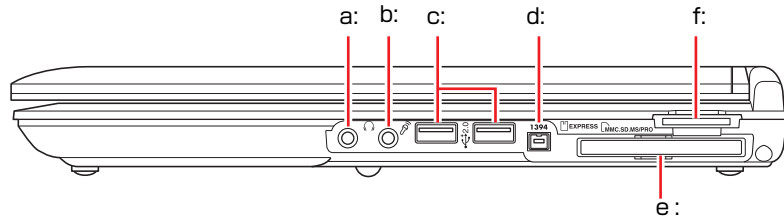
- a: キーボード  
文字の入力やソフトウェアの操作などを行います。
- b: タッチパッド  
指を軽く乗せて操作することにより、画面上のポインターを操作します。
- c: クリックボタン  
マウスの左右ボタンに相当します。
- d: 電源ランプ ①  
電源状態を示します。  
青点灯：通常  
青点滅：スリープ状態  
消 灯：電源切断時または休止状態
- e: バッテリー充電ランプ ②  
バッテリーの充電状態を示します。  
オレンジ色点灯：充電中  
消 灯：満充電
- f: HDDアクセスランプ ③  
HDDアクセス中に青色に点灯します。
- g: 無線LAN状態ランプ ④  
<無線LAN搭載時のみ機能>  
無線LANがONのときに青色に点灯します。



アクセスランプが点灯・点滅しているときに本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。データが破損するおそれがあります。

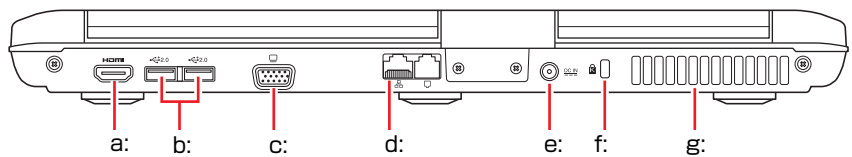


## ▶ 右側面



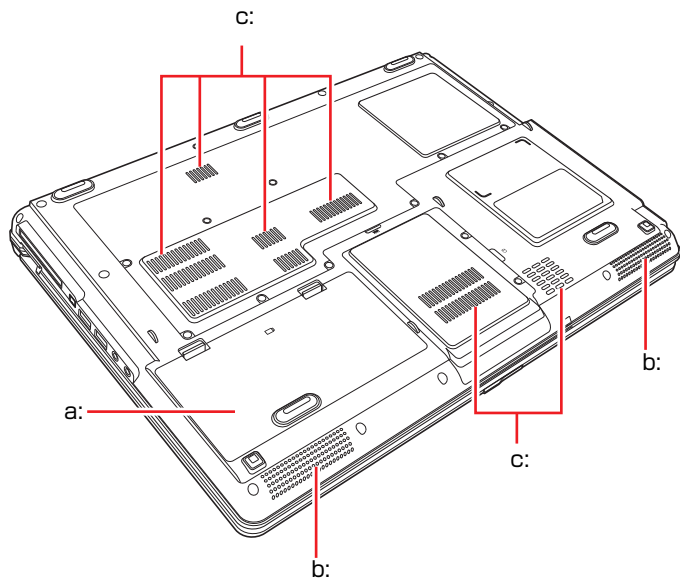
- a: ヘッドホン出力コネクタ   
 スピーカー、ヘッドホンなどを接続します。
- b: マイク入力コネクタ   
 マイクを接続します。
- c: USBコネクタ 2.0  
 USB対応機器を接続します。
- d: IEEE1394コネクタ **1394**  
 IEEE1394 機器を接続します (4ピン)。
- e: Expressカードスロット EXPRESS  
 Expressカードをセットします。
- f: メモリーカードスロット MMC.SD.MS.PRO  
 メモリーカードの読み込みや書き込みなどを行います。

## ▶ 背面



- a: HDMIコネクタ **HDMI**  
 外付けディスプレイ (HDMI対応、デジタルタイプ) を接続します。
- b: USBコネクタ 2.0  
 USB対応機器を接続します。
- c: VGAコネクタ   
 外付けディスプレイ (アナログタイプ) を接続します。
- d: LANコネクタ   
 ネットワークと接続します。
- e: ACアダプターコネクタ **DCIN**  
 付属のACアダプターを接続します。
- f: セキュリティーロックスロット   
 市販の盗難抑止用ケーブル (ワイヤー) を取り付けます。
- g: 通風孔  
 コンピューター内部で発生する熱を排出します。

## ▶底面



**a: バッテリーパック**

着脱可能な充電式の電池です。

**b: 内蔵ステレオスピーカー**

警告音（ビープ音）や音声などを鳴らします。

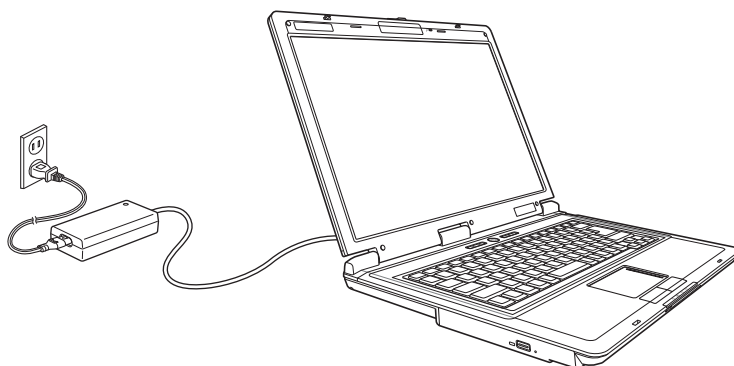
**c: 通風孔**

コンピューター内部に外気を取り入れます。

# コンピューターの設置

本機を使用できる状態にするために、バッテリーパックを装着したり、ACアダプターを接続したりする手順を説明します。

プリンターなどの周辺機器を接続する場合は、Windowsのセットアップ完了後に周辺機器のマニュアルを参照して行ってください。



1

## 設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 起動状態で本機の通風孔をふさがないでください。  
起動状態で通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。  
次の点を守ってください。
  - ・ じゅうたんや布団の上へのせない。
  - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
  - ・ キャリングケースやバッグなどに入れない。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱くなり、低温火傷の原因となります。

## 各種コードやバッテリーパック装着時の注意



警告

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - ・ 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・ 電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。

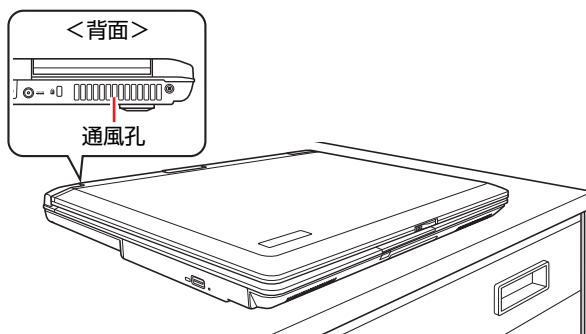


注意

各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

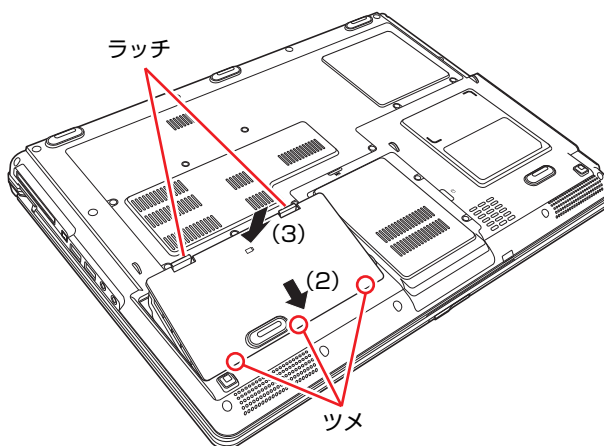
## 設置する

- 1 本機を設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）に置きます。  
背面の通風孔をふさがないようにしてください。




## バッテリーパックを取り付ける

- 2 バッテリーパックを取り付けます。
  - (1) 本機の底面部を上にして置きます。
  - (2) バッテリーパックのツメ（3箇所）を本体に合わせます。
  - (3) ラッチ側を押し込みます。  
正しくセットされると、「カチッ」と音がします。



出荷時にバッテリーパックは満充電状態ではありません。バッテリーパックだけで使用する場合は、使用前に充電が必要です。

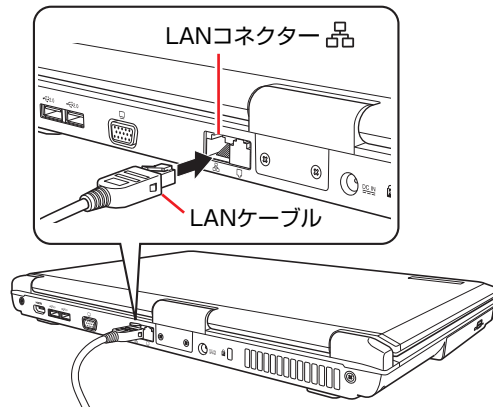
 p.62 「ACアダプター/バッテリーパックを使う」

## ネットワークへ接続する

- 3** ネットワーク（有線LAN）を使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクタ（品）に接続します。

LANケーブルが抜けないように、しっかり差し込んでください。

インターネットへの接続作業はWindowsのセットアップ後に行います。接続方法は、通信サービス会社やプロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。



## ACアダプターを接続する

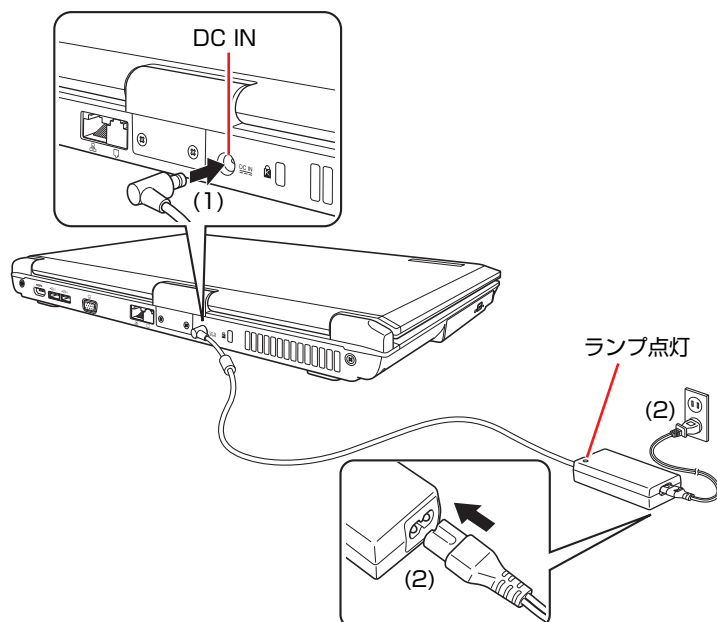
本機を持ち運ぶ必要がない場合は、通常ACアダプターを接続して使用します。

### 4 ACアダプターをコンピューターと家庭用電源コンセントに接続します。

(1) ACアダプターのプラグ部を本機背面のACアダプターコネクタ（**DC IN**）に接続します。

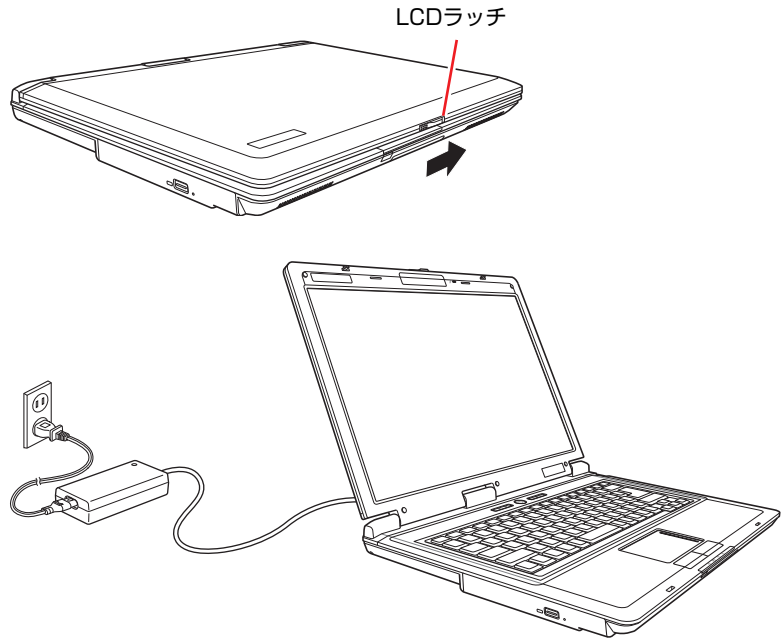
プラグ端子部が見えなくなり、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

(2) 電源コードをACアダプターと家庭用電源コンセントに接続します。



## LCDユニットを開ける

- 5** 前面のLCDラッチを右側にスライドさせて、LCDユニットを開きます。  
LCDユニットは、見やすい角度に調整してください。



これでコンピューターの設置は完了です。

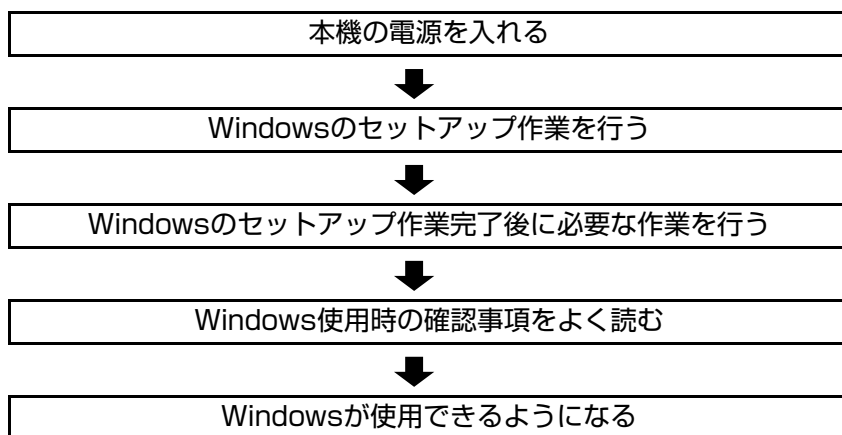
# 電源の入れ方とWindowsのセットアップ

ここでは、本機を購入後にはじめて電源を入れてから、Windowsを使用できる状態にするまでの作業について説明します。

## ▶Windowsが使用できるようになるまでの作業

---

作業の流れは、次のとおりです。



## ▶電源を入れる前に

---

### Windowsのセットアップとは

「Windowsのセットアップ」は、コンピューターが届いてから、はじめて電源を入れたときにユーザー情報などを設定するプログラムです。画面に表示されるメッセージに従って、セットアップを簡単に行うことができます。

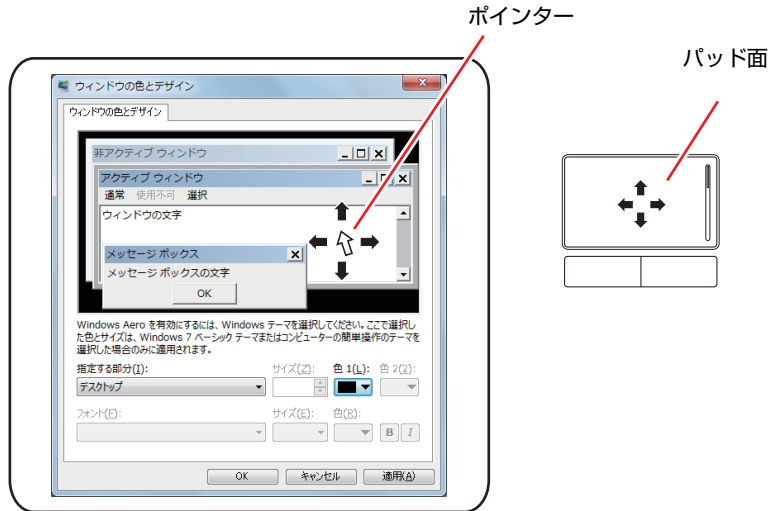


## タッチパッドの使い方

Windowsのセットアップは、タッチパッドの操作で行います。セットアップで必要なタッチパッドの基本操作は、次のとおりです。

### ● ポインターを動かす

人差し指をタッチパッドのパッド面に触れたまま前後左右に動かすと、Windows画面に表示されているポインターも指と同じ動きをします。



### ● ボタンをクリックする

(1) 指を動かして、ポインターを画面のボタンの上に重ねます。

(2) 左クリックボタンを、1回「カチッ」と押して離します。

この動作を「クリック」と言います。

画面のボタンをクリックすると、ボタンに表示されている操作が実行されます。



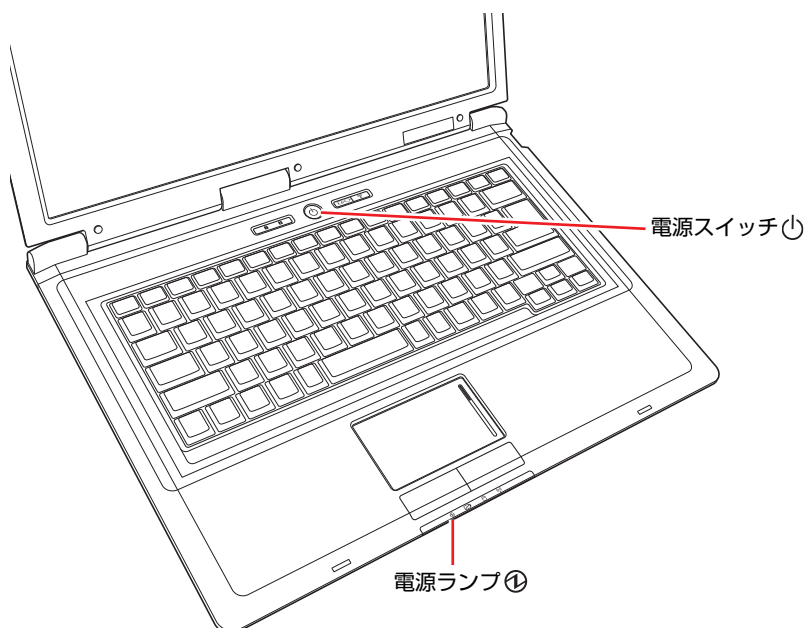
## ▶電源の入れ方とWindowsの起動

本機の電源の入れ方は、次のとおりです。

### 1 電源スイッチ (⏻) を押して、本機の電源を入れます。

電源ランプ (①) が点灯します。

電源を入れたときに電源ランプが点灯しない場合は、ACアダプターやバッテリーパックが正しく接続されているか確認してください。



### 2 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、しばらくするとWindowsが起動します。

画面の角度や明るさを調整して画面を見やすくします。

#### ● 角度

LCDユニットの角度を調整します。

#### ● 画面の明るさ

**Fn** + **F5** (☀) : 暗くなります。


**Fn** + **F6** (☀) : 明るくなります。

※ キー操作での調整は、Windowsを再起動すると元に戻ります。

明るさの設定を保存する方法は次をご覧ください。

 p.105 「LCDユニットの調整」

続いて、Windowsのセットアップを行います。

 p.43 「Windowsのセットアップ」

## ▶ Windowsのセットアップ

電源を入れたあと、しばらくすると自動的にWindowsのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。セットアップ作業の流れは、次のとおりです。

### Windowsのセットアップ

「国または地域」、「時刻と通貨の形式」、「キーボードレイアウト」を確認し、「次へ」をクリックします。



### 新しいアカウントのユーザー名とコンピューター名を入力してください

ユーザー名、コンピューター名を入力し、「次へ」をクリックします。

※ コンピューター名は、本機をネットワーク（家庭内LANや社内LAN）に接続して使用する場合に必要です。

- ネットワークに接続しない場合は、セットアップ時にコンピューター名を変更する必要はありません。
- ネットワークに接続する場合は、ネットワーク上にあるほかのコンピューター名と重複しないように、コンピューター名を変更してください。



### ユーザーアカウントのパスワードを設定します

パスワード（任意）を入力し、「次へ」をクリックします。

※ パスワードは必要に応じて入力してください。パスワードを設定すると、設定したユーザー名（アカウント）でログオン時にパスワードの入力が要求されます。パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。



### ライセンス条項をお読みください

画面に表示された条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」（2箇所）にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。



### コンピューターの保護とWindowsの機能の向上

更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

※ 「推奨設定を使用します」を選択すると、Windows Updateが自動で行われるようになります。



p.141 「Windows Update」



**日付と時刻の設定を確認します**

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、「次へ」をクリックします。



**ワイヤレスネットワークの接続**

無線LAN機能が有効になっている場合、表示されます。設定は後で行うため、「スキップ」をクリックします。



**お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください**

ネットワークに接続している場合、表示されます。使用する場所を選択します。




**デスクトップ画面の表示**

Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



<イメージ>

これでWindowsのセットアップは完了です。  
続いて、初期設定ツールでソフトウェアのインストールなどを行います。

 p.45 「初期設定ツール」

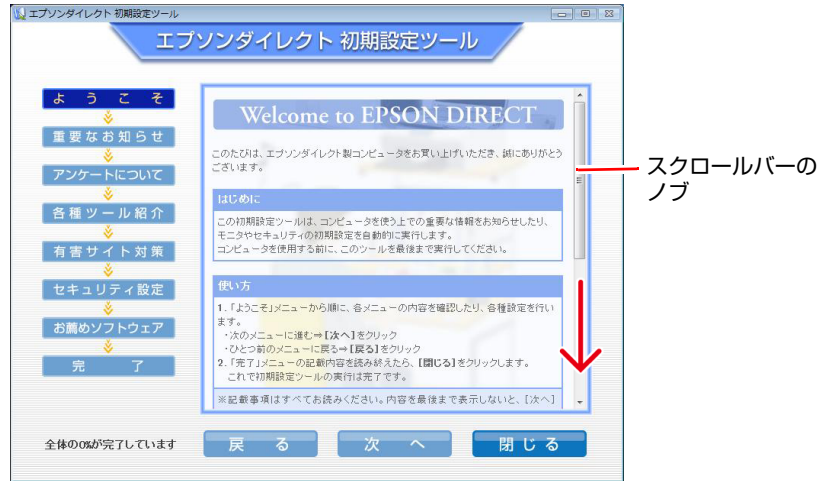
**参考**

**ライセンス認証**

購入時に本機にインストールされているWindowsや、「Windows 7リカバリーDVD」から再インストールを行ったWindowsは、ライセンス認証を行う必要はありません。

## ▶初期設定ツール

Windowsのセットアップが完了すると、「初期設定ツール」が自動的に起動します。初期設定ツールは、本機を使用する前に必要な設定を行ったり、本機に添付のソフトウェアをインストールしたりするためのツールです。画面の指示に従って設定を行ってください。



<イメージ>

※ 画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ]はクリックできません。

### 参考

#### 初期設定ツールの起動方法

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合などは、次の方法で起動することができます。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」


## ▶セットアップ完了後の作業

---

Windows のセットアップと初期設定ツールの作業が完了したら、次の作業を行います。

### ネットワークに接続する


ネットワーク機能（有線LAN）や、無線LAN機能（オプション）を使用する場合は、ネットワークに関する情報が必要です。お使いのネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

 p.122 「ネットワーク（有線LAN）を使う」

 p.134 「無線LANを使う」

### PCお役立ちナビのバックアップ

サポートツール「PCお役立ちナビ」に収録されているコンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）は、Windowsを再インストールすると消去されます。あらかじめバックアップを行ってください。

 p.185 「PCお役立ちナビのバックアップ」

### システムイメージを保存する

事前にシステムイメージを保存しておく、と、なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

不具合発生時に回復できるように、システムイメージを保存しておくことをおすすめします。

保存方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「トラブル解決」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

# Windows使用時の確認事項


「セットアップ完了後の作業」が終わると、Windowsを使用できます。ご使用の前に次の事項を確認してください。

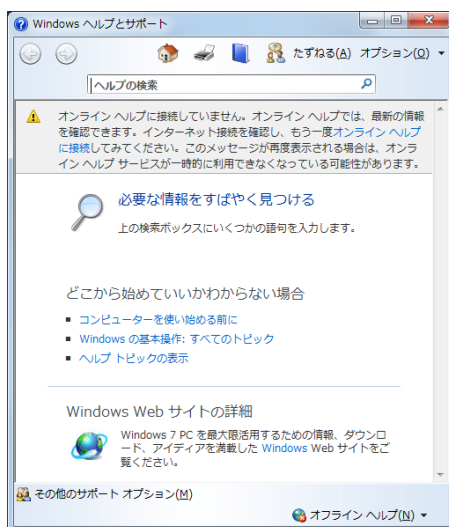
## ▶ Windows 7の使用方法

Windows 7の使用方法は、次をご覧ください。


### ● ヘルプとサポート

「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] (  ) - 「ヘルプとサポート」












### ● PCお役立ちナビ

 p.54 「PCお役立ちナビを使う」



## ▶音量の調節


Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が大きすぎたり小さすぎたりする場合には、音量を調節します。  
次のキーを操作してください。

キー操作	状態
 +  	一度押すとミュート（消音）になり、もう一度押すとミュートが解除される。
 +  	音量が小さくなる。
 +  	音量が大きくなる。

## ▶Windowsの修復

本機のHDDには「Windows回復環境」が設定されています。これは、Windowsが起動できないなどの不具合を修復する機能です。


Windowsが起動できないときなどは実行してみてください。

 p.218 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

## ▶セキュリティー対策を行う


本機には、外部と接続することで高まる危険から、本機を守るためのセキュリティー機能が搭載されています。

インターネットに接続する場合は、セキュリティー対策を行ってください。

 p.141 「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

## ▶画面表示が消えたときは（省電力機能）

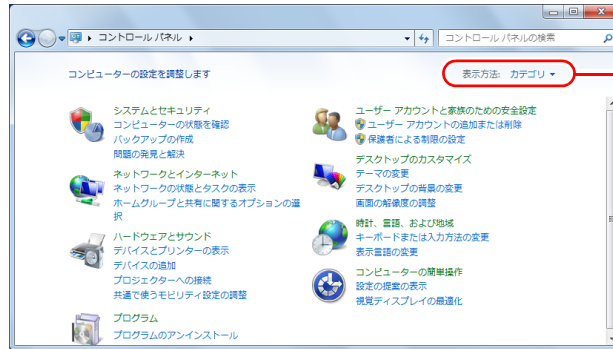
本機は、一定時間タッチパッドやキーボードの操作をしないと、省電力機能が働いて画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて、本機の電源ランプが点滅している場合は、スリープ状態になっています（購入時の設定）。この場合は、電源スイッチを押すか、キーボードを操作すると元に戻ります。

 p.150 「省電力状態からの復帰方法」



## ▶コントロールパネルの表示

本書では、コントロールパネルの表示が「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



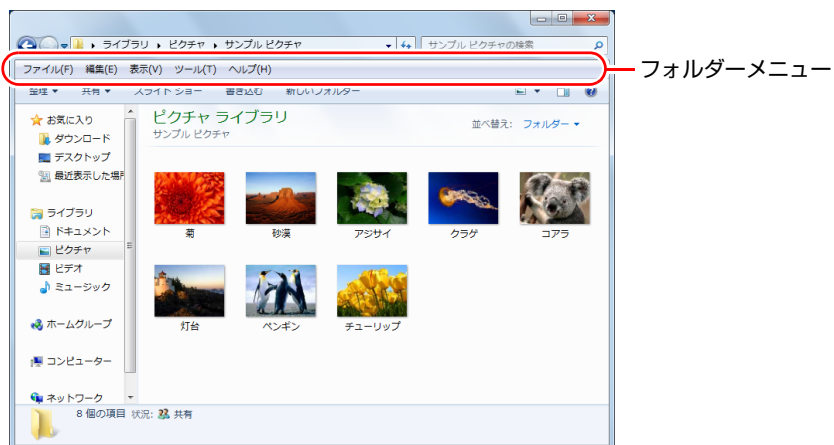
表示の切り替え

<表示方法：カテゴリ>

## ▶フォルダーメニューの表示

Windows 7では、「ファイル」や「ツール」などのフォルダーメニューが標準では表示されません。

フォルダーメニューを表示したい場合は、**[Alt]**を押します。もう一度**[Alt]**を押すと、フォルダーメニューは表示されなくなります。



### 常にフォルダーメニューを表示する

常にフォルダーメニューを表示したい場合は、次の設定を行ってください。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォルダーオプション」 - 「表示」タブ - 「常にメニューを表示する」にチェックを付けます。

## ▶ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成します。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windowsをユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

### ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【ユーザーアカウントと家族のための安全設定】 - 【ユーザーアカウント】 - 【別のアカウントの管理】 - 【新しいアカウントの作成】

ユーザーアカウントの種類（権限）は、ユーザーに応じて設定してください。

### ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの種類（権限）には、次の2種類あります。

- **管理者**


すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバー、ソフトウェアのインストールをすることができます。

購入時やリカバリー時のWindowsのセットアップで入力したユーザー名（アカウント）は、「管理者」になります。

- **標準ユーザー**

一部のシステム項目の変更や、ドライバー、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

## ▶ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで  が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ドライバーやソフトウェアのインストールをしようすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。



表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、ユーザーアカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントでログオンした状態を前提に記載しています。

## ▶ Windows Live Suite

本機には、Windows Liveの以下のソフトウェアがインストールされています。

- Windows Live メール
- Windows Live Messenger
- Windows Live フォトギャラリー
- Windows Live Writer
- Windows Live ムービーメーカー
- Microsoft Silverlight

### 起動方法

Windows Live Suiteの各ソフトウェアは、次の場所から起動します。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【Windows Live】

### 使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次の場所をご覧ください。

- 各ソフトウェアのヘルプ
- 「PCお役立ちナビ」画面下「ユーザーサポート」 - 「FAQ 番号：29148」
- Windows Liveのヘルプページ  
<http://help.live.com>

### Windows Live IDを作成する

Windows Liveを使用するには、Windows Live IDが必要になります。Windows Live IDは無償で作成することができます。インターネットへ接続後、各ソフトウェアの「サインイン」画面で作成してください。

次のいずれかのサービスをご利用の場合は、そのアカウントをWindows Live IDとして使うことができます。

- MSN Hotmail
- MSN Messenger
- Microsoft Passport

### サポートについて

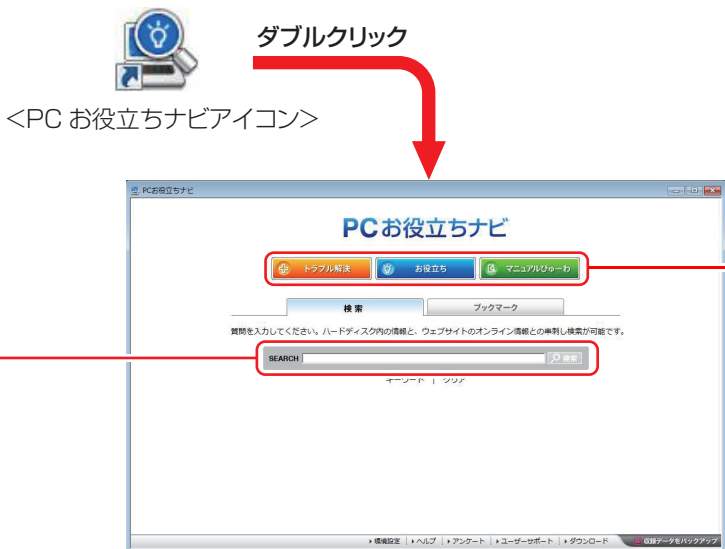
Windows Live Suiteのサポートは、マイクロソフト社で行っています。無償サポートは、電子メールのみです。

サポートの詳細は、次のWebページをご覧ください。

<http://support.live.com>

# PCお役立ちナビを使う

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立ち情報を知りたいときなどにお使いください。

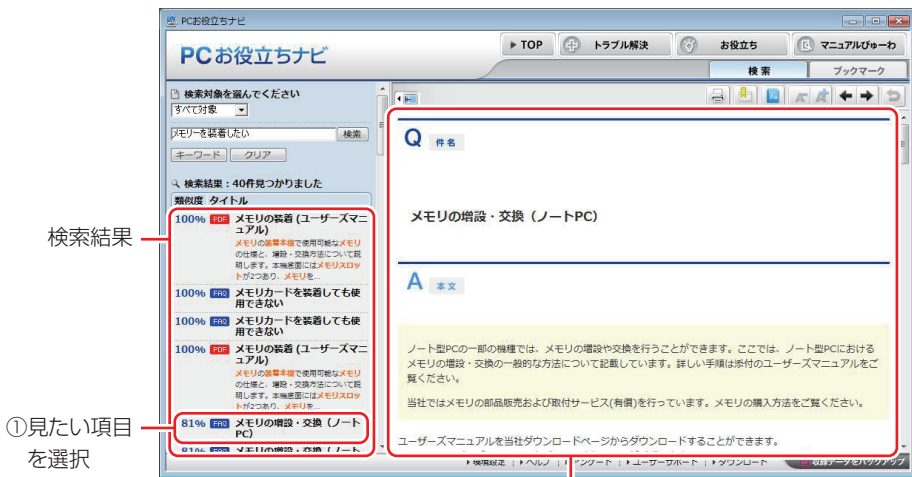


## ① 検索をする

TOPページから  
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート  
ページのオンライン情報を一度に検索

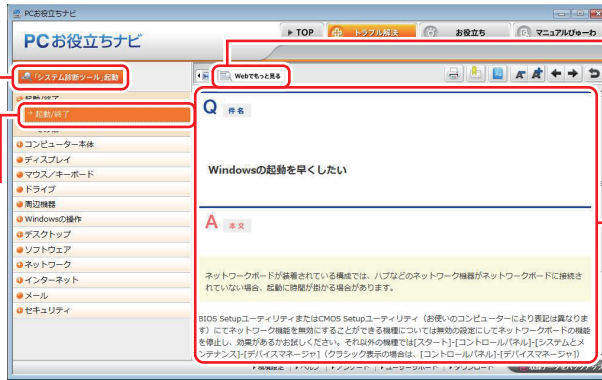
※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど  
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。



② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

**トラブル解決** トラブルを解決するのに役立つ情報を収録しています。

- システム診断  
を実行
- ①トラブルの種類  
を選択

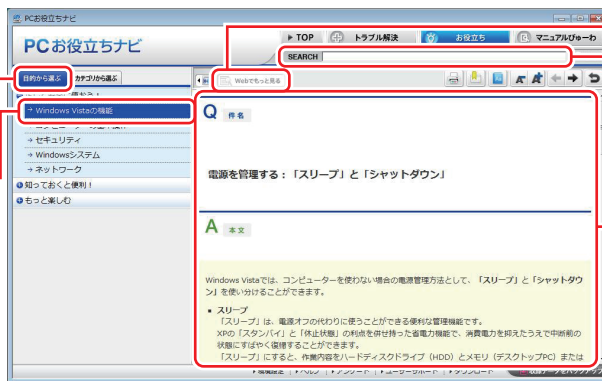


もっと情報が見たいとき  
→Webへ

②内容が表示される

**お役立ち** コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

- ①情報の分類を  
選択
- ②見たい項目を  
選択



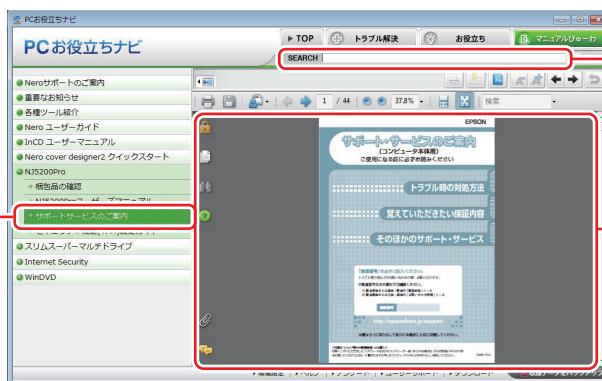
もっと情報が見たいとき  
→Webへ

「お役立ち」内の情報を  
を検索

③内容が表示される

**マニュアルびゅーわ** 本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

- ①見たいマニュアル  
を選択



「マニュアルびゅーわ」  
内の情報を検索

②マニュアル (PDF)  
が表示される

1

# 本機の終了方法

ここでは、本機の終了方法や再起動方法について説明します。

## ▶電源を切る（シャットダウン）


本機の電源の切り方と入れ方について説明します。

### 電源の切り方

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。



- 電源を切って、もう一度電源を入れる場合は、電源を入れるときに電気回路に与える電氣的な負荷を減らし、HDDなどの動作を安定させるために、20秒程度の間隔を空けてください。
- HDDなどのアクセスランプ点灯中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っても、バッテリーパックが装着されていたり電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。

- 1 [スタート] (  ) - 「シャットダウン」をクリックします。  
Windowsが終了し、自動的に電源が切れます。
- 2 接続している周辺機器の電源を切ります。

### シャットダウン時の注意


Windowsを複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、[いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。



## 電源の入れ方

シャットダウン状態から本機の電源を入れる方法は、次のとおりです。



- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- USBフラッシュメモリーやUSB HDDなどを接続していたり、USB FDDにFDがセットされている状態で本機の電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。USB記憶装置は、Windows起動後に接続してください。
- USB記憶装置を接続した状態でWindowsを起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」で起動するデバイスの順番を変更してください。  
 p.174 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」
- 電源を入れなおすときは、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDDなどの動作を安定させます。

### 1 電源スイッチ (⏻) を押します。

本機の電源が入り、Windowsが起動します。

## ▶スリープにする

本機をスリープにして終了する方法とスリープから復帰させる方法について説明します。

### 終了方法

本機をスリープにして終了する方法は、次のとおりです。

### 1 [スタート] - [D] - 「スリープ」をクリックします。

本機が「スリープ」になります。画面表示が消え、電源ランプが点滅します。



ほかの方法でスリープにする

次の方法でも、本機をスリープにすることができます。

- 電源スイッチ (⏻) を押す
-  +  () を押す
- LCDユニットを閉じる

## 復帰方法

本機をスリープから復帰させる方法は、次のとおりです。



復帰の際、周辺機器はスリープに入る前と同じ状態にしてください。  
スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

- 1 電源スイッチ (⏻) を押します。  
本機が通常状態に復帰します。  
キーボードを操作しても復帰できます。

## ▶再起動

---

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」といいます。

### 再起動方法

本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - [▷] - 「再起動」をクリックします。

次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windowsの動作が不安定になった場合

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

## ▶ ハングアップしたときは

ソフトウェアやWindowsがキーボードやタッチ패드からの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。ソフトウェアの強制終了をしても状態が改善されない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

### ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。「Windowsタスクマネージャー」が起動します。
- 3** 「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して「タスクの終了」をクリックします。

### 強制的に電源を切る

**Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** コンピューターの電源スイッチ (⏻) を5秒以上押し続けます。本機の電源が切れます。



# 第2章 コンピューターの基本操作

キーボードやタッチパッド、光ディスクドライブの使い方など、コンピューターの基本的な操作方法について説明します。

「ACアダプター / バッテリーパックを使う」 .....	62
「タッチパッドを使う」 .....	71
「キーボードを使う」 .....	76
「HDDを使う」 .....	82
「光ディスクドライブを使う」 .....	84
「USB機器を使う」 .....	94
「メモリーカードを使う」 .....	96
「Expressカードを使う」 .....	100
「画面表示をする」 .....	104
「外付けディスプレイに表示する」 .....	109
「サウンド機能を使う」 .....	118
「ネットワーク（有線LAN）を使う」 .....	122
「無線LANを使う」 .....	124
「インターネットに接続する」 .....	138
「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」 .....	141
「省電力機能」 .....	147
「その他の機能」 .....	151

# ACアダプター/バッテリーパックを使う

本機は、ACアダプターまたはバッテリーパックを取り付けて使用します。バッテリーパック（以降、バッテリー）は、着脱可能な充電式のリチウムイオン（Li-ion）電池です。

## ACアダプターとバッテリーの型番


本機のACアダプターとバッテリーの型番は、次のとおりです。

- ACアダプター：SADP-65KB
- 標準バッテリー：BT3203-B

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機のACアダプターまたはバッテリーを選択してください。

当社ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>

バッテリーの交換方法は、 p.67 「バッテリーの交換」をご覧ください。

## ▶使用時の注意



- バッテリーを、指定以外の方法で充電しないでください。  
発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体や付属のバッテリーなどを火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- バッテリーの金属端子をショートさせたり、水・コーヒー・ジュースなどの液体でぬらさないでください。感電・火災・火傷の原因となります。
- 付属のACアダプターやバッテリーを、分解・改造しないでください。  
また、本機には、指定以外のACアダプターやバッテリーを使用しないでください。感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。  
当社指定以外のACアダプターやバッテリー、または分解・改造したACアダプターやバッテリー（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。
- 小さなお子様の手の届く所にバッテリーを保管しないでください。  
なめたりすると火傷や、化学物質による被害の原因となります。
- バッテリーには、落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるなど、強い衝撃を与えないでください。  
破裂や液漏れにより、火傷や化学物質による被害の原因となります。
- バッテリー駆動時間が極端に短くなった場合は、当社指定の新しいバッテリーと交換してください。  
駆動時間が短くなったバッテリーは、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因となります。




- 付属のACアダプターやバッテリーは本機以外には使用しないでください。火傷・火災の危険があります。
- ACアダプターを毛布や布団で覆わないでください。火傷・火災の危険があります。
- 破損したACアダプターやバッテリーを使用しないでください。  
火傷・火災の危険があります。  
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、バッテリーが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーを取り外してください。  
そのまま使用を続けると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- ひざの上で長時間使用しないでください。バッテリーの熱で本機底面が熱くなり、低温火傷の原因となります。
- ACアダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。低温火傷の原因となります。

ACアダプターやバッテリーは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

### ● ACアダプターを使用するとき

- ACアダプターを使用するときにバッテリーを装着していないと、スリープ時、停電などで電源が切れた場合、保存していないデータは失われます。

停電などでACアダプターからの電源供給が途切れた場合に作業中のデータが消えるのを防ぐため、ACアダプターを接続して使用するときも、バッテリーを装着することをおすすめします。

 p.148 「省電力状態の種類」


- ACアダプターを長時間接続して使用すると、ACアダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
- ACアダプターは頻繁に抜き差ししないでください。

### ● バッテリーを取り付けて使用するとき

- 省電力状態のまま長時間使用しない場合は、完全放電しないように気をつけてください。省電力状態でも電力が消費されています。


 p.147 「省電力機能」

- バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、ソフトウェアの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.150 「直ちに移行する」

### ● バッテリーを長期間使用しないとき

- 長期間使用していない場合は、バッテリーが完全放電している可能性があります。バッテリーだけで本機を使用するときは必ず充電してから使用してください。
- バッテリーを長期間充電しないと、過放電になる可能性があります。予防のために定期的に充電をしてください。

 p.69 「バッテリー保管上の注意」

## 参考

### 低温環境でのバッテリー性能

低温の環境では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。

---




## ▶バッテリーの使用可能時間

バッテリーだけで本機を使用できる時間は次のとおりです。ただし本機の使用環境や状態などによって変化します。

バッテリーの使用可能時間*（満充電の場合）	
NJ3100の場合	連続約4.0時間
NJ3100Eの場合	連続約4.3時間

\*JEITA（電子情報技術産業協会）の測定方法Ver1.0に基づいています。


本機をバッテリーだけで使用している場合は、使用可能時間が制限されます。省電力の設定を行うと使用可能時間を延ばすことができます。

 p.147 「省電力機能」

## ▶バッテリーの充電

バッテリーの充電は、ACアダプターが接続されているときは、本機の電源が入/切どちらの状態でも自動的に行われます。

### バッテリー充電ランプの表示

ACアダプター接続時のバッテリー充電ランプ()の表示は、次のとおりです。

充電状態	ランプの表示
充電中	点灯（オレンジ色）
満充電	消灯
正常に充電されていない	点滅（オレンジ色）*

\*原因によって、点滅の状態が異なります。

### 正常に充電されていない場合の対処

バッテリー充電ランプの点滅状態を確認して、以下のとおり、状態に応じた対処を行ってください。

点滅状態	点滅の原因と対処方法
2秒点灯、2秒消灯の繰り返し	動作環境（10～35℃）以外で10時間以上充電を継続した場合に発生します。バッテリーを外して再度装着し、動作環境で充電してください。
2秒間に5回の点灯周期	バッテリー異常が考えられます。『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

## 充電時間

低バッテリー状態からバッテリーの充電完了までの時間は、次のとおりです。

バッテリーの充電時間*
約2.5時間

\*電源が入っている状態では、コンピューターの使用状況により差があります。



### 温度条件について

バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境（10～35℃）以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。その状態で10時間以上経っても充電が完了しないと、バッテリーへの充電が中止され、バッテリー充電ランプが点滅します。

## ▶ バッテリー残量の確認

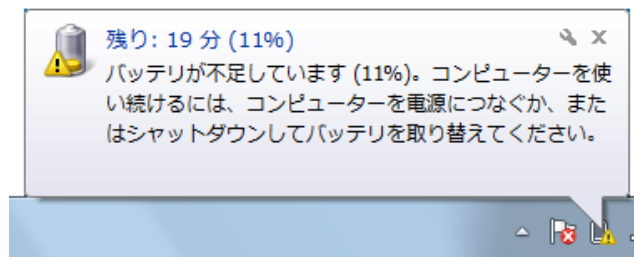
通知領域の「バッテリー」アイコンの上にポインターをあわせると、バッテリー残量を確認することができます。



## ▶ バッテリー残量が少なくなったら

### バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。



バッテリー残量がさらに低下すると、バッテリー充電ランプが点滅後、本機は休止状態になります。

## 対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のどちらかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

- ACアダプターを接続する

電源を入れたままACアダプターを接続します。

- 電源を切る

作業中のデータをHDDなどに保存して、実行中のソフトウェアを終了させたあと、本機の電源を切ります。

バッテリーを交換する場合も、必ず電源を切ってから行ってください。



ACアダプターを接続しない場合は、直ちに作業中のデータを保存してください。コンピューターがシャットダウンしてしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

## バッテリーの容量がすぐに低下するときは

バッテリーは、消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。また、バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。本機専用の新しいバッテリーに交換してください。

## ▶バッテリーの交換

複数のバッテリーを交互に使用する場合や、バッテリーが寿命に達した場合は、バッテリーを交換します。

交換用のバッテリーについては、当社のホームページをご覧ください。

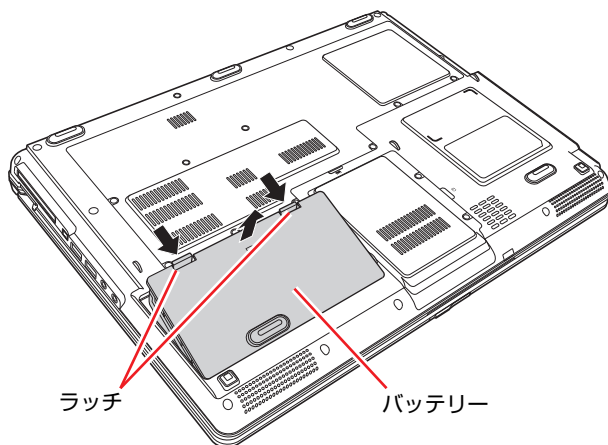
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>

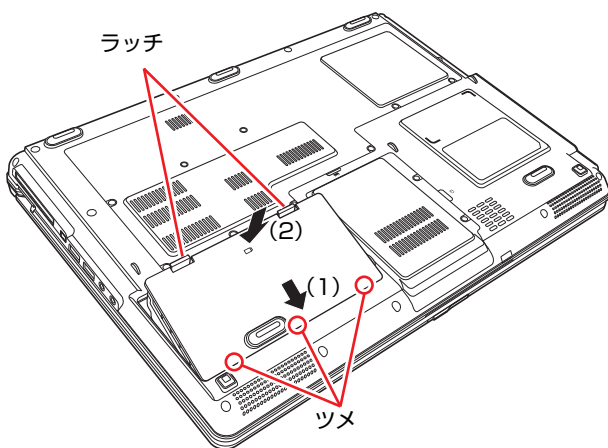
## バッテリーの交換方法

バッテリーの交換方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切ります。ACアダプターが接続されている場合は外します。
- 2** 本機の底面部を上にして置きます。
- 3** ラッチ（2箇所）を押しながら、バッテリーを持ち上げて取り外します。



- 4** 新しいバッテリーを取り付けます。
  - (1) バッテリーのツメ（3箇所）を本体に合わせます。
  - (2) ラッチ側を押し込みます。正しくセットされると「カチッ」と音がします。




## ▶バッテリーの寿命を延ばすには

バッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間や寿命を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機やバッテリーを、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 本機を使用する、使用しないにかかわらず、常時ACアダプターを接続していると、バッテリーの劣化が早まります。1ヶ月に1回程度は本機からACアダプターを外して、バッテリーの残量が10%程度になるまで使用することをおすすめします。
- 1ヶ月以上本機を使用しないときは、本機からバッテリーを取り外して保管してください。

 p.69 「バッテリー保管上の注意」

## ▶バッテリー保管上の注意



小さなお子様の手の届く場所にバッテリーを保管しないでください。なめたりすると、火傷や化学物質による被害の原因となります。

バッテリーを保管するときは、次の事項を守ってください。

- 液漏れや端子部の腐食を防ぐため、必ずコンピューター本体から取り外してください。
- 端子部のショートを防ぐため、布やビニールなどの絶縁物に包んでください。
- 高温環境での保管は劣化を早めます。乾燥した冷暗所で保管してください。
- 満充電状態での保管は劣化を早めます。バッテリー残量は50%程度にして保管してください。
- バッテリーは、使用していなくても、自己放電により蓄えられた電気は徐々になくなります。バッテリーの残量がなくなり過放電状態になると、コンピューターに装着しても充電できなくなることがあります。自己放電による過放電を防ぐため、定期的（半年に1回程度）にバッテリー残量を50%程度まで充電することをおすすめします。

## ▶使用済みバッテリーの取り扱い

---

---



使用済みのリチウムイオン (Li-ion) バッテリーは、再利用可能な貴重な資源です。有効資源のリサイクルにご協力ください。

### バッテリーリサイクル時の注意

使用済みのバッテリーは、ショートしないように、端子部にテープを貼るかポリ袋などに入れて、リサイクル協力店にある充電式電池回収ボックスに入れてください。

バッテリーは、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。環境破壊の原因となります。

# タッチパッドを使う

本機には、タッチパッドが搭載されています。タッチパッドは、マウスと同じようにポインターなどを操作したりクリックしたりするための装置です。

## ▶タッチパッドの操作

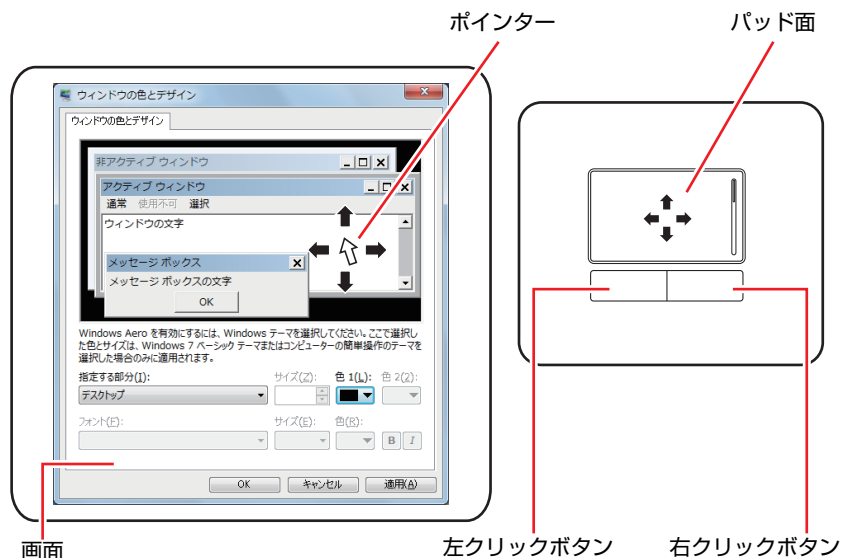
### タッチパッド使用時の注意

タッチパッドは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- パッド面には指で触れてください。ペンなどで触れると、ポインターの操作ができないだけでなく、パッド面が破損するおそれがあります。
- パッド面は、1本の指で操作してください。一度に2本以上の指で操作すると、ポインターが正常に動作しません。
- 手がぬれていたり、汗ばんでいると、ポインターの操作が正しくできないことがあります。
- キーボードを操作しているときにパッド面に手が触れると、ポインターが移動してしまうことがあります。
- 起動時の温度や湿度により、正常に動作しない場合があります。この場合は電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。
- 電源を入れたまま LCD ユニットを閉じていたり、使用中に本機の温度が上がってくると、正常に動作しない場合があります。この場合は、電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。

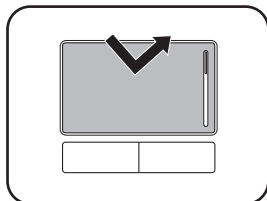
### ポインターの移動

タッチパッドは、パッド面とクリックボタンから構成されています。人差し指をパッド面の上で前後左右に動かすと、動かした方向に画面上のポインターが移動します。



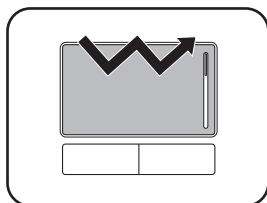
## クリック

ポインターを画面上の対象にあわせて、パッド面を軽く1回たたきます。  
左クリックボタンを「カチッ」と押すのと同じ操作です。



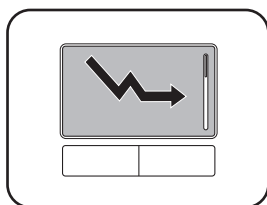
## ダブルクリック

ポインターを画面上の対象にあわせて、パッド面を軽く2回たたきます。  
左クリックボタンを「カチカチッ」と2回押すのと同じ操作です。



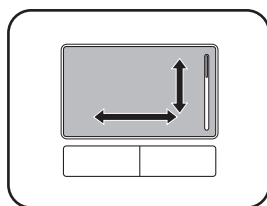
## ドラッグアンドドロップ

ポインターを画面上の対象にあわせて、ダブルクリックの2回目のクリック時に、指をパッド面に触れたまま移動させます。  
左クリックボタンを押したままの状態でもポインターを移動し、離すのと同じ操作です。



## スクロール

上下のスクロールは、パッドの右端に指を触れて前後に動かします。左右のスクロールは、パッドの下部に指を触れて左右に動かします。






## ▶タッチパッド機能をOFFにする

本機では、タッチパッドの機能をOFFにすることができます。

キーボード入力を行うときに、手がタッチパッドにあたってマウスポインターが動いてしまい、入力がしにくい場合があります。このような場合は、タッチパッド機能を一時的にOFFにすると便利です。

タッチパッド機能のON/OFFの切り替えは、次のキー操作で行います。

**Fn** + **F9** (田/×)

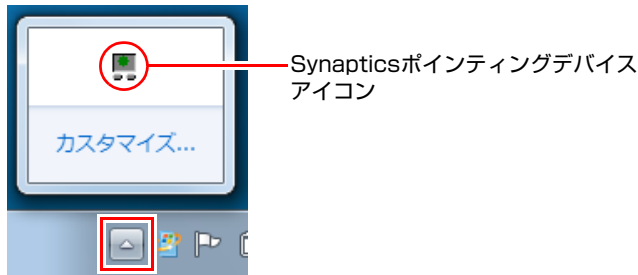
 p.79 「Fnキーと組み合わせて使うキー」

## ▶タッチパッドユーティリティを使う

タッチパッドユーティリティで各種設定を行うと、タッチパッドがより操作しやすくなります。

タッチパッドユーティリティ画面の表示方法は次のとおりです。

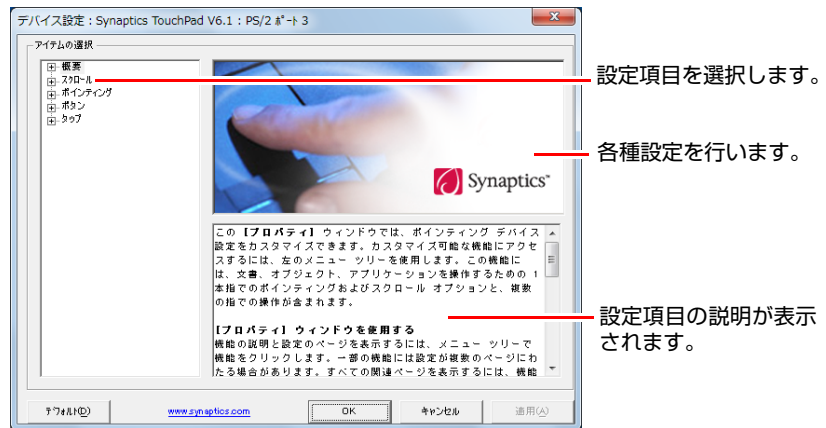
- 1 「通知領域」 - [△] - 「Synapticsポインティングデバイス」アイコンをクリックして、「ポインティングデバイスのプロパティ」を選択します。



- 2 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら、「デバイス設定」タブ - 「設定」をクリックします。

**3** 「デバイス設定：Synaptics TouchPad…」画面が表示されたら、各種設定を行います。

「アイテムの選択」から設定したい項目を選択して、各種設定を行います。



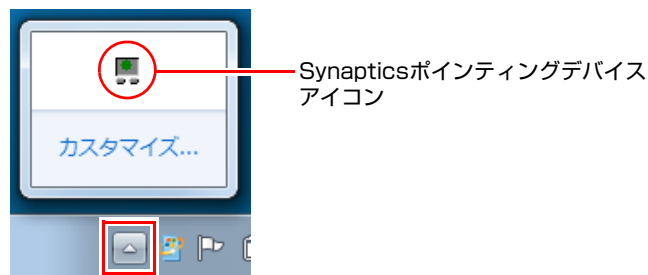
## ▶USBマウス（オプション）の接続

本機右側面または背面のUSBコネクタ（USB 2.0）に、オプションのUSBマウスを接続して使うことができます。

### USBマウス接続時にタッチパッド機能をOFFにする

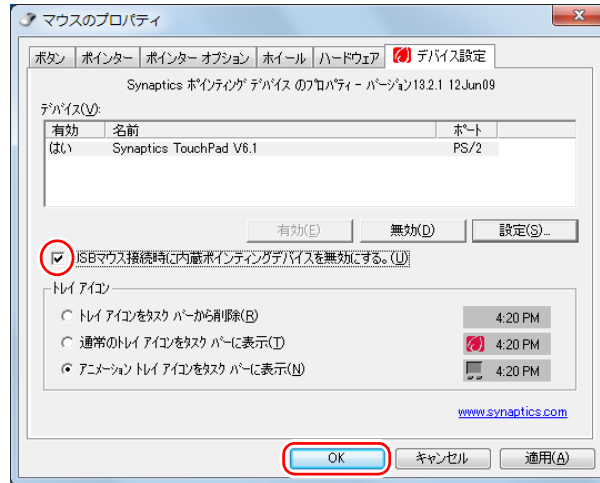
USBマウス接続時に、自動的にタッチパッド機能がOFFになるように設定することができます。設定方法は次のとおりです。

**1** 「通知領域」－ [△]－「Synapticsポインティングデバイス」アイコンをクリックして、「ポインティングデバイスのプロパティ」を選択します。



- 2 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら、「デバイス設定」タブで「USB マウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。」にチェックを付けて、[OK] をクリックします。

これで設定は完了です。



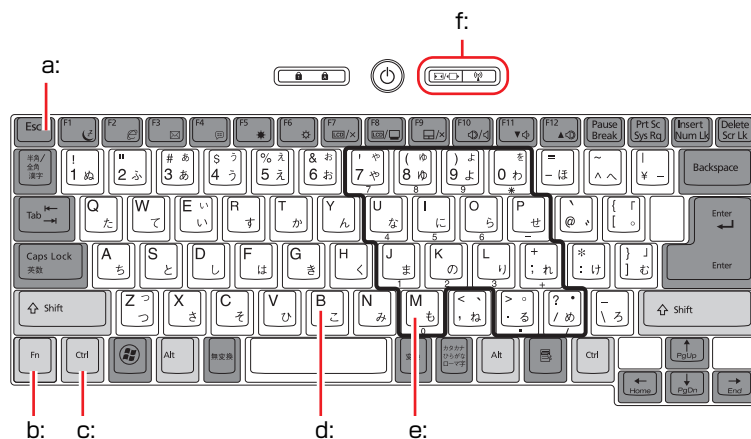
「USB マウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。」にチェックを付けると、USB キーボードなどの USB デバイスを接続時にも、タッチパッド機能が OFF になることがあります。

# キーボードを使う

本機には、日本語対応87キーボードと2個のインスタントキーが搭載されています。

## ▶キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。




### a: 機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。

### b: Fnキー

制御キーの1つです。

キートップ（キーの上面）に青色で印字されている機能キーと組み合わせて使用します。

 p.79 「Fnキーと組み合わせて使うキー」

### c: 制御キー

文字キーや機能キーの働きを変化させます。単独では機能しません。

### d: 文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して、漢字やひらがななどの日本語を入力します。

### e: 数値キー

文字キーの一部を数値キーとして使用し、数字、演算子などを入力します。**Fn** + **NumLk** を押すと数値キーと文字キーが切り替わります。

### f: インスタントキー

 p.81 「インスタントキー」


## ▶文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字されている文字が入力されます。

入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

### 入力モードの切り替え

を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。

日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

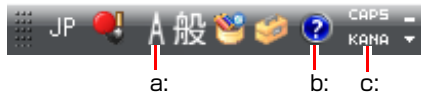
## ▶日本語を入力するには

ひらがなや、漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には、日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

### MS-IMEの使い方

MS-IMEパネルの主要なボタンの名称と働きは次のとおりです。

ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



#### a: 入力モード

入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

#### b: ヘルプ

MS-IMEの詳しい説明を見ることができます。

#### c: かなキーロック

日本語入力モードの切り替えを行います。

ボタンが押されていない状態：ローマ字入力

ボタンが押されている状態：かな入力

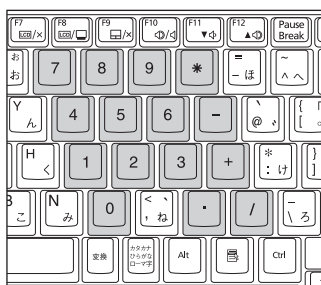
MS-IME以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

## ▶数値やアルファベットの入力

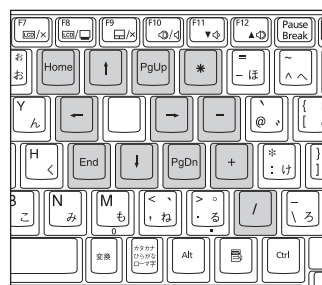
### 数値キー入力モード

**Fn** + **NumLk** を押すと、NumLock ランプ (🔒) が点灯して、文字キーの一部が数値キーとして使用できます。さらに **Shift** を押しながら数値キーを押すと、矢印キーなどとして使用できます。

数値キーモード



**Shift** を押したとき



### アルファベット入力モード

アルファベットの入力を大文字または小文字に固定することができます。固定する文字の切り替えは、次のキー操作で行います。

**Shift** + **Caps Lock**

大文字に固定した状態のまま小文字を入力するには、**Shift** を押しながら文字を入力します。

固定する文字を切り替える場合は、**Shift** を押した状態でもう一度 **Caps Lock** を押しします。

## ▶Fnキーと組み合わせて使うキー

キートップに青色で印字されている機能キーは **Fn** と組み合わせて実行します。

キーの組み合わせ	機 能
<b>Fn</b> + <b>F1</b> 	省電力状態に移行します。(初期値：スリープ状態)  p.147 「本機を省電力状態にする」
<b>Fn</b> + <b>F2</b> 	Internet Explorerを起動します。
<b>Fn</b> + <b>F3</b> 	Windows Liveメールを起動します。 Windows Liveメールの起動には、設定が必要です。  p.81 「キー操作でWindows Liveメールを起動するには」 Officeをインストールしている場合は、Outlookを起動します。
<b>Fn</b> + <b>F4</b> 	PCお役立ちナビを起動します。  p.54 「PCお役立ちナビを使う」
<b>Fn</b> + <b>F5</b> 	LCD画面を暗くします。  p.105 「LCDユニットの調整」
<b>Fn</b> + <b>F6</b> 	LCD画面を明るくします。  p.105 「LCDユニットの調整」
<b>Fn</b> + <b>F7</b> 	LCD画面のバックライトの入/切を切り替えます。  p.106 「バックライトの消灯」
<b>Fn</b> + <b>F8</b> 	外付けの表示装置に接続している場合に、画面表示を切り替えます。  p.113 「画面表示を切り替えるには」
<b>Fn</b> + <b>F9</b> 	タッチパッドのON/OFFを切り替えます。  p.73 「タッチパッド機能をOFFにする」
<b>Fn</b> + <b>F10</b> 	スピーカーのミュート（消音）の入/切を切り替えます。  p.120 「音量の調節」
<b>Fn</b> + <b>F11</b> 	スピーカーの音量を小さくします。  p.120 「音量の調節」
<b>Fn</b> + <b>F12</b> 	スピーカーの音量を大きくします。  p.120 「音量の調節」
<b>Fn</b> + <b>NumLk</b>	数値キー入力モードに切り替えます。  p.78 「数値キー入力モード」
<b>Fn</b> + <b>ScrLk</b>	ソフトウェアによって機能が異なります。詳しい内容は、ご使用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

キーの組み合わせ	機能
<b>Fn</b> + <b>Home</b>	行の最初に移動します。*
<b>Fn</b> + <b>End</b>	行の最後に移動します。*
<b>Fn</b> + <b>PgUp</b>	前のページに移動します。*
<b>Fn</b> + <b>PgDn</b>	次のページに移動します。*

\*ソフトウェアによっては、機能が異なる場合があります。

## ▶入力キーの機能の入れ替え

次の入力キーの機能を入れ替えることができます。

- (1) キーボード左下にある **Fn** とその隣の **Ctrl**
- (2) キーボード右下にある **Alt** とその隣の **⌘** (アプリケーションキー)




キーの機能を入れ替える場合は「BIOS Setupユーティリティー」の「Advanced」メニュー画面で次の項目を変更してください。

- 「Exchange Fn & L-Ctrl key」( **Fn** と **Ctrl** の入れ替え)
- 「Exchange R-Alt & Win App key」( **Alt** と **⌘** の入れ替え)

キーの機能の入れ替え	BIOSの設定値
機能を入れ替える場合	Enabled (有効)
機能を入れ替えない場合	Disabled (無効)




購入時は、どちらも「Disabled」に設定されています。

 p.165 「BIOS Setupユーティリティーの操作」



## ▶ インスタントキー

本機には、2個のインスタントキーが搭載されています。インスタントキーを押すと、各キーに割り当てられた機能を実行します。各インスタントキーの機能は、次のとおりです。

インスタントキー	機能
画面サイズ切り替えキー 	画面サイズを切り替えます。キーを押すたびに、画面サイズをワイド表示とノーマル表示に切り替えます。  p.107 「画面サイズを切り替える」
無線LANキー (📶)	無線LAN機能のON/OFFを切り替えます。  p.124 「無線LANを使う」

## ▶ キー操作でWindows Liveメールを起動するには

**[Fn] + [F3] (📧)** でWindows Liveメールを起動するには、設定が必要です。Windowsを再インストールした場合も、同様に設定してください。設定手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「既定のプログラム」 - 「既定のプログラムの設定」をクリックします。
- 2 「既定のプログラムを設定します」と記載された画面で、プログラムの一覧から「Windows Liveメール」をクリックし、「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」をクリックして、[OK] をクリックします。

# HDDを使う


本機にはシリアルATA 300MB/s 対応のHDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。HDDは、大容量のデータを高速に記録する記憶装置です。



- HDDのアクセスランプ点灯中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点灯中は、コンピューターがHDDに対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えるとHDDが故障するおそれがあります。衝撃を与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- HDDが故障した場合、HDDのデータを修復することはできません。

## ▶データのバックアップ

HDDに記録されている重要なデータは、CDメディアや外付けHDDなどにバックアップしておくことをおすすめします。万一HDDの故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップ方法は、 p.225 「データのバックアップ」をご覧ください。

## ▶購入時のHDD領域

購入時のHDDは、お客様の選択により次のように設定されています。

<通常>

ドライブ（領域）	容量
消去禁止領域	約2.7GB
Cドライブ	残り

<HDD設定変更サービスを選択された場合>

ドライブ（領域）	容量
消去禁止領域	約2.7GB
Cドライブ	購入時に選択された容量
Dドライブ	残り

すべてのドライブは、NTFSファイルシステムでフォーマットされています。

## 参考

## HDD設定変更サービス

HDD設定変更サービスとは、購入時にあらかじめHDDの領域をCドライブ、Dドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことで、す。

## 消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データや、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。

この領域は、絶対に削除しないでください。

削除してしまうと、本体ドライバーやソフトウェアのインストールができなくなります。

「消去禁止領域」内の本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データは、CDにコピー（バックアップ）することもできます。

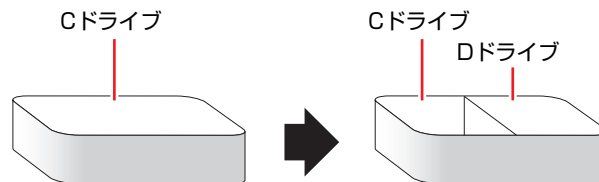
 p.227 「バックアップCDの作成」


## ▶HDDを分割して使用する

1台のHDDは、いくつかに分割してそれぞれ別々のドライブとして使用することができます。

## &lt;1台のHDDを分割する&gt;

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割することができます。

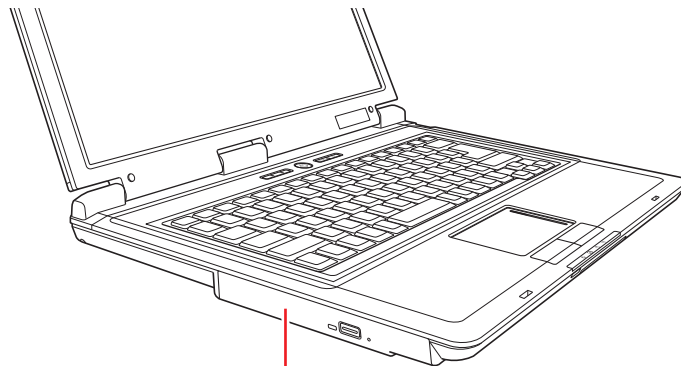


Cドライブを分割する場合はWindowsの再インストールが必要です。詳しくは、 p.231 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

# 光ディスクドライブを使う

本機左側面には購入時に選択された光ディスクドライブが搭載されています。光ディスクドライブは、CD-ROMなどの光ディスクメディアを使用するための機器です。

ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



光ディスクドライブ



注意

光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。内部で飛び散って、故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。



制限

本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロール CD」などの特殊ディスクは、動作保証はしていません。本機にて動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

## ▶ ドライブの機能と使える光ディスクメディア

光ディスクドライブの種類によって、メディアへの書き込みやDVDの再生など、使える機能が異なります。

お使いの光ディスクドライブで使える機能とメディアの種類は、次をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」

光ディスクメディアの違いについての簡単な説明は、次をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「お役立ち」

## ▶光ディスクメディアのセットと取り出し

光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。

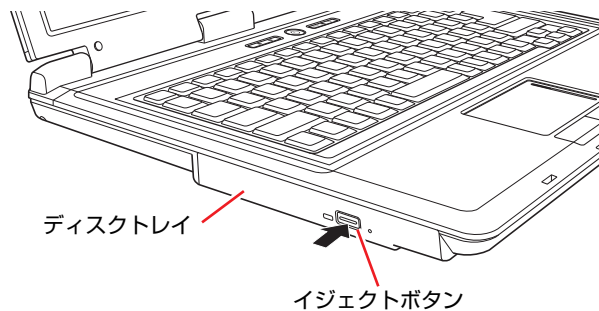


- 光ディスクドライブアクセス中にメディアを取り出したり、再起動したりしないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- ディスクトレイ上の光学レンズに触れたり、傷つけたりしないでください。メディアのデータが読めなくなります。
- 必要な場合以外は、ディスクトレイは閉じておいてください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機では、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。

### セット方法

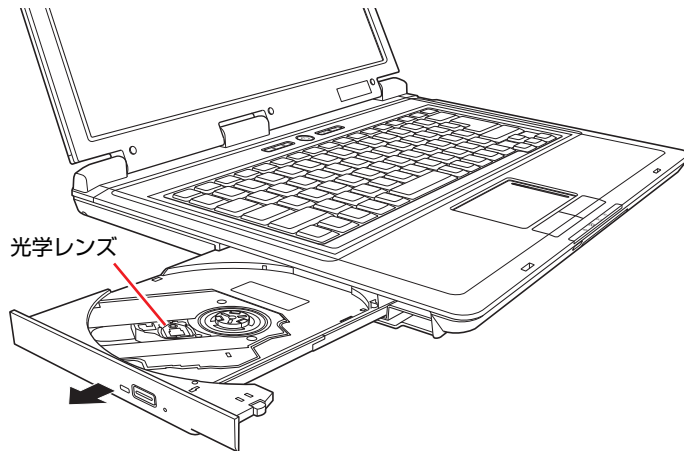
#### 1 イジェクトボタンを押します。

ディスクトレイが少し飛び出します。

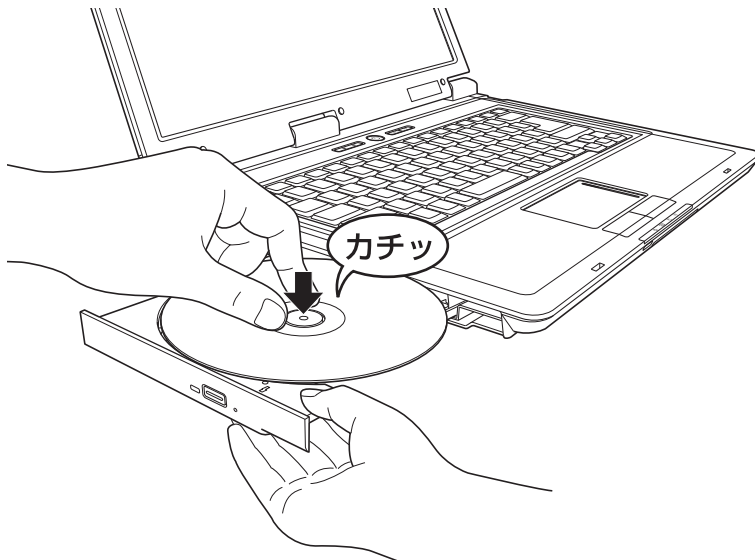


**2** ディスクトレイを静かに引き出します。

光学レンズに触れたり、傷つけないでください。  
メディアのデータを読めなくなります。



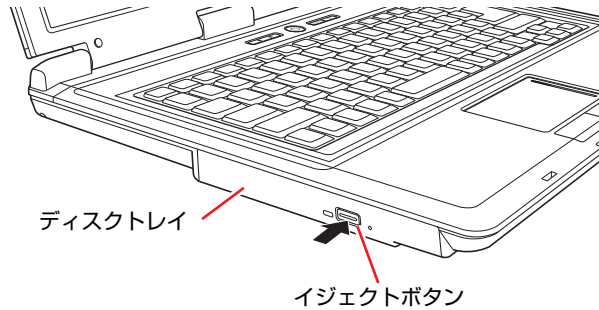
**3** 印刷面を上にしてメディアをディスクトレイに載せ、カチッと音がするまではめ込みます。



**4** ディスクトレイを静かに閉じます。

## 取り出し方法

- 1 アクセスランプが点灯・点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押します。



- 2 ディスクトレイが少し飛び出したら、そのまままっすぐ引き出します。
- 3 メディアをディスクトレイから取り出します。
- 4 ディスクトレイを手で押して静かに閉じます。

### 参考

イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

ソフトウェアによっては独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくは、お使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。


## ▶強制的な光ディスクメディアの取り出し

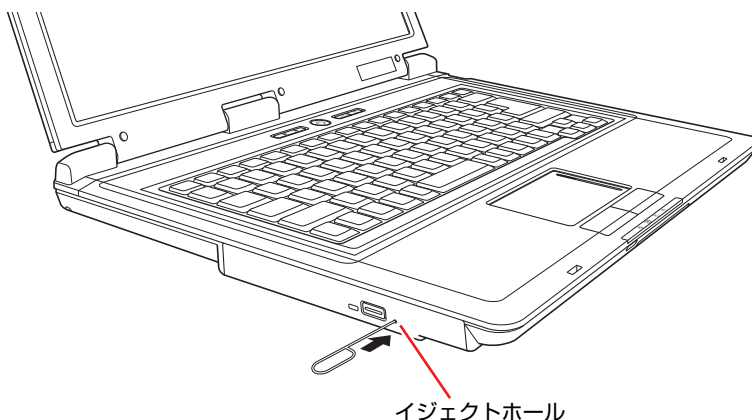
---

次のような場合には、強制的に光ディスクメディアを取り出すことができます。

- 光ディスクドライブの動作が不安定になったり、故障したりして、光ディスクメディアが取り出せない場合
- 光ディスクメディアをセットしたまま、本機の電源を切ってしまった場合

強制的な光ディスクメディアの取り出し方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。  
 p.56 「本機の終了方法」
- 2** イジェクトホールに先の細い丈夫なもの（ゼムクリップを引きのばしたものなど）を差し込みます。



- 3** ディスクトレイが少し飛び出したら、そのまま手でまっすぐ引き出します。

## ▶CDメディアの読み込み・再生

---

光ディスクドライブでは、データCDを読み込めるほかに、音楽CDやビデオCD、フォトCDなどの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用ソフトウェアが必要なものもあります。



## ▶DVDメディアの読み込み・再生

<DVD再生機能のある光ディスクドライブ搭載時>

DVD再生機能のある光ディスクドライブでは、データが収録されたDVDメディアを読み込めるほかに、DVD VIDEOなどの再生ができます。DVD VIDEOの再生には、専用のソフトウェアが必要です。

### DVD VIDEO再生ソフト

DVD VIDEOの再生には「WinDVD」を使用します。

WinDVDは、次の場所から起動します。


【スタート】－【すべてのプログラム】－【InterVideo WinDVD】－【InterVideo WinDVD for EPSON】

WinDVDの詳しい使用方法は、WinDVDのヘルプをご覧ください。


### DVD VIDEO再生時の制限

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をすると、次のような不具合が発生することがあります。

- 解像度や色数の設定により、DVD VIDEOの再生ができないことがあります。DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度や色数を調節してみてください。

 p.107 「表示に関する各種設定」

- 外付けディスプレイを接続し「クローン表示」で使用していると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、「LCD表示」または「外付けディスプレイ表示」に切り替えてください。

 p.113 「画面表示を切り替えるには」

### CPRM で著作権保護されたメディアを再生するには

本製品はCPRMで著作権保護されたメディア再生に対応していますが、再生時に必要な「CPRM Pack」がインストールされていません。

インターネットに接続した状態で、「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストールを行ってください。

#### 「CPRM Pack」のダウンロードとインストール

インストールには、CPRMで著作権保護されたメディアが必要になります。

「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストール手順は次のとおりです。

- 1 【スタート】－【すべてのプログラム】－【InterVideo WinDVD】－【InterVideo WinDVD for EPSON】をクリックし、WinDVDを起動します。

- 2** CPRMで著作権保護されたメディアを光ディスクドライブにセットします。
- 3** 「CPRMのサポートが有効になっていないため、CPRMコンテンツを再生できません。・・・」と表示されたら、[OK] をクリックします。
- 4** 「InterVideoオンライン登録ページへようこそ」と表示されたら、メンバー登録を行います。  
メンバー登録が終了すると、ダウンロードページが表示されます。
- 5** ダウンロードページが表示されたら、画面の指示に従って、「CPRM Pack」のダウンロードとインストールを実行します。

#### CPRMで著作権保護されたメディア再生時の制限事項

CPRMで著作権保護されたメディアの再生には、次の制限事項があります。

- 管理者 (Administrator) のアカウントでログオンしてください。
- HDMIまたはDVIでデジタル出力する場合は、HDCP規格に対応したディスプレイをご使用ください。
- 2台のディスプレイに同じ画面を表示するクローン表示はできません。

#### WinDVDユーザーサポート情報

WinDVDに関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

ホームページ : <http://www.corel.jp/>  
サポートホームページ : <http://www.corel.jp/support/>  
電話 : 045-226-3899  
サポート時間 平日10:00~12:00 13:30~17:30  
(土・日・祝日・夏季・年末年始・特定休業日を除く)

メールでのお問い合わせは、サポートホームページに掲載されているメールフォームからご利用いただけます。

WinDVDのよくある問い合わせ (FAQ) もサポートホームページに掲載しております。

コーレル株式会社

## ▶光ディスクメディアへの書き込み

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

書き込み機能のある光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに書き込むことができます。

書き込み可能なメディアは、お使いの光ディスクドライブにより異なります。書き込み可能なメディアについては、光ディスクドライブのマニュアル (PDF) をご覧ください。


「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」



作成した DVD VIDEO は、市販の DVD プレイヤーで再生できますが、一部の DVD プレイヤーでは再生できない場合があります。

### ライティングソフト

光ディスクメディアに書き込みを行う場合は、専用のライティングソフトが必要です。本機にはライティングソフト「Nero 9 Essentials」がインストールされています。

 p.92 「Nero 9 Essentialsの使い方」


### 書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- 省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時にWindowsが省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.149 「時間経過で移行させない」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

- 速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、光ディスクドライブのマニュアル (PDF) をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」

## ▶ Nero 9 Essentialsの使い方

---

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

ライティングソフト「Nero 9 Essentials」を使用すると、CDメディアやDVDメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



「Nero 9 Essentials」と Windows 7 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

### 使い方

Nero 9 Essentialsを起動するには、デスクトップ上の「Nero」アイコンをダブルクリックします。



<Neroアイコン>

Nero 9 Essentialsの詳しい使用方法是、次をご覧ください。

- 「PCお役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅーわ」 - 「Neroヘルプ」
- 「PCお役立ちナビ」 - 「お役立ち」

### Nero 9 Essentials ユーザーサポート情報

Nero 9 Essentials のサポートについて説明します。

#### サポートセンターに連絡する前に

Nero 9 Essentials の操作などでお困りの場合は、サポートセンターに連絡する前に、まずNero 9 Essentials のヘルプ、ホームページのサポート情報をご覧ください。

<http://www.nero.com/jpn/support.html>

### サポートセンターに問い合わせる

ヘルプ、ホームページのサポート情報を見ても問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせください。

※下記サポート情報は、予告なく変更される場合があります。

株式会社 Nero サポートセンター

受付時間 : 10:00 ~ 12:30 / 13:30 ~ 17:00  
月~金曜日(祝、特定休業日を除く)

TEL : 045-910-0255

ホームページ : <http://www.nero.com/jpn/support-nero9.html>

E-MAIL : 上記ホームページのサポートページからお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、コンピューターの機種名をお知らせいただく必要があります。


# USB機器を使う

本機にはUSB2.0に対応したUSBコネクタが右側面に2個、背面に2個、合計4個搭載されています。

USBコネクタにはUSB対応の機器を接続します。4個のコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。



制限

- USBフラッシュメモリーやUSB HDDなどのUSB記憶装置を接続していたり、USB FDDにFDがセットされている状態で本機の電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。USB記憶装置は、Windows起動後に接続してください。
- USB記憶装置を接続した状態でWindowsを起動したい場合は、「BIOS Setupユーティリティ」で起動するデバイスの順番を変更してください。  
 p.174 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

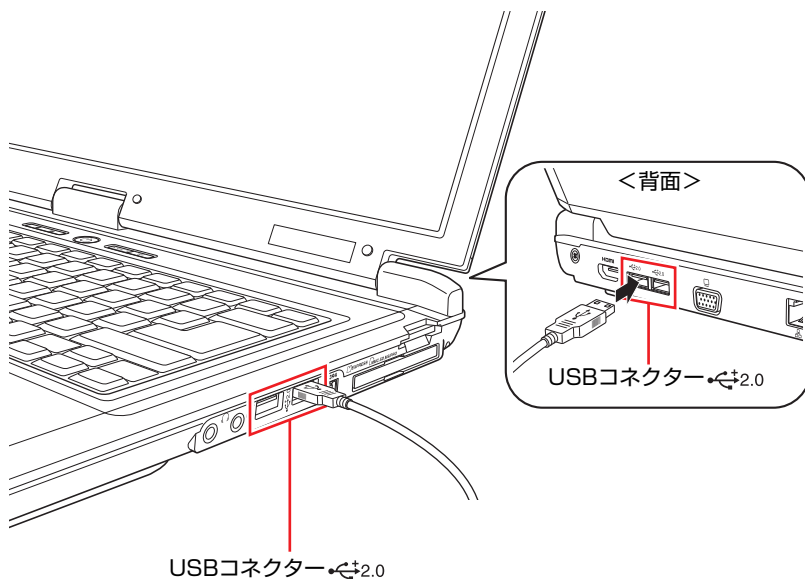
## ▶ USB機器の接続と取り外し

USB機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

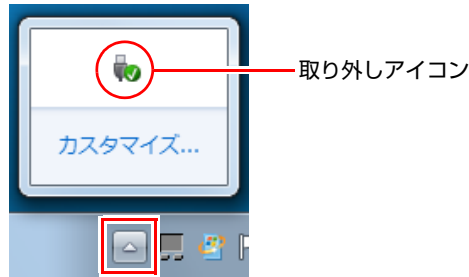
### USB機器の接続

USB機器の接続方法は次のとおりです。

- 1 USB機器のUSBコネクタを、本機のUSBコネクタ（USB2.0）に接続します。



- 2** USB 機器によっては「通知領域」 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



接続するUSB機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは、USB機器のマニュアルをご覧ください。

## USB機器の取り外し

USB機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

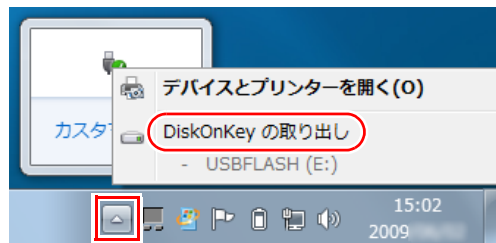
- USB機器の終了処理をして取り外す

通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB機器の終了方法は次のとおりです。

- 1** 「通知領域」 - [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したいUSB機器)の取り出し」をクリックします。

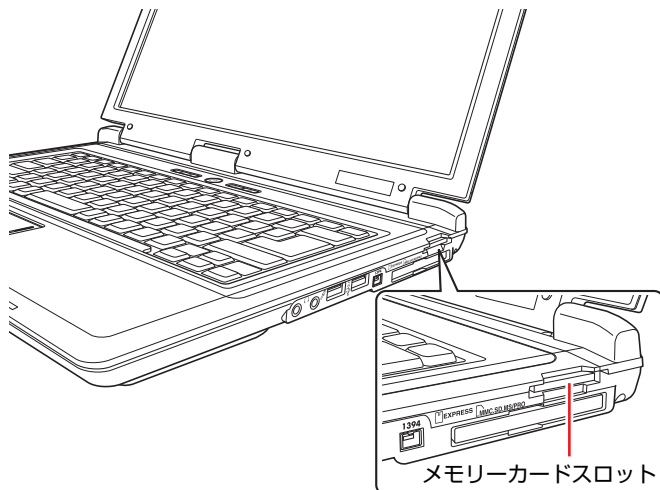
複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



- 2** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、USB機器を本機から取り外します。

# メモリーカードを使う

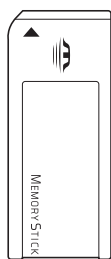
本機右側面にはメモリーカードスロットが装備されています。メモリーカードは、デジタルカメラなどで使用するメディアで、コンピューターとのデータ交換に使われます。本機では、3種類のメモリーカードを使用することができます。



メモリーカードスロット

## ▶本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、メモリースティック（PRO対応）、マルチメディアカード、SDメモリーカード（SDHC対応）の3種類です。イラストは、各メモリーカード表面のイメージです。



<メモリースティック>



<マルチメディアカード>



<SDメモリーカード>



制限


- メモリースティック、SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
- メモリースティックおよびメモリースティック PRO の高速転送、セキュリティー機能には対応していません。



## メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- メモリーカードにアクセス中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。カードのデータが破損するおそれがあります。
- メモリーカードは、データの書き込み中に電源の供給が停止すると不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.149 「時間経過で移行させない」

- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のソフトウェアが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

## メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットは、必ずメモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

## ▶メモリーカードのセットと取り外し

メモリーカードを使用する前に、必ず  p.97 「メモリーカード使用時の注意」をお読みください。

### メモリーカードのセット

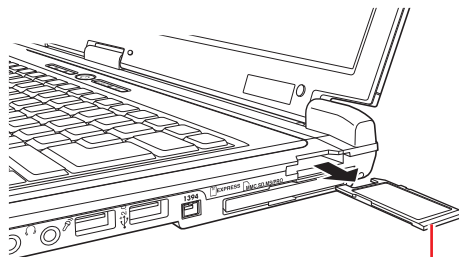
メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。

#### 1 メモリーカードスロットにダミーカードがセットされている場合は、取り外します。

(1) ダミーカードを「カチッ」と音がするまで押します。

(2) 少し出てきたダミーカードをまっすぐに引き抜きます。


ダミーカードはメモリーカードを使用しないときに、スロットにセットしておきます。

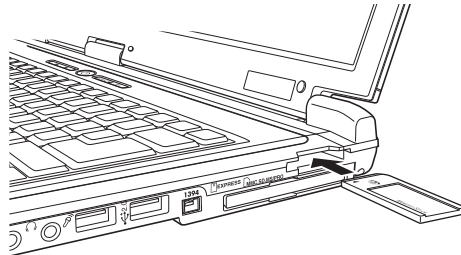


ダミーカード

**2** メモリーカードの表面を上にしてメモリーカードスロットに挿入します。

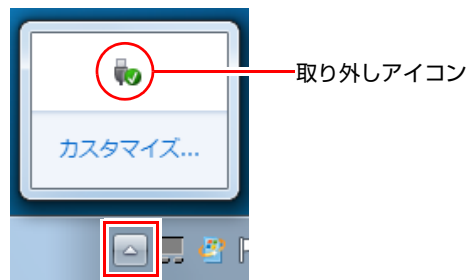
奥までしっかりと押し込みます。

メモリーカードの表面は、 p.96「本機で使用できるメモリーカード」で確認してください。



**3** 認識されると、メモリーカードが使用できます。

正しくセットされると、通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



## メモリーカードの取り外し

メモリーカードの取り外し方法は、次のとおりです。

**1** メモリーカードの終了処理を行います。

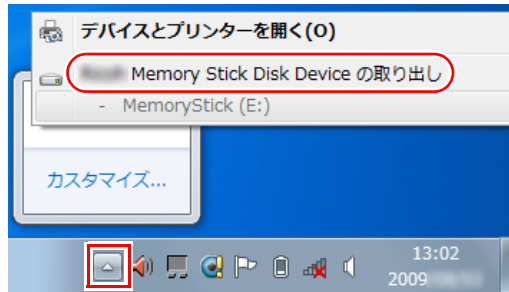
本機の電源を切っている場合は、終了処理は不要です。手順2に進みます。

(1) 開いているファイルを閉じます。

ファイルを閉じないと、終了処理ができません。

(2) 「通知領域」 - [△] - 「取り外し」アイコンをクリックします。

- (3) 表示されたメニューから、「(取り外したいメモリーカード)の取り出し」を選択します。  
複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう、注意してください。

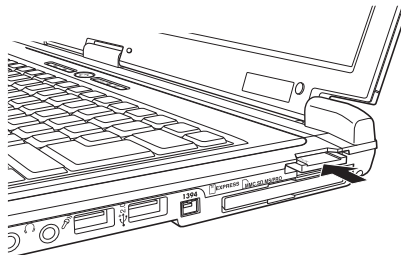


「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されます。

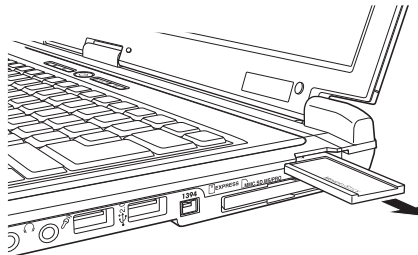
## 2 メモリーカードを取り外します。

- (1) メモリーカードを「カチッ」と音がするまで押します。

強く押すと、メモリーカードが飛び出すことがあるので注意してください。



- (2) 少し出てきたメモリーカードをまっすぐに引き抜きます。



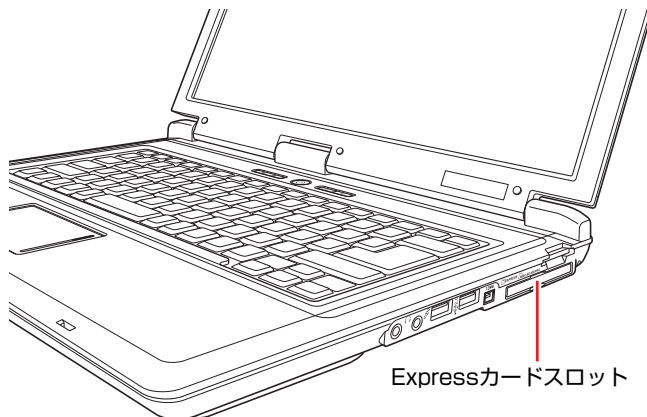
取り出したメモリーカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

メモリーカードをセットしない場合は、ダミーカードをセットしておきます。

# Expressカードを使う


本機の右側面には、Expressカードスロットが搭載されています。高速転送に対応した次の2種類のExpressカードを装着することができます。

- ・ ExpressCard/34
- ・ ExpressCard/54



制限

Express カードを使用中に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。Express カードを使用する前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.149 「時間経過で移行させない」

## ▶ Expressカードのセットと取り外し



制限

- Express カードを取り扱うときは、あらかじめ金属製のものに触れて、静電気を逃がしてください。Expressカードやコネクタ部に静電気が流れると、故障することがあります。
- Expressカードは、本機の電源を切らずに抜き差しすることができます。ただし、省電力状態ではExpressカードの抜き差しを行わないでください。システムが正常に動作しなくなる場合があります。

## Expressカードのセット

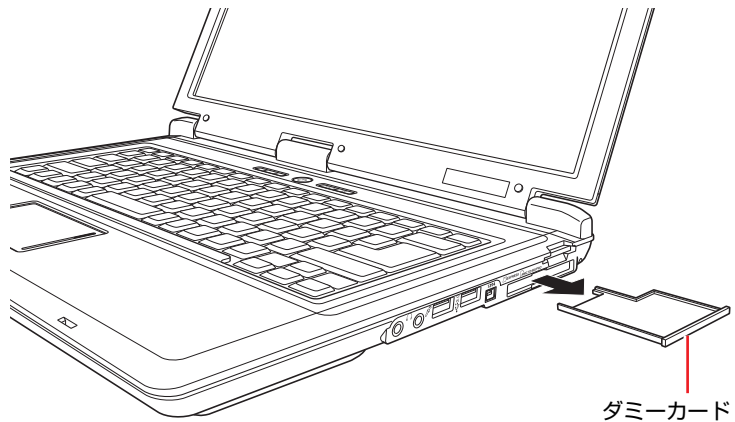
Expressカードのセット方法は次のとおりです。

### 1 Expressカードスロットにダミーカードがセットされている場合は、取り外します。

(1) ダミーカードを「カチッ」と音がするまで押します。

(2) 少し出てきたダミーカードをまっすぐに引き抜きます。

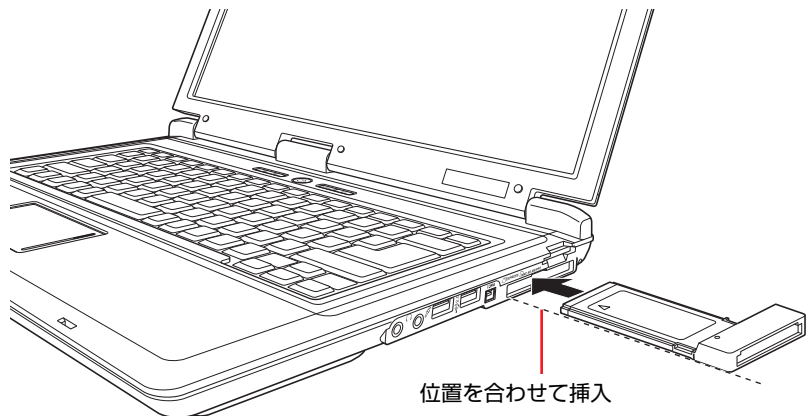
ダミーカードはExpressカードを使用しないときに、スロットにセットしておきます。



### 2 ExpressカードをExpressカードスロットに挿入します。

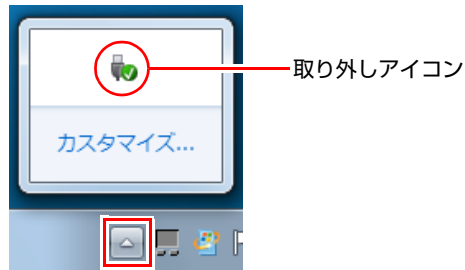
Expressカードの表面を上にして、奥までしっかりと押し込みます。

Express Card/34をお使いの場合は、Expressカードスロットの手前側に、Expressカードの左側を合わせて挿入してください。



### 3 認識されると、Expressカードが使用できます。

Expressカードによっては、通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



Expressカードによっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは、Expressカードのマニュアルをご覧ください。

## Expressカードの取り外し

Expressカードの取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

- Expressカードの終了処理をして取り外す

通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

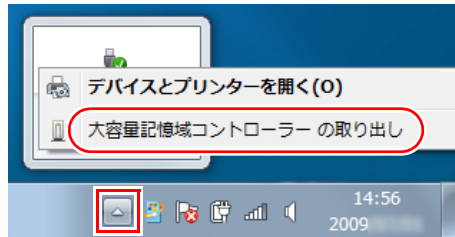


本機にセットされていた Express カードは、高温になっている可能性があります。取り外す際は注意してください。

Expressカードの終了方法は、次のとおりです。

**1** 「通知領域」 - [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したいExpressカード) の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう、注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されます。

**2** Expressカードを取り外します。

**(1)** Expressカードを「カチッ」と音がするまで押します。

強く押すと、Expressカードが飛び出すことがあるので注意してください。

**(2)** 少し出てきたExpressカードをまっすぐに引き抜きます。

取り外したExpressカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

Expressカードをセットしない場合は、ダミーカードをセットしておきます。

# 画面表示をする

ここでは、本機のLCDユニットでの画面表示について説明します。  
本機では、LCDユニットのほかに外付けの表示装置を接続することもできます。

 p.109 「外付けディスプレイに表示する」

## ▶LCDユニットの仕様

本機では次のどちらかのLCD（液晶ディスプレイ）を搭載しています。

- 15.4型 WXGA 最大解像度 1280×800
- 15.4型 WXGA+ 最大解像度 1440×900



LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラーLCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCDは、高精度な技術を駆使して300万以上の画素から作られていますが、画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windowsの背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。



### LCDのドット抜け基準値

本機LCDのドット\*抜け基準値は、8個以下です。これは、WXGAの場合で全ドットの0.00026%以下に、WXGA+の場合で全ドットの0.00021%以下に相当します。

\* 「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCDでは、1個の画素が3個の副画素で構成されています。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2に従って、副画素単位で計算しています。

#### 本機の副画素数

WXGAの場合 3,072,000個

WXGA+の場合 3,888,000個

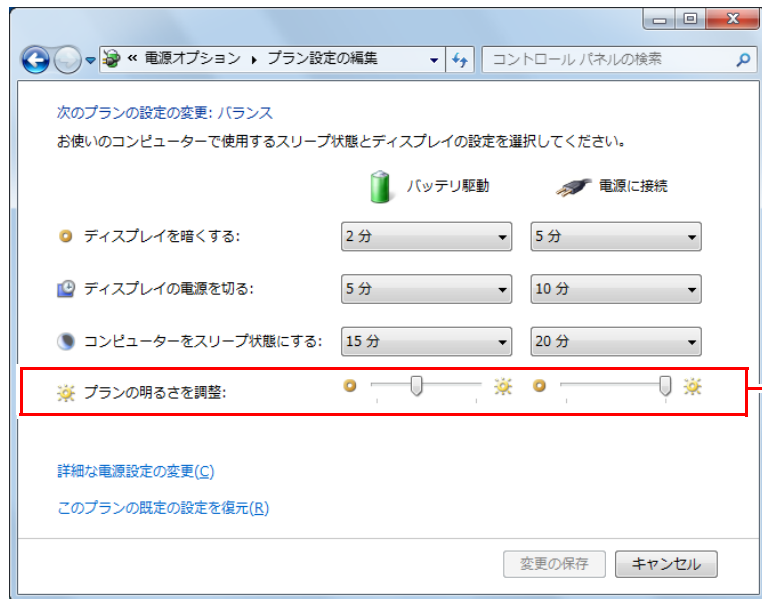


## ▶LCDユニットの調整

### 画面の明るさ調整

本機の画面の明るさ（輝度）は、次の場所で設定することができます。

【スタート】－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「電源オプション」－各プランの「プラン設定の変更」



輝度を設定




### キー操作で調整する

次のキー操作で、輝度を調整することができます。ただし、Windowsを再起動すると元に戻ります。

キー操作	状態
Fn + F5 	暗くなります
Fn + F6 	明るくなります


## バックライトの消灯

本機を使用していない間、バックライトを消灯することで消費電力を抑えることができます。バックライトの消灯方法は、次のとおりです。

キー操作	状態
 +   / X	本機が起動している状態で押すとバックライトが消灯します。もう一度押すとバックライトが点灯します。

## LCDユニットを閉じたときの動作

LCDユニットを閉じると、本機は「スリープ状態」になります。

 p.148 「省電力状態の種類」

## ▶表示できる解像度と表示色


本機のLCDユニットで表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。

### ● 解像度

解像度	15.4型WXGA	15.4型WXGA+
800×600	○	○
1024×768	○	○
1280×768*	○	○
1280×800*	○	—
1440×900*	—	○

\*ワイド表示

ワイド表示以外の解像度を設定すると、画面が縦伸びまたは横伸びしたように見えます。この場合は、画面サイズを切り替えてください。

 p.107 「画面サイズを切り替える」

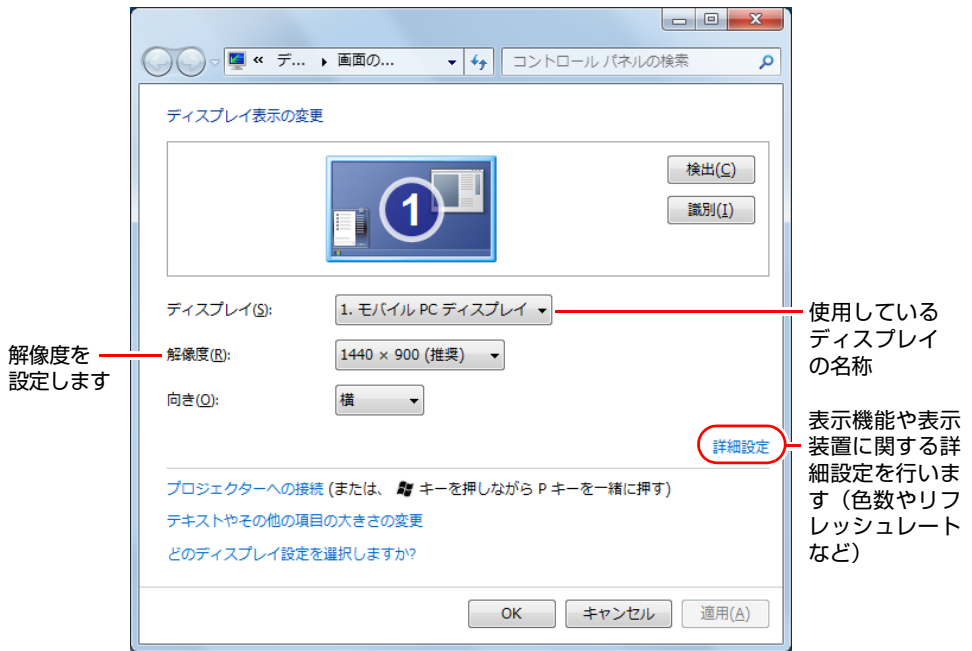
### ● 表示色

中 (16ビット) / 最高 (32ビット)

## ▶表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

デスクトップ上の何も無いところで右クリック→「画面の解像度」

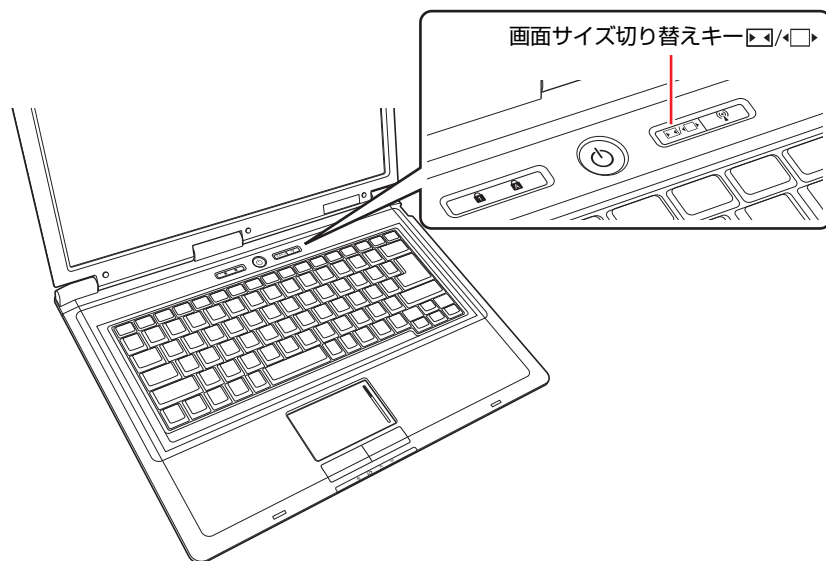


## ▶画面サイズを切り替える

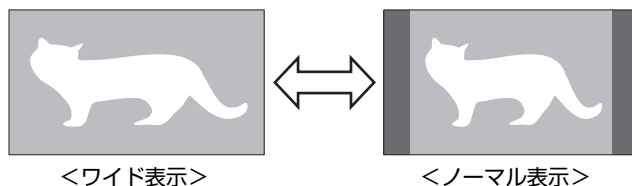
本機はワイド液晶ディスプレイを搭載しているため、ワイド表示以外の解像度を設定すると、画面が縦伸びまたは横伸びしたように見えます。この場合は、画面サイズ切り替えキーで画面表示を切り替えることができます。



外付けディスプレイを接続している場合は、画面サイズの切り替えができません。




画面サイズ切り替えキーを押すたびに、ワイド表示とノーマル表示に切り替わります。購入時は、ワイド表示に設定されています。



画面サイズを切り替えると、自動的に解像度が次のとおり切り替わります。

画面表示	解像度	
	15.4型WXGA	15.4型WXGA+
ワイド	1280×800	1440×900
ノーマル（縦横比4：3）	1024×768	1024×768



- 画面サイズ切り替えキーで画面サイズを切り替えた後、上記の表以外の解像度に変更したいときは、手動で設定を変更してください。  
 p.107 「表示に関する各種設定」
- Windowsを複数のユーザーで使用している場合、ユーザーごとに画面表示の設定（ワイド/ノーマル）を保存することはできません。
- 画面サイズ切り替えキーで画面サイズを切り替えた後、「画面の配色はWindows 7ベーシックに変更されました」というメッセージが表示される場合がありますが、問題ありません。

# 外付けディスプレイに表示する

本機では、外付けディスプレイを接続して、画面を表示することができます。

## ▶ディスプレイの接続

本機には、VGAコネクタとHDMIコネクタの2つのコネクタが搭載されており、外付けディスプレイを2台同時に接続することができます。

### 接続方法の種類

本機への外付けディスプレイの接続方法には、次の3つの方法があります。

ディスプレイの接続方法	コンピューター側のコネクタ
アナログ接続	VGAコネクタ
HDMI接続	HDMIコネクタ
デジタル接続 (オプション)	HDMIコネクタ (オプションのDVI-HDMI変換アダプタ使用)



本機に外付けディスプレイを2台接続した場合、表示可能な画面は3つですが、同時に表示できるのは本機も含めて2画面までです。

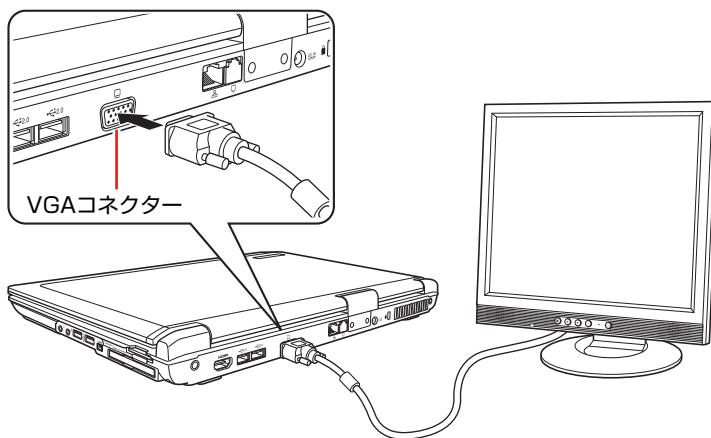
## 外付けディスプレイの接続

外付けディスプレイの接続方法は、次のとおりです。

- 1** 本機と外付けディスプレイの電源を切ります。
- 2** 接続するディスプレイの接続方法を確認し、ディスプレイの接続ケーブルを本機に接続します。

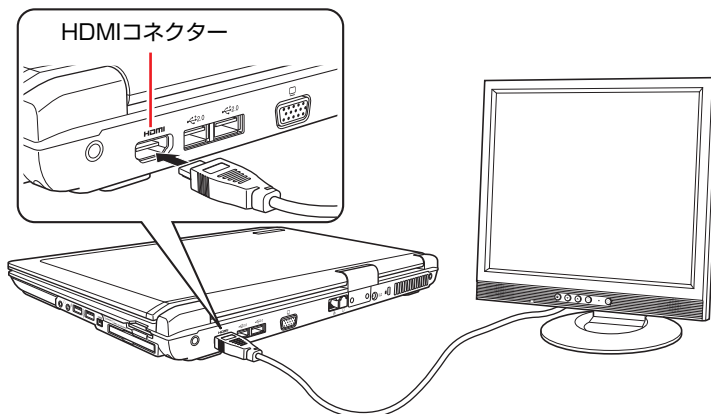
### <アナログ接続の場合>

外付けディスプレイのVGAケーブルを、本機背面のVGAコネクタ（□）に接続します。



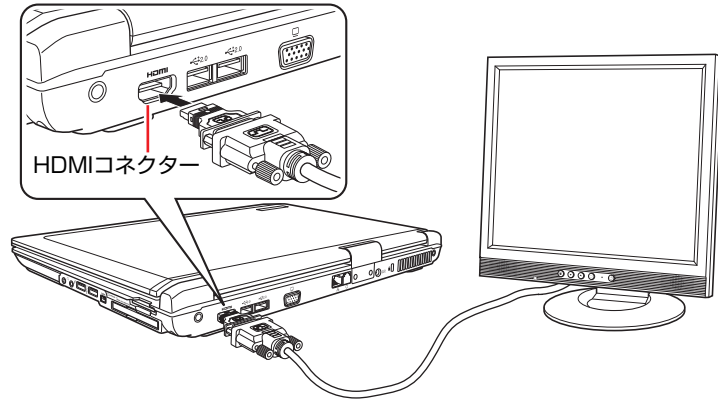
### <HDMI接続の場合>

外付けディスプレイのHDMIケーブルを、本機背面のHDMIコネクタ（HDMI）に接続します。



### <デジタル接続の場合（オプション）>

- (1) 外付けディスプレイのDVI-Dケーブルのコネクター（コンピューターに接続する側）に、オプションのDVI-HDMI変換アダプターを接続します。
- (2) 本機背面のHDMIコネクター（HDMI）に接続します。



### 3 外付けディスプレイと本機の電源を入れます。

**Fn** + **F8** ( **LCD** / **□** ) を押すと、表示装置の切り替えができます。

### プロジェクターの接続

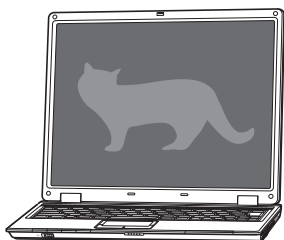
プロジェクターは、本機のVGAコネクターに接続します。  
プロジェクターによっては、ほかの方法で接続できる場合があります。  
詳しくはプロジェクターのマニュアルをご覧ください。

## ▶画面表示の種類

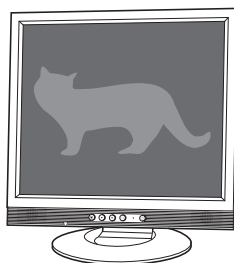
---

本機で対応している画面表示の種類は、次の4つです。

- LCD表示  
LCD画面のみに表示します。
- 外付けディスプレイ表示  
外付けディスプレイのみに表示します。
- クローン表示  
2つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。

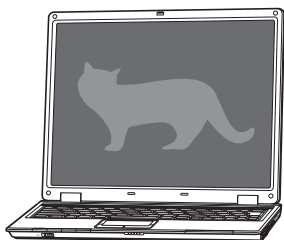


<LCD画面>

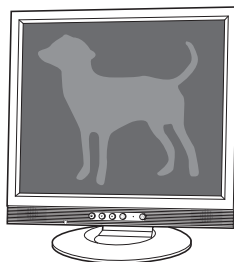


<外付けディスプレイ>

- 拡張デスクトップ表示  
それぞれのディスプレイに対して、個別に解像度を設定することができます。複数の画面をコンピューター上に表示する場合に便利です。



<LCD画面>



<外付けディスプレイ>



## ▶画面表示を切り替えるには

画面表示の切り替え方法には、次の2つがあります。

### ●キーボードで切り替える

キーボードで簡単にシングルディスプレイやクローン表示への切り替えができます。

ただし、拡張デスクトップ表示への切り替えはできません。

### ●ユーティリティで切り替える

すべての組み合わせの切り替えが可能です。

## キーボードで切り替える

**[Fn]** + **[F8]** (**[⏏]**/**[⏏]**) を押すたびに表示画面が切り替わります。

表示は次の組み合わせで行うことができます。接続した表示装置が自動的に認識されます。

組み合わせ	表示内容
LCD Only	LCD画面のみに表示
CRT Only	アナログディスプレイのみに表示
LCD+CRT	LCD画面とアナログディスプレイに表示 (クローン表示)
HDMI Only*	HDMI接続ディスプレイのみに表示
LCD+HDMI*	LCD画面とHDMI接続ディスプレイに表示 (クローン表示)
CRT+HDMI*	アナログディスプレイとHDMI接続ディスプレイに表示 (クローン表示)

\*オプションの DVI-HDMI 変換アダプター使用時は、接続したデジタルディスプレイに表示



制限

- クローン表示の場合、解像度の異なる2つの表示装置を選択したときは、低い方の解像度で表示されます。
- 拡張デスクトップ表示を選択している場合、キーボードでの表示切り替えはできません。ユーティリティで切り替えてください。
- 動画の再生中やゲームソフトの起動時には、キーボードでの表示切り替えができないことがあります。

## ユーティリティーで切り替える

ユーティリティーを操作すると、画面表示の切り替えや解像度の変更などを行うことができます。ユーティリティーで切り替えできる表示は、次の4つです。

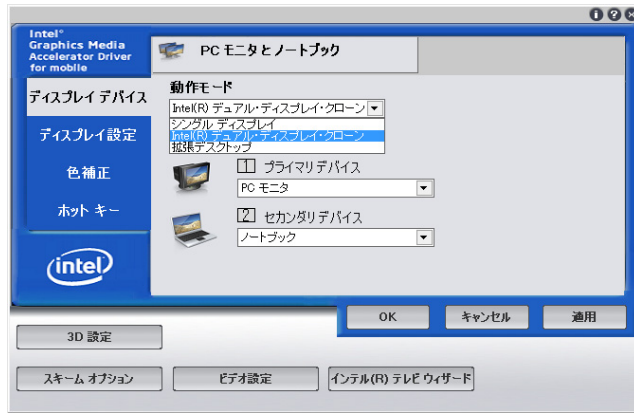
- シングルディスプレイ
  - ・ ノートブック (LCD表示)
  - ・ PCモニター (外付けディスプレイ表示)
- Intel(R) デュアル・ディスプレイ・クローン (クローン表示)
- 拡張デスクトップ (拡張デスクトップ表示)

画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

- 1 「通知領域」 - [△] - 「Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile」アイコンをクリックし、「グラフィックプロパティ ...」を選択します。



- 2** 「Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile」画面が表示されたら、「動作モード」で画面表示の種類を選択します。

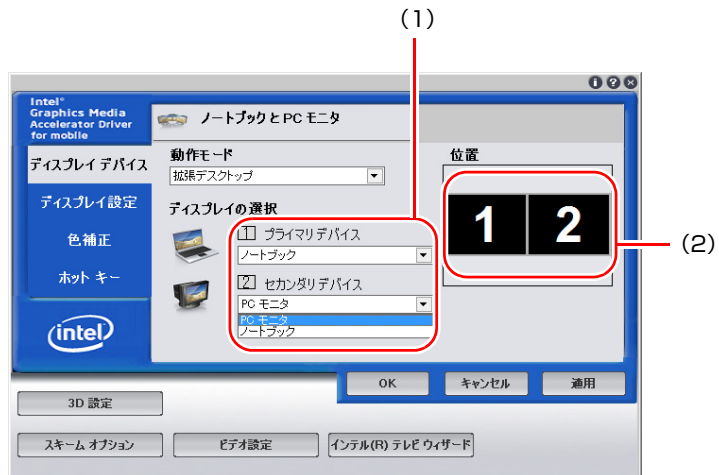


シングルディスプレイを選択した場合は、「ディスプレイの選択」でノートブックまたはPCモニタを選択して手順4へ進みます。

- 3** 「Intel® デュアル・ディスプレイ・クローン」または「拡張デスクトップ」を選択した場合は、次の設定を行います。

- (1) 「プライマリデバイス」または「セカンダリデバイス」を設定します。

拡張デスクトップでは、「プライマリデバイス」側のディスプレイに[スタート]メニューやタスクバーが表示されます。

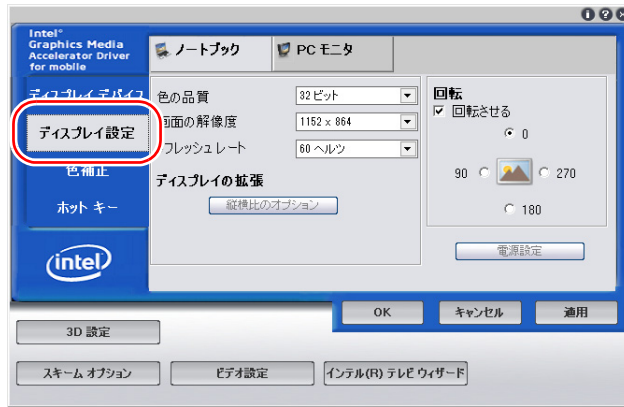


<拡張デスクトップ選択時の画面>

- (2) 拡張デスクトップの場合は、必要に応じて画面の表示位置を設定します。画面アイコン1または2をドラッグして位置を変更します。

**(3) 画面表示の設定をします。**

「ディスプレイ設定」をクリックし、「ノートブック」タブまたは「PCモニター」タブで解像度などを設定します。



<拡張デスクトップ選択時の画面>

**4** [OK] をクリックします。

**5** 「デスクトップの変更を確認」画面が表示されたら、「プライマリデバイス」側のディスプレイで [OK] をクリックします。

これで画面表示の切り替えは終了です。

## ▶外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

### ● 解像度

解像度 ピクセル (横×縦)	アナログ接続	HDMI接続	デジタル接続 (オプション)
800×600	○	○	○
1024×768	○	○	○
1280×720*	○	○	○
1280×768*	○	○	○
1280×1024	○	○	○
1400×1050	○	○	○
1440×900*	○	○	○
1600×1200	○	—	○
1680×1050*	○	○	○
1920×1080*	○	○	○
1920×1200*	○	—	○

\* ワイド表示

### ● 表示色

中 (16ビット) / 最高 (32ビット)



制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示モードや接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- クローン表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイ側の最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生ソフトで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

# サウンド機能を使う

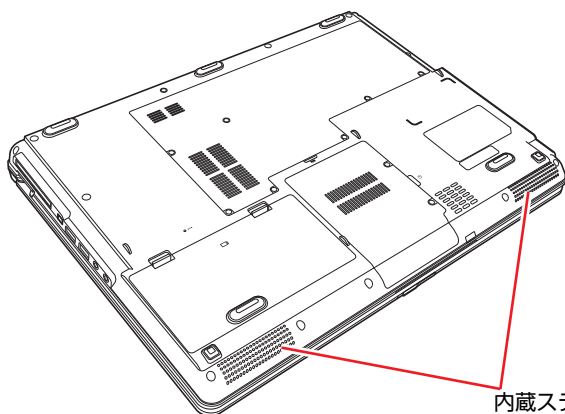
本機には、サウンド機能が搭載されています。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。  
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

## 内蔵ステレオスピーカー

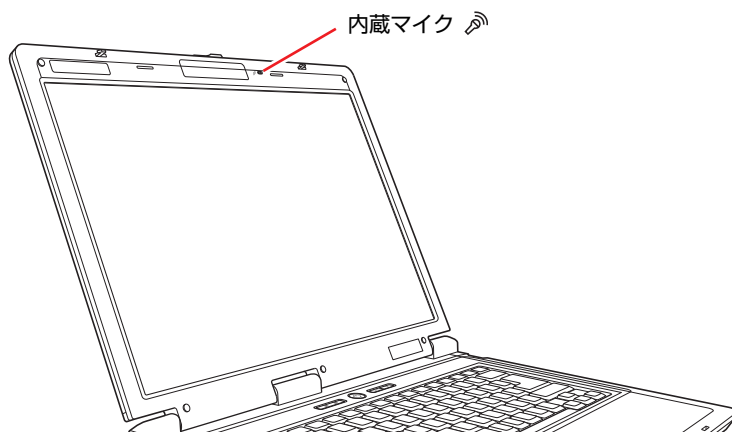
本機はステレオスピーカーを内蔵しており、音声を出力することができます。



内蔵ステレオスピーカー

## 内蔵マイク

本機には、マイク（モノラル）が内蔵されています。この内蔵マイクを使って、音声を録音することができます。



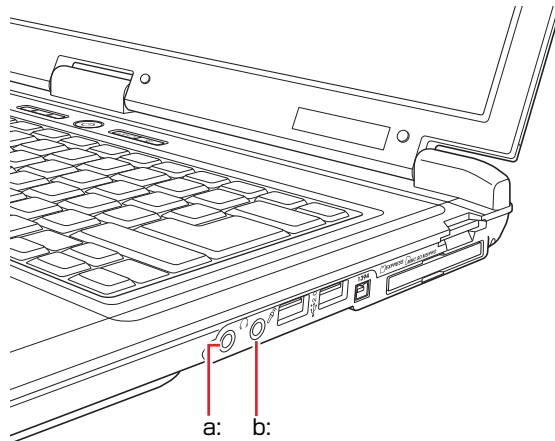
### 参考


#### ヘッドホンやマイクの接続


ヘッドホンやマイクを接続すると内蔵スピーカーや内蔵マイクの機能は自動的に無効になります。

## ▶マイクなどの接続

本機右側面には、スピーカーやヘッドホン、マイクを接続するためのコネクタが搭載されています。各コネクタの位置と使い方は、次のとおりです。



a: ヘッドホン出力コネクタ   
スピーカーやヘッドホンと接続します（ステレオ）。音声を出力します。

b: マイク入力コネクタ   
マイクと接続して、音声を本機に入力します。入力した音声は、本機のサウンド機能により録音、再生を行うことができます。










### 参考

#### 使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデンサーマイクです。

## ▶音量の調節

スピーカーの音量は次のキーを押して調節します。

キー操作	状態
 +  	一度押すとミュート（消音）になり、もう一度押すとミュートが解除されます。
 +  	音量が小さくなります。
 +  	音量が大きくなります。

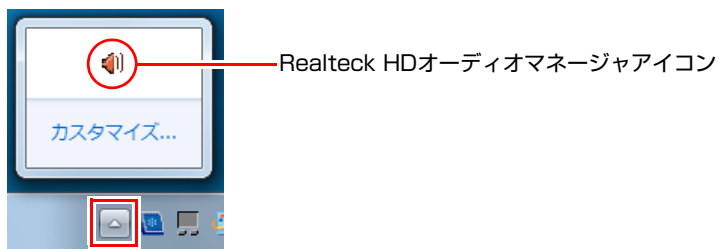


ソフトウェアによっては、キー操作で音量調節ができないものがあります。詳しくは、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

## ▶サウンドユーティリティを使う

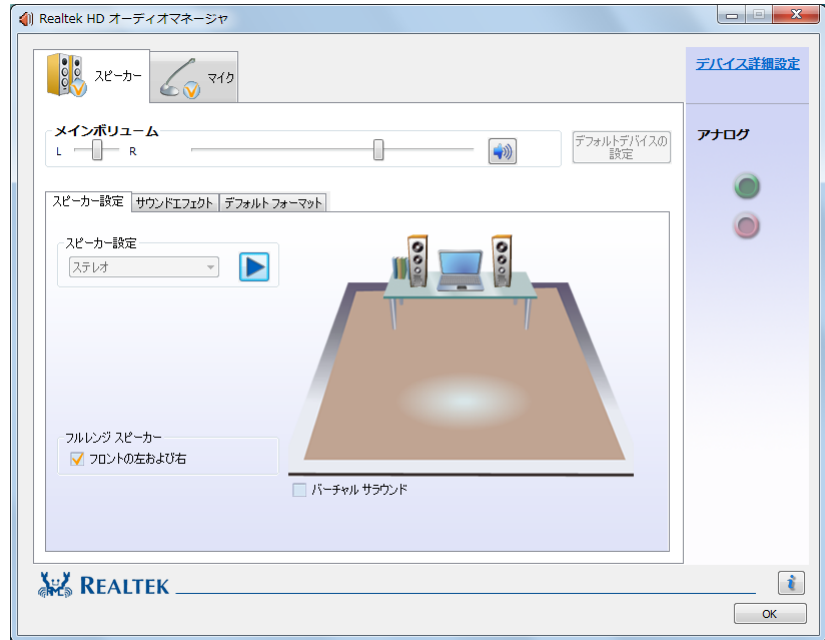
サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、通知領域— [△] 内の「Realtek HDオーディオマネージャ」アイコンをダブルクリックします。



次の画面が表示されます。



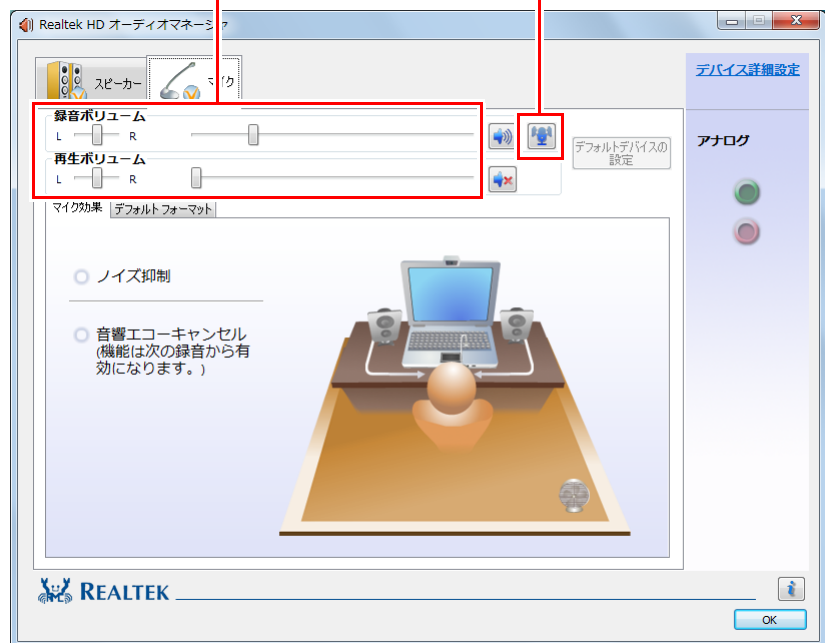



## マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。

マイクで録音・再生時の音量を調節

マイクブーストの設定

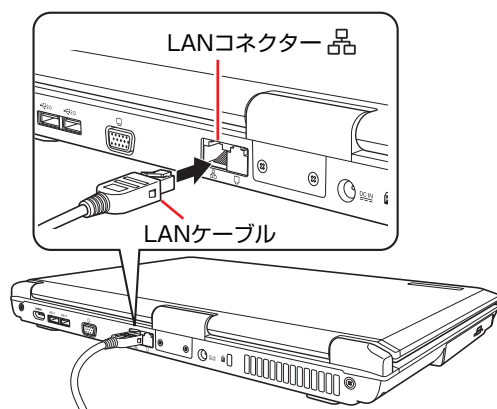


録音時に音量を調節しても音が小さいときは、 をクリックして、表示されたマイクブーストのつまみを右へスライドさせて、音量を上げてください。

# ネットワーク（有線LAN）を使う

本機には、1000Base-T/100Base-TX/10Base-Tに対応したネットワーク機能（有線LAN）が搭載されています。ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク（有線LAN）を使用する場合は、本機背面のLANコネクタに市販のLANケーブルを接続します。




## ▶ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LANケーブルやハブ（サーバー）などが必要です。そのほかに、Windows上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定などが必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。



制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - ・ 再起動する
  - ・ 省電力状態に移行しないように設定する p.149 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。

## ▶インターネットへの接続

---

インターネットへ接続する場合は、 p.138「インターネットに接続する」をご覧ください。

## ▶主な機能

---

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次のような機能を使用できます。

### WakeUp On LAN

WakeUp On LANを使用すると、電源切断時やスリープ時、休止状態のときにネットワークからの信号により本機を復帰させることができます。この機能を使用するときは、必ずACアダプターを接続してください。また、電源切断状態からの復帰は、Windowsを正常に終了した状態でのみ使用可能です。

### リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上からWindowsをインストールすることができます。

# 無線LANを使う

無線LANとは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。  
本機には無線LANアダプターが内蔵されています。

## ▶対応規格

本機に内蔵されている無線LANアダプターは、次の規格に対応しています。

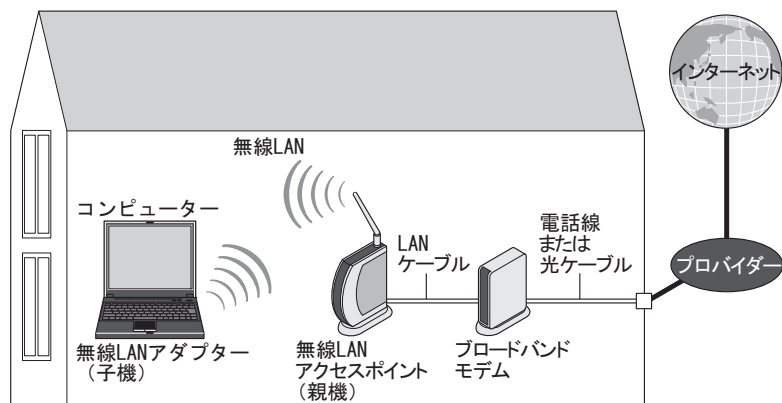
- IEEE802.11a (W52/W53/W56) /b/g
- IEEE802.11nドラフト2.0準拠\*

\*「IEEE802.11nドラフト2.0準拠」は、ほかのIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

IEEE802.11n対応のワイヤレスブロードバンドルーターであっても、IEEE802.11nドラフト2.0規格での接続ができない場合があります。

## ▶無線LANの概要

無線LANの概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



## 無線LANの用語一覧

無線LAN機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線LAN	ワイヤレスLAN
無線LANアクセスポイント	親機、ワイヤレスLANステーション、アクセスポイント、各社の製品名称
無線LANアダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線LAN端末、無線LANクライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子
SSID非通知	SSIDの隠蔽、SSIDを見せない設定、SSIDマスクビーコン、SSIDステルス、ステルスAP、ステルス機能、ANY接続拒否
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスによる制限


## ▶無線LAN使用時の注意事項

無線LANを使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。



- 無線LAN機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。  
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。  
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線LAN機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
  - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
  - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - ・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線LAN機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。  
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。  
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線LAN機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - ・再起動する
  - ・省電力状態に移行しないように設定する  
 p.149 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- 本機の無線LAN機能は、Wakeup On LANとリモートブートには対応していません。

## 電波に関する注意事項

無線LANは、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- 本機の無線LAN機能は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。そのため、本機の無線LAN機能を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内でのみ使用できます。
- IEEE802.11a、IEEE802.11nドラフト2.0は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 本機の無線LAN機能は、技術基準適合証明を受けていますので、次の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・ 本機を分解/改造する
  - ・ 本機の裏面に貼ってある無線LAN注意ラベルをはがす
- IEEE802.11b/g、IEEE802.11nドラフト2.0を使用して2.4GHz付近の電波を通信している無線装置などの近くで通信すると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、使用しないでください（環境により電波が届かない場合があります）。
- 本機の無線LAN機能の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、次の機器や無線局と電波干渉するおそれがあります。
  - ・ 産業・科学・医療用機器
  - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    - 1 構内無線局（免許を要する無線局）
    - 2 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）万一、本機の無線LAN機能と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または運用を停止（電波の発信を停止）してください。

## ▶無線LAN機能のON/OFF方法

無線LAN機能のON/OFF方法について説明します。



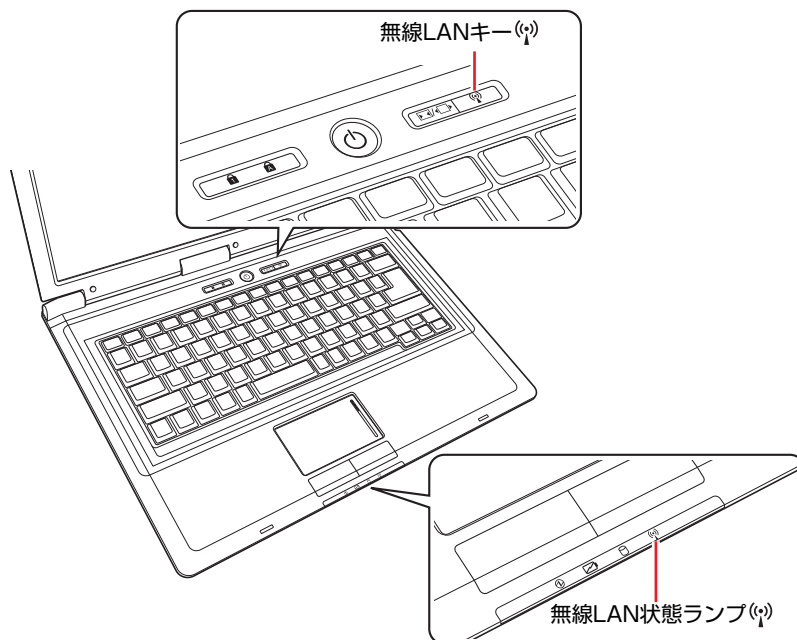
無線LAN機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。電波が電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。



- 有線LANを使用する場合は、無線LAN機能をOFFにしてください。
- バッテリーのみで本機を使用している場合、無線LAN機能がONになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。無線LANを使用しない場合は、無線LAN機能をOFFにしてください。

### 無線LAN機能のON/OFF切り替え

無線LAN機能のON/OFF切り替えは、無線LANキー (無線LANキー)で行います。無線LANキー (無線LANキー) を押すたびに、ONとOFFが切り替わります。購入時、無線LAN機能はOFFになっています。



無線LAN機能のON/OFFは、無線LAN状態ランプ (無線LAN状態ランプ) で確認できます。

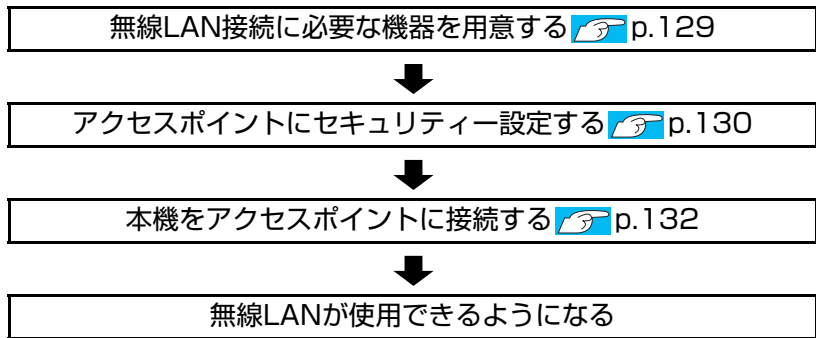
無線LAN機能	無線LAN状態ランプ
ON	点灯
OFF	消灯



## ▶無線LAN接続の設定をする

ここでは無線LANアクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線LAN接続方法）について説明します。  
インターネットへの接続は、無線LAN接続完了後に、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧になり、設定を行ってください。

無線LAN接続の設定の流れは、次のとおりです。



### 参考

アクセスポイントのマニュアルに従って接続する

アクセスポイントによっては、アクセスポイントのマニュアルの記載に従って設定すると、簡単に無線LAN接続をすることができます。  
まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

## 無線LAN接続に必要な機器を用意する

無線LAN接続に必要な機器を用意します。

### ●無線LANアクセスポイント

本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものをご購入してください。

アクセスポイントにはルーター付きとルーター無しがあります。接続するブロードバンドモデムにルーター機能がない場合は、ルーター付きを選択します。

### ●ブロードバンドモデム（ADSL用や光ファイバー用の通信装置）

インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

### ●LANケーブル

ブロードバンドモデムとアクセスポイント、アクセスポイントと本機を接続するのに使用します。

## アクセスポイントにセキュリティー設定する

無線LANは電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、セキュリティー設定を行います。

セキュリティー設定はアクセスポイントのマニュアルを参照して行います。

- 1** 本機とアクセスポイントをLANケーブルでつなぎます。
- 2** すでにインターネットに接続している場合は、ブロードバンドモデムに接続されている電話線や光ケーブルを一旦抜いておきます。  
次の手順でファイアウォールを無効にするため、セキュリティーが確保されなくなります。インターネット接続している場合は、必ず電話線や光ケーブルを抜いてください。
- 3** 本機のファイアウォールを一旦無効に設定します。  
ファイアウォールが有効になっていると、無線LANの設定が正常に行えないことがあります。  
設定方法は、『セキュリティーソフトウェアのマニュアル』をご覧ください。
- 4** アクセスポイントの電源を入れます。
- 5** アクセスポイントのマニュアルを参照し、本機でアクセスポイントの設定画面を開きます。

無線LANアクセスポイント設定メニュー		
ステータス	X X X X	X X X X X X X
アドレス設定	X X X X	X X X X X X
高度な設定	X X X	X X X
	X X X	X X X
MACフィルター		
メンテナンス	X X X X	X X X X
	X X X	X X X X
パスワード	X X X	X X X
設定ウィザード	X X X	X X X

<イメージ>

## 6 アクセスポイントのマニュアルに従って、次のセキュリティー設定を行います。

これは最低限行っていただきたいセキュリティー設定です。

### ● SSIDの変更

誤って他人のアクセスポイントに本機を接続しないように、自分のアクセスポイントのSSID（名前）を自分だけがわかる名前に変更します。SSIDは他人にも見えていますので、個人名や会社名など、所有者が特定できるような名前は避けてください。

### ● 暗号化

アクセスポイントと本機に同じ暗号化キーを設定すると、同じ暗号化キーを設定した機器同士のみが接続できるようになります。また、通信データが暗号化され、情報が傍受されにくくなります。

暗号化にはいくつかの方式があります。

一般家庭では次の方式を選択することをおすすめします。

**暗号化方式：WPA-PSK（パーソナル）**

アクセスポイントに「WPA」の機能がない場合は、「WEP」を選択してください。

**暗号化の種類：AES**

アクセスポイントに「AES」の機能がない場合は、「TKIP」を選択してください。



IEEE802.11n ドラフト 2.0 は WPA-PSK (AES) のみに対応しています。



**暗号化方式のセキュリティーレベル**

暗号化方式のセキュリティーレベルは次の表を参考にしてください。

レベル	暗号化方式	
高 ↑ 低	WPA	AES
		TKIP
	WEP	

## 7 設定内容を下記の表に記入します。

設定内容は本機側の設定時に使用します。

項目	設定内容
SSID (ネットワーク名)	
暗号化方式 (セキュリティの種類)	
暗号化の種類	
暗号化キー (セキュリティキー)	

### 本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定した暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。この作業は初めて接続するときのほか、暗号化キーを変更したときや、Windowsの再インストールをした場合にも行います。

#### 1 本機の無線LAN機能をONにします。

 p.128 「無線LAN機能のON/OFF方法」

#### 2 「通知領域」 - 「無線LAN」アイコンまたは「ネットワーク」アイコンをクリックします。



<無線LANアイコン>

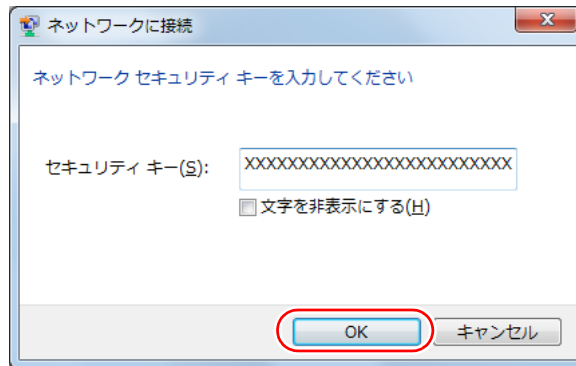



<ネットワークアイコン>

#### 3 アクセスポイントの一覧が表示されたら、[接続するアクセスポイント (設定したSSID)] - [接続] をクリックします。



- 4** セキュリティキーの入力画面が表示されたら、アクセスポイントに設定した暗号化キーを入力し、[OK] をクリックします。



- 5** 本機のファイアウォールを有効に戻します。  
 『セキュリティソフトウェアのマニュアル』
- 6** ブロードバンドモデムに接続されている電話線や光ケーブルを抜いていた場合は、元に戻します。
- 7** 本機とアクセスポイントをつないでいるLANケーブルを外します。  
これで接続作業は完了です。

### ネットワークプロファイル

ここで設定した無線LANは、「ネットワークプロファイル」として自動的に保存されます。ネットワークプロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線LANに接続することができます。

## ▶無線LANを使う

---

---

無線LAN接続の設定が完了すると、次回からは無線LAN機能をONにするだけで自動的にアクセスポイントに無線LAN接続することができます。

## ▶インターネット接続の設定

---

---

インターネットに接続する場合は、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧になり、設定を行ってください。

## ▶強固なセキュリティー設定をする

---

---

無線LANのセキュリティー機能には、ほかにも次のようなものがあります。

- MACアドレスフィルタリング
- SSID非通知

セキュリティーをさらに強固にしたい場合は、必要に応じて設定を行ってください。

アクセスポイントによっては上記の機能に対応していないものもあります。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

### MACアドレスフィルタリング

MACアドレスとは、ネットワーク機器に割り当てられている固有の番号のことです。MACアドレスフィルタリングをすると、接続を許可したMACアドレスを持つコンピューター以外はアクセスポイントに接続できなくなります。

MACアドレスフィルタリングの方法は、次のとおりです。

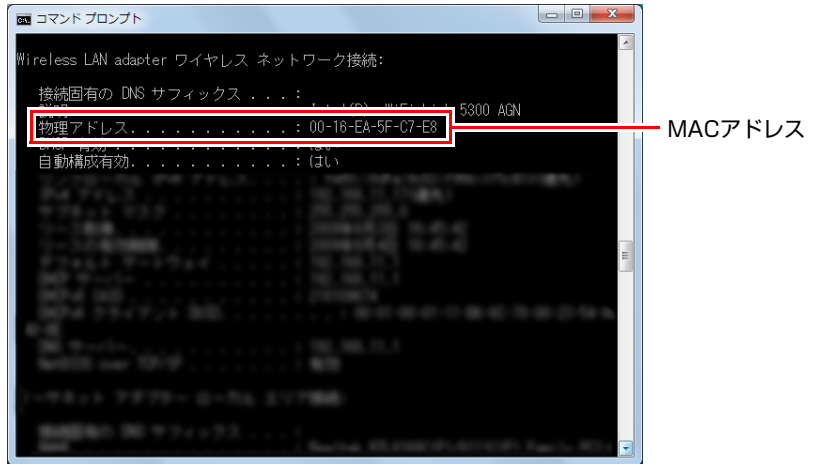
#### MACアドレスの確認

本機のMACアドレスを確認します。

- 1** [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」を選択します。
- 2** コマンドプロンプトが表示されたら、「C:¥・・・>」のあとに次のとおり入力し、を押します。


ipconfig /all ( / はスペースを意味します)

- 3** 本機の無線LANアダプターのMACアドレス（物理アドレス）が表示されます。




MACアドレスを下記の表に記入しておきましょう。  
MACアドレスフィルタリングの設定時に使用します。

MACアドレス	
---------	--

- 4**  をクリックして、コマンドプロンプトを閉じます。

#### MACアドレスフィルタリングの設定


アクセスポイントでMACアドレスフィルタリングの設定をします。

- 1** アクセスポイントのマニュアルに従って、MACアドレスフィルタリングの設定をします。
- 2**  p.132「本機をアクセスポイントに接続する」で一度接続ができていれば、すぐに無線LAN接続をすることができます。  
まだ接続ができていない場合は、接続の設定を行ってください。


## SSID非通知


SSID非通知の設定を行うと、コンピューター側にSSIDが表示されなくなります。他人にアクセスポイント（SSID）が見えなくなるため、無断接続を防ぐことができます。

SSID非通知の設定方法は、次のとおりです。

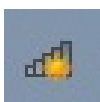
- 1 アクセスポイントのマニュアルに従って、SSID非通知の設定をします。
- 2  p.132「本機をアクセスポイントに接続する」で一度接続ができていれば、すぐに無線LAN接続をすることができます。  
まだ接続ができない場合は、次の手順で接続してください。

### SSID非通知の状態の本機をアクセスポイントに接続する

初めて本機をアクセスポイントに接続するときにSSID非通知の設定がされていると、本機にアクセスポイント（SSID）が表示されないため、 p.132「本機をアクセスポイントに接続する」の方法では接続できません。次の方法で設定をすべて手動で入力して、ネットワークプロファイルを作成してください。

<  p.132「本機をアクセスポイントに接続する」手順2～5の読み替え >

- 1 「通知領域」－「無線LAN」アイコンまたは「ネットワーク」アイコンをクリックします。



<無線LANアイコン>

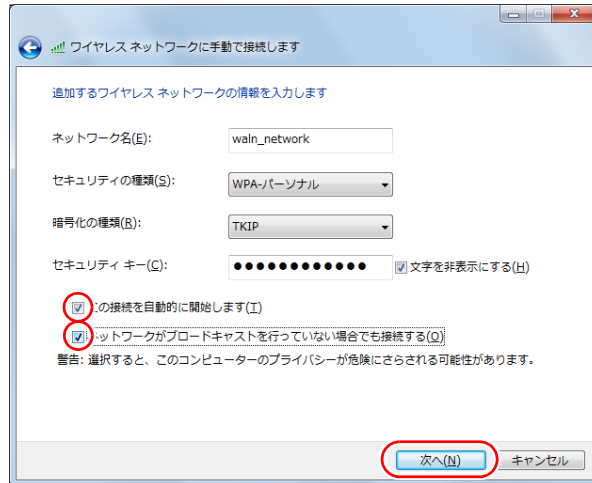


<ネットワークアイコン>

- 2 「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。
- 3 「ネットワークと共有センター」が表示されたら、「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックします。
- 4 「使用するワイヤレスネットワークを管理します」と表示されたら、「追加」をクリックします。
- 5 「どのような方法でネットワークを追加しますか？」と表示されたら、「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックします。




- 6 「追加するワイヤレスネットワークの情報を入力します」と表示されたら、アクセスポイントに設定したセキュリティー情報を入力します。



- (1) 「ネットワーク名」にSSIDを入力します。
- (2) 「セキュリティーの種類」で暗号化方式を選択します。
- (3) (2) で WPA を選択した場合は、「暗号化の種類」で暗号化の種類を選択します。
- (4) 「セキュリティーキー」に暗号化キーを入力します。
- (5) 「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けます。  
(2) で WPA を選択した場合は、自動でチェックが付いています。
- (6) 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

- 7 「正常に…を追加しました」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。

## ▶ 複数の無線LAN環境を登録する

複数の無線LAN環境（職場やホットスポットなど）の設定を事前に登録しておきたいときは、手動入力でネットワークプロファイルを作成します。手動入力でネットワークプロファイルを作成する方法は、 p.136 「SSID非通知の状態では本機をアクセスポイントに接続する」をご覧ください。

# インターネットに接続する

インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーと契約すると、メールアドレスやパスワードなどインターネットへの接続に必要な情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。説明書に従って接続作業を行ってください。



## 再インストール後のインターネット接続

Windowsを再インストールした場合は、インターネットに接続するための設定作業が再度必要になります。プロバイダーからの説明書はなくさないように大切に保管してください。

## ▶インターネットや電子メールを利用する

本機では、次のソフトウェアを使用してインターネットや、電子メールを利用します。

- ホームページの閲覧：Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）
- 電子メールの利用：Windows Liveメール



Officeをインストールしているときは

Officeをインストールしている場合は、電子メールソフトOutlookを使用することもできます。

Outlookの使用方法は、Outlookのヘルプをご覧ください。

## 各ソフトウェアの起動方法

各ソフトウェアの起動方法は、次のとおりです。

### ● Internet Explorer

タスクバー左側の「Internet Explorer」アイコンをクリック



<Internet Explorerアイコン>

### ● Windows Live メール

次のどちらかの方法で起動します。

- [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Live」 - 「Windows Live メール」をクリック

- + (☒) を押す (設定必要)

p.81 「キー操作でWindows Liveメールを起動するには」

## 各ソフトウェアの使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次をご覧ください。

「各ソフトウェアのヘルプ」  
「PCお役立ちナビ」－「お役立ち」

## Internet Explorerで情報バーが表示されたら

購入時のInternet Explorerは、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう設定されています。Internet Explorer使用时、情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処をしてください。



## Internet Explorerの便利な追加機能

本機にはInternet Explorerの便利な機能として、次のソフトウェアが添付されています。

- JWord

Internet Explorerのアドレスバーにキーワードを入力して、検索を行うことができます。

- gooスティック

Internet Explorerツールバー上の「goo」検索ボックスにキーワードを入力して、検索を行うことができます。

- マカフィー・サイトアドバイザープラス

Webサイトの安全性評価を表示するツールです。「マカフィー・サイトアドバイザープラス」を使用する場合は、Internet Explorerのツールバー上の「McAfee SiteAdvisor」ボタンからユーザー登録を行ってください。

セキュリティーソフトウェア「マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版」側でユーザー登録を行った場合、登録は不要です。

# インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうるコンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対するセキュリティー機能が備えられています。ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

## ▶ Windows Update

「Windows Update」は、本機のWindowsの状態を確認し、Windowsの更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。Windowsを最新の状態にするため、Windows Updateを行ってください。

### 自動更新の設定

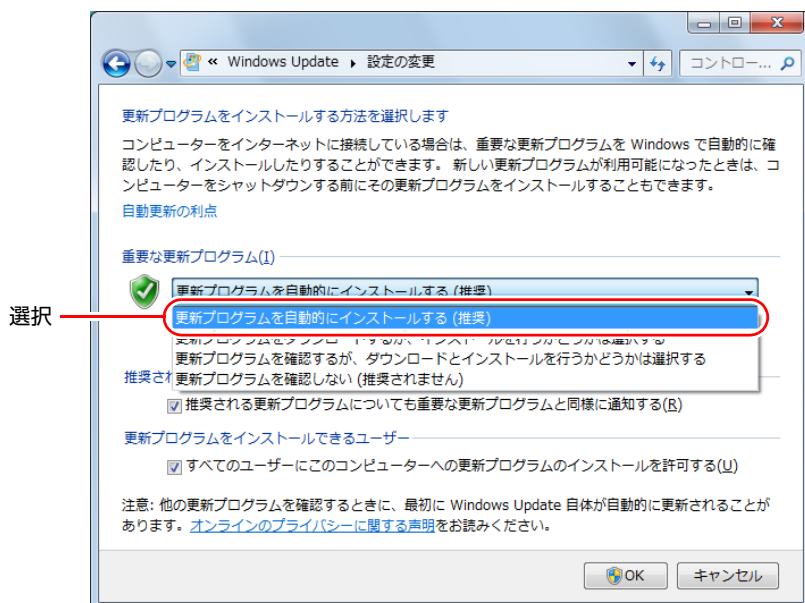
本機を使用する際は、自動でWindows Updateが行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

Windowsのセットアップ時に「コンピューターの保護と…」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート]－[すべてのプログラム]－[Windows Update]－[設定の変更]



## ▶セキュリティーソフトウェア

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティーソフトウェアを必ず使用してください。

### マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能を備えた「マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版」がインストールされています。

※購入時の選択によっては、インストールされていません。

マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版の詳細は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「セキュリティーソフトウェアをご使用の前に」



### サポート情報

正しく動作しない場合など、マカフィー製品に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

- マカフィー・インフォメーションセンター

マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info\\_redirect.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp)

電話ナビダイヤル : 0570-010-220

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1899

受付時間9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs\\_redirect.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp)

電話ナビダイヤル : 0570-030-088

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1792

受付時間9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・チャットサポート

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

E-mail によるお問い合わせフォーム

[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform\\_redirect.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp)

電話ナビダイヤル : 0570-060-033

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-2279

受付時間9:00 ~ 21:00 (年中無休)

(FAX によるお問い合わせは受け付けておりません)

## 市販のセキュリティーソフトウェアを使う

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版をアンインストール（削除）してください。アンインストール方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「セキュリティーソフトウェアをご使用前に」

## ▶Webフィルタリングソフトウェア

---

Webフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを見せないようにするための技術です。Webフィルタリングは万全ではありません。ただし、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。


### i-フィルター 30日版を使う

本機には、「Webフィルタリング」機能を持つ「i-フィルター 30日版」が添付されています。

家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへのアクセスを制限したいときなどは、i-フィルター30日版を使用することをおすすめします。

#### i-フィルター 30日版のインストール

購入時、本機にはi-フィルター 30日版はインストールされていません。

インストール方法は、 p.201 「i-フィルター 30日版のインストール」をご覧ください。

市販のWebフィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30日版はインストールしないでください。

#### i-フィルター 30日版の使用方法

i-フィルター 30日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトにアクセスしようとする、自動的にブロックされます。

初期設定では、フィルター強度は中学生向けです。フィルター強度は、ユーザー別に設定できます。必要に応じて、「フィルタリング設定」画面で設定を変更してください。

「フィルタリング設定」画面の表示方法は、次のとおりです。



## 1 デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。



<i-フィルターアイコン>

「i-フィルター…」画面が表示された場合は、ユーザー登録が完了していません。ユーザー登録を行ってから再度設定を行ってください。

p.201 「i-フィルター 30日版のユーザー登録」

## 2 「管理パスワードの入力」画面が表示されたら、管理パスワードを入力して [OK] をクリックします。

## 3 「i-フィルター」の「トップページ」が表示されたら、「フィルタリング設定」をクリックします。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30日版の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。



<イメージ>

### 参考


ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。この場合は、「i-フィルター 30日版」の使用を許可してください。

## i-フィルター 30日版の利用期限

i-フィルター 30日版の利用期限は、ユーザー登録後30日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

### <継続して利用する場合>

継続利用の手続き（有償）をオンラインで行ってください。

 p.146 「i-フィルター 30日版のサポート」




本機に添付のi-フィルター 30日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用手続きを行うことはできません。

### <継続して利用しない場合>

i-フィルター 30日版のアンインストールを行ってください。

i-フィルター 30日版のアンインストール方法は、デジタルアーツ社のホームページの「よくある質問」をご覧ください。

 p.146 「i-フィルター 30日版のサポート」

## i-フィルター 30日版のサポート

i-フィルター 30日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

# 省電力機能


ここでは、本機の電源の設定について説明します。


## ▶本機を省電力状態にする

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。特にバッテリーだけで使用している場合は、本機を省電力状態にしておくことで使用時間を延ばすことができます。ここでは、省電力状態に移行する方法や、省電力状態からの復帰方法について説明します。

### 省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
  - ・ 周辺機器を接続している
  - ・ ソフトウェアを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。  
 p.149 「時間経過で移行させない」
  - ・ 光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
  - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
  - ・ メモリーカードなど外部接続記憶装置へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
  - ・ ネットワーク機能などを使っての通信時：通信が切断される可能性
  - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
  - ・ 省電力状態でExpressカードや周辺機器などの抜き差しを行った場合
  - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま、省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
  - ・ 再起動する
  - ・ 省電力状態に移行しないように設定する

 p.149 「時間経過で移行させない」

## 省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- **ディスプレイの電源を切る**

省電力の効果はスリープ状態より低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

- **スリープ**

作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが点滅します。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。スリープ状態で6時間経過した場合、またはバッテリー残量が低下した場合は、自動的にメモリーの内容がHDDに書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

- **休止状態**

作業内容をHDDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

## ▶省電力状態に移行する方法

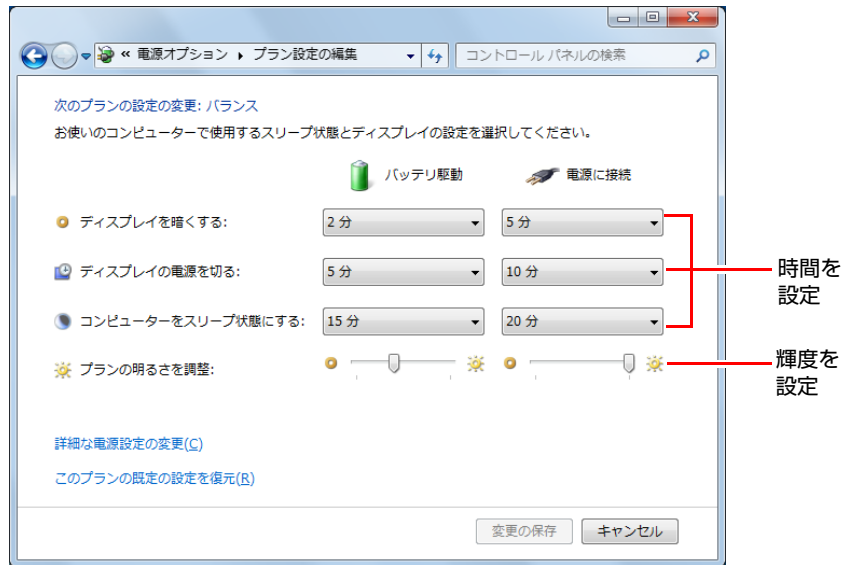
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

### 時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で、「電源プラン」で設定されている時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所で変更することができます。

【スタート】－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「電源オプション」－各プランの「プラン設定の変更」



### 時間経過で移行させない

光ディスクメディアへ書き込みを行う場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

## 直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
電源スイッチ (⏻) を押す	スリープ (初期値)
<b>Fn</b> + <b>F1</b> (☾) を押す	
LCDユニットを閉じる	
[スタート] - [▷] から項目を選択する	スリープ、休止状態

## 電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ (④) の点灯・点滅により確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常の状態	点灯 (青色)
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯 (青色)
スリープ	点滅 (青色)
休止状態	消灯
電源切断時 (シャットダウン時)	消灯

## 省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯 (青色)	タッチパッドやキーボードを操作する
スリープ	点滅 (青色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源スイッチを押す</li> <li>・キーボードを操作する</li> </ul>
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

# そのほかの機能

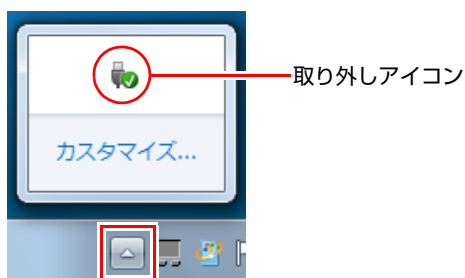
ここでは、そのほかの機能について説明します。

## ▶IEEE1394コネクター

本機右側面にはIEEE1394コネクター（4ピン）が1個搭載されています。IEEE1394コネクターにはIEEE1394対応の機器を接続します。

### 接続と取り外し

IEEE1394機器の接続、取り外しは電源が入った状態で行うことができます。ただし、通知領域－[△]内に「取り外し」アイコンが表示される場合は、Windows上で終了処理が必要です。詳しくは、接続する機器のマニュアルをご覧ください。



## ▶インテル・ターボ・メモリ（オプション）

本機購入時にインテル・ターボ・メモリ（2GBまたは4GB）をオプション選択された場合、本機にはインテル・ターボ・メモリが搭載されています。

### <2GBの場合>

ReadyBoostとReadyDrive（Windowsの高速化）に対応しており、Windowsやアプリケーションの起動が高速化されます。

### <4GBの場合>

Ready Drive（Windowsの高速化）に対応しています。4GBでは、ReadyBoostの代わりに、高速化するアプリケーションを手動で選択できる機能を採用しているため、ReadyBoostは設定できません。アプリケーションの選択方法は、デスクトップ上の「Intel(R) Turbo Memory Dashboard」アイコンをダブルクリックし、表示された画面のヘルプをご覧ください。



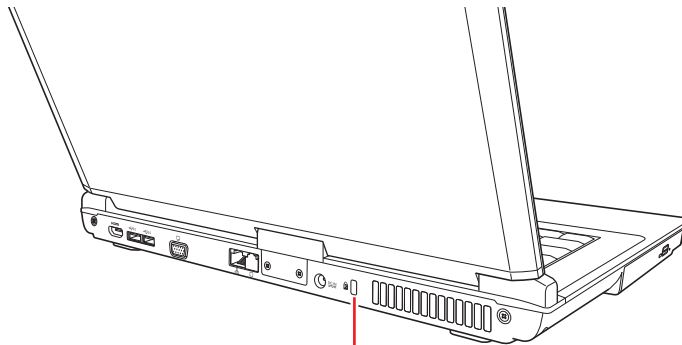
<Intel(R) Turbo Memory Dashboardアイコン>



- 2GBのインテル・ターボ・メモリを搭載している場合は、USBフラッシュメモリーのReadyBoostは使用しないでください。
- インテル・ターボ・メモリを搭載している場合は、バックアップソフトを使用してのデータの保存や復元が正常にできないことがあります。

## ▶セキュリティロックスロット

本機背面には、「セキュリティロックスロット」が装備されています。ここでは、盗難抑止ワイヤー（セキュリティロック）を取り付けます。



セキュリティロックスロット 

当社では、オプションで盗難抑止ワイヤーを取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。  
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>



# 第3章 システムの拡張

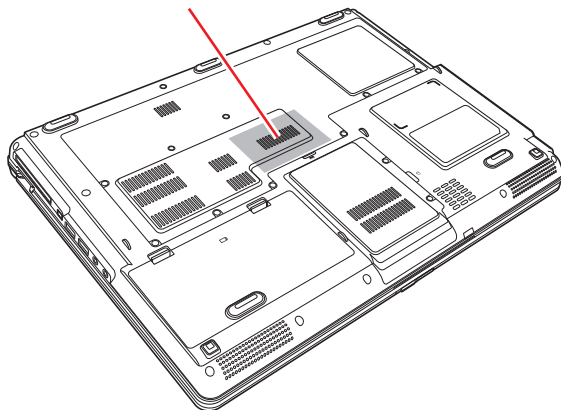
アップグレードサービスや本機に接続できる装置について説明します。

「拡張できる装置」 .....	154
「メモリーの装着」 .....	155
「外付け可能な周辺機器」 .....	162

# 拡張できる装置


本機では、メモリーモジュール（SODIMM、以降メモリー）を増設・交換して、機能を拡張することができます。

メモリースロット



メモリースロット

本機には、メモリースロットが底面に2本用意されています。

 p.155 「メモリーの装着」



本機は、メモリー以外の機能を拡張することはできません。

## アップグレードサービス

当社ではコンピューター本体をお預かりして装置の増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。

本機では次の装置のアップグレードサービスを利用できます。

- メモリー : 増設・交換
- 内蔵HDD : 交換
- 光ディスクドライブ : 交換

アップグレードサービスをご希望の場合は、カスタマーサービスセンターにご相談ください。カスタマーサービスセンターの連絡先は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。

ご自身での装置の増設・交換（メモリーを除く）は、故障の原因となりますので行わないでください。

# メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、増設・交換方法について説明します。  
本機底面にはメモリースロットが2つあり、メモリーを増設・交換することにより拡張が可能です。

## ▶メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC2-6400 SODIMM (DDR2-800 SDRAM使用)
- メモリー容量 1GB、2GB
- Non ECC
- 200ピン
- CL=5



本機で合計 3GB を超えるメモリーを搭載しても、システム上利用できるメモリーの最大容量は約 3GB です。

3

## 最新メモリー情報

今後、新しいメモリーを取り扱う場合があります。  
本機で使用可能な最新のメモリーは、当社ホームページで確認してください。  
ホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>

## ▶メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを2枚1組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。  
メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー 1枚	通常の転送速度で動作 (シングルチャネル)。

## ▶作業時の注意

メモリーの増設・交換をする場合は、次の点に注意してください。



- メモリーの増設・交換をするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造やマニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。



- メモリーの増設・交換は本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や、傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、メモリーの端子部や素子に触れないでください。メモリーの破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリーが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリーを落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

## ▶メモリーの増設・交換

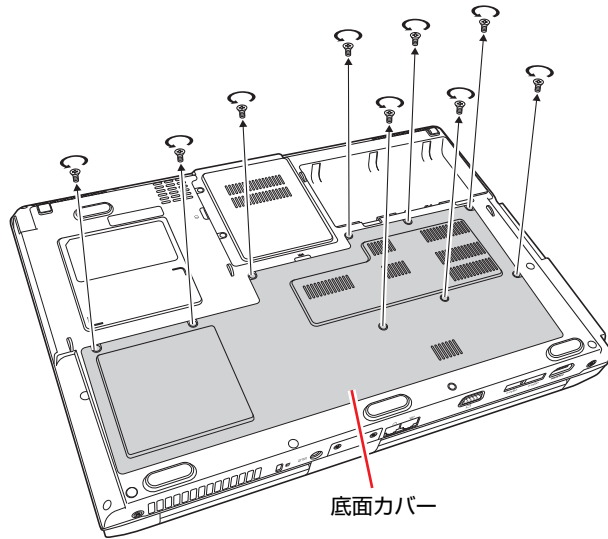
メモリーの増設・交換の手順は次のとおりです。

### メモリーの取り付け

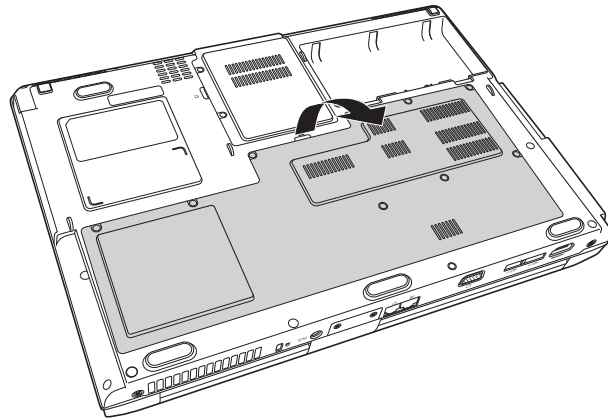
メモリーを取り付ける手順は次のとおりです。

- 1** コンピューターの電源が入っている場合は、電源を切ります。  
コンピューター内部が冷えるまで、10分以上放置してください。
- 2** コンピューターに接続しているケーブル類（ACアダプターなど）を、すべて外します。
- 3** 本機の底面を上にして置き、バッテリーを取り外します。

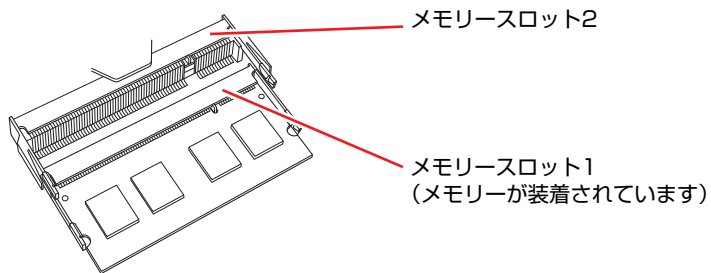
**4** 底面カバーのネジ（9本）を外します。



**5** 底面カバーを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

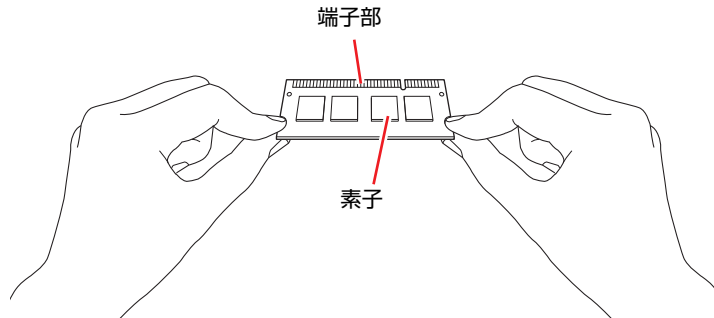


**6** メモリスロット2の位置を確認します。

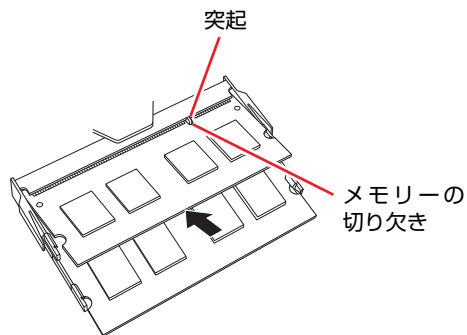


メモリスロット1のメモリーを交換する場合、メモリスロット2にメモリーが装着されているときは、メモリスロット2のメモリーを取り外してから作業を行ってください。

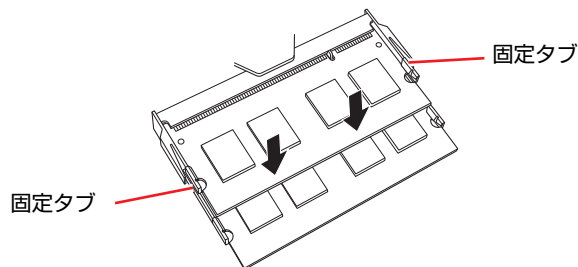
- 7** 増設するメモリーを静電防止袋から取り出します。  
メモリーの端子部や素子に触れないように持ちます。



- 8** メモリーを、メモリスロット2に差し込みます。  
メモリーの切り欠きをメモリスロットの突起にあわせ、メモリーを約30度の角度でメモリスロットに差し込みます。

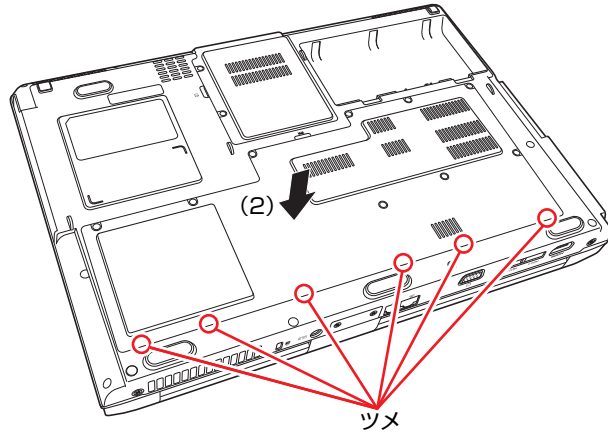
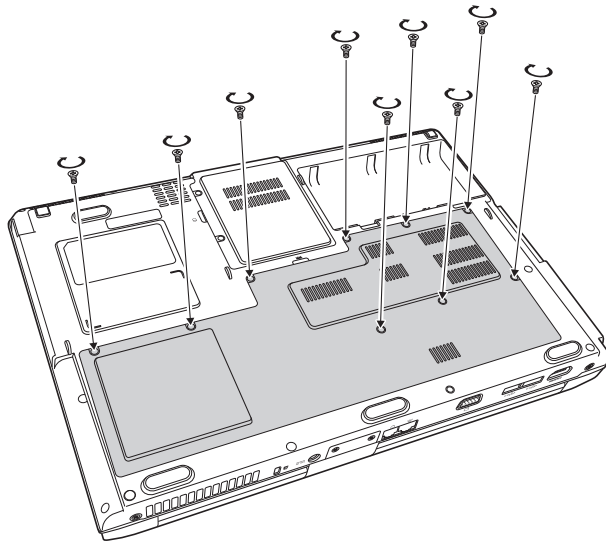



- 9** メモリーを静かに倒します。  
「カチッ」と音がして両側の固定タブに固定されます。




**10** 底面カバーを取り付けます。

- (1) 底面カバーの6箇所のツメを本体に合わせます。  
(2) 底面カバーを「カチッ」と音がするまで押し込みます。


**11** 底面カバーをネジ（9本）で固定します。**12** バッテリーを取り付けます。

 p.67 「バッテリーの交換」

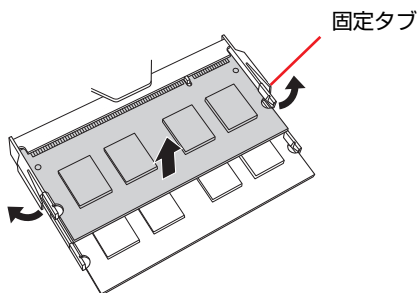
**13** 本機の底面を下にして置きます。**14** コンピューターを使用できるように、ケーブル類を元に戻します。

続いて  p.161 「メモリーの増設・交換後の作業」を行います。

## メモリーの取り外し

メモリーの取り外しは、 p.156 「メモリーの取り付け」の手順7～9を次の手順に読み替えて行ってください。ここでは、メモリースロット2のメモリーを取り外す手順を説明します。

- 1** メモリーを両側で固定している固定タブを外側に広げます。  
メモリーが起き上がります。




- 2** 起き上がったメモリーの両端を持って静かに引き抜きます。  
取り外したメモリーは静電防止袋に入れて保管してください。



## ▶メモリーの増設・交換後の作業


メモリーの増設・交換をしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。  
メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

- 1 シャットダウン状態からコンピューターの電源を入れたら、**F2** を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。

 p.165 「BIOS Setupユーティリティの起動」

- 2 「Main」メニュー画面－「System Memory」で総メモリー容量を確認します。

- 3 **F10** を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。

 p.169 「BIOS Setupユーティリティの終了」

手順2で総メモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

### 参考

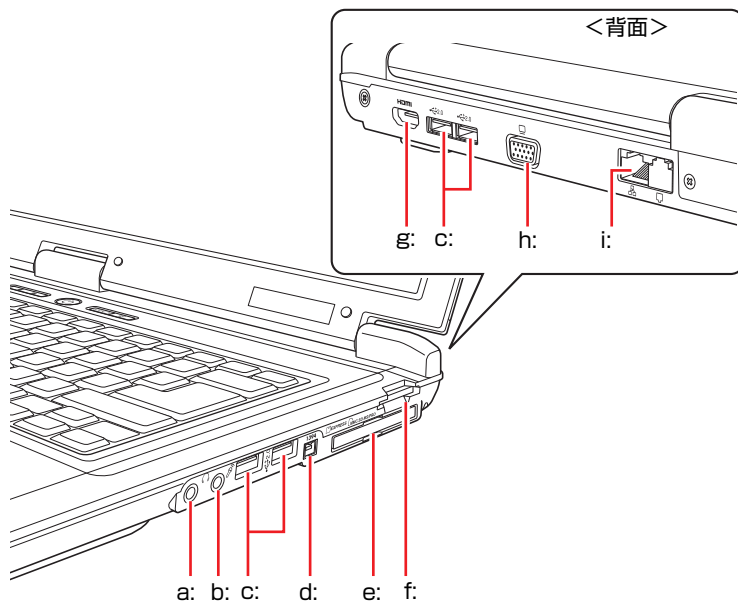
#### 総メモリー容量の表示

本機は、メインメモリーの一部をビデオメモリーとして使用します。

BIOSでは、メインメモリーからビデオメモリー（最小32MB）を引いた値が表示されます。

# 外付け可能な周辺機器

本機のスロットやコネクタには、次のような周辺機器を取り付けることができます。各コネクタへの接続方法は、本書または接続する周辺機器のマニュアルをご覧ください。



- |  |   |
|--|---|
| <b>a: ヘッドホン出力コネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スピーカー</li><li>・ヘッドホン</li></ul>  | <b>e: Expressカードスロット</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・Expressカード</li></ul>                                    |
| <b>b: マイク入力コネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・マイク</li></ul>   | <b>f: メモリーカードスロット</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・メモリースティック</li><li>・マルチメディアカード</li><li>・SDメモリーカード</li></ul> |
| <b>c: USBコネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・プリンター</li><li>・スキャナー</li><li>・デジタルカメラ</li><li>・USB FDD</li><li>・USBマウス</li><li>・USB対応機器</li></ul> | <b>g: HDMIコネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・外付けディスプレイ (HDMI接続)</li></ul>                                  |
| <b>d: IEEE1394コネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・DV機器</li><li>・IEEE1394対応機器</li></ul>   | <b>h: VGAコネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・外付けディスプレイ (アナログ接続)</li><li>・プロジェクター</li></ul>                  |
|  | <b>i: LANコネクタ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ネットワーク</li></ul>   |

## そのほかの接続可能な周辺機器

- 本機では、ケーブルを介さずに次の機器が接続できます。
- ・無線LAN対応機器（無線LAN搭載時のみ）

# 第4章 BIOSの設定

本機の基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

「BIOSの設定を始める前に」 .....	164
「BIOS Setupユーティリティーの操作」 .....	165
「BIOS Setupユーティリティーの設定項目」 .....	176

# BIOSの設定を始める前に



制限

当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対に行わないでください。

BIOSは、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は、「BIOS Setupユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成にあわせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書や周辺機器のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合

BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

BIOS Setupユーティリティで変更した内容は、CMOS RAMと呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

## 参考



### リチウム電池の寿命

BIOS Setupユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況によって異なりますが、ACアダプターやバッテリーからの電源供給が全くない場合、寿命は約5年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。

そのような場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

## 動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、次の方法で設定値に戻すことができます。

- 購入時の設定と変更後の設定をあらかじめ記録しておき、手動で戻す  
万々に備え、設定値を記録しておくことをおすすめします。  
 p.181 「BIOS Setupユーティリティの設定値」
- 初期値や前回保存した設定値に戻す  
 p.169 「設定値を元に戻す」

# BIOS Setupユーティリティーの操作

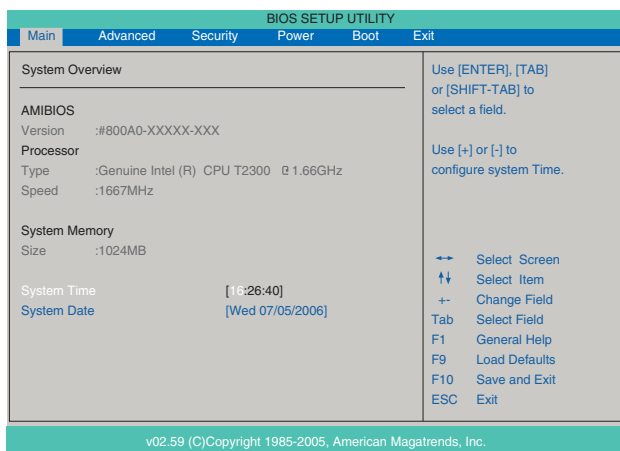
ここでは、「BIOS Setup ユーティリティー」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- HDDアクセス制限
- 起動（Boot）デバイスの順番を変更する

## ▶ BIOS Setupユーティリティーの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **[F2]** の位置を確認してください。手順2では、すばやく **[F2]** を押す必要があります。

- 1** シャットダウン状態から本機の電源を入れます。  
すでにWindowsが起動している場合は再起動します。
- 2** 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **[F2]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。  
Windowsが起動してしまった場合は、再起動して手順2をもう一度実行してください。
- 3** 「BIOS Setupユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。




<BIOS Setupユーティリティー（イメージ）>

## 仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合には、本機の電源を入れたときに次のメッセージが表示されることがあります。

Press F1 to continue, F2 to enter SETUP

このメッセージが表示されたら **F2** を押してBIOS Setupユーティリティを起動します。通常はそのまま「Save Changes and Exit」を実行してBIOS Setupユーティリティを終了します。

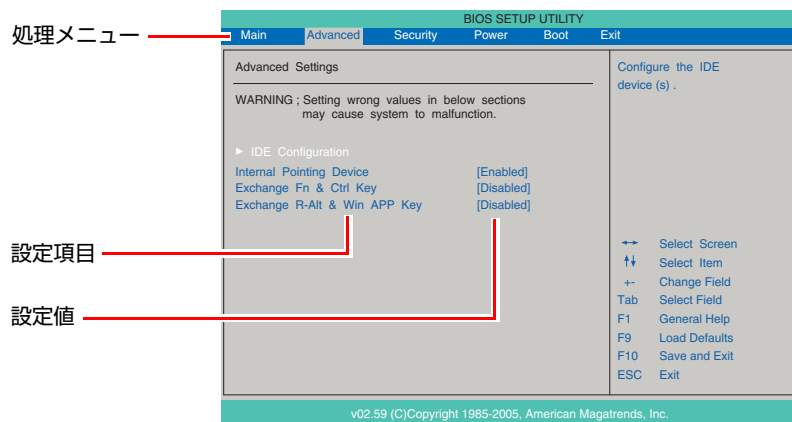
 p.169 「BIOS Setupユーティリティの終了」

## ▶ BIOS Setupユーティリティの操作


「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

### 画面の構成

BIOSセットアップユーティリティを起動すると、次の画面が表示されます。この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

ここで説明に使用している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。実際の各メニュー画面と設定項目の説明は  p.176 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」をご覧ください。

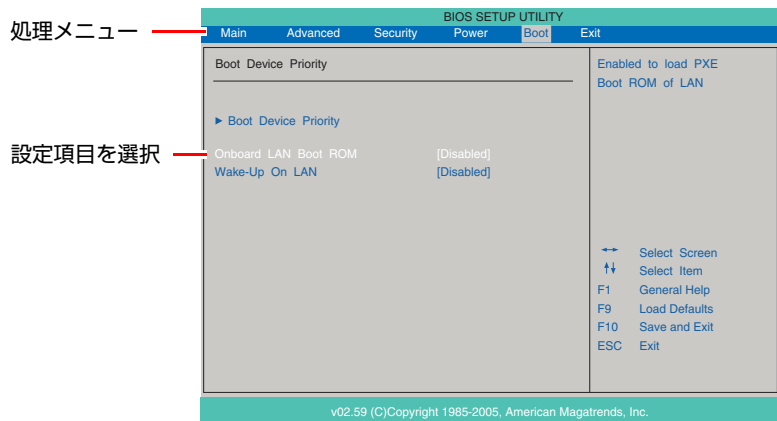
## 操作方法

BIOS Setupユーティリティの操作方法は、次のとおりです。

- 1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニュー画面に移動し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

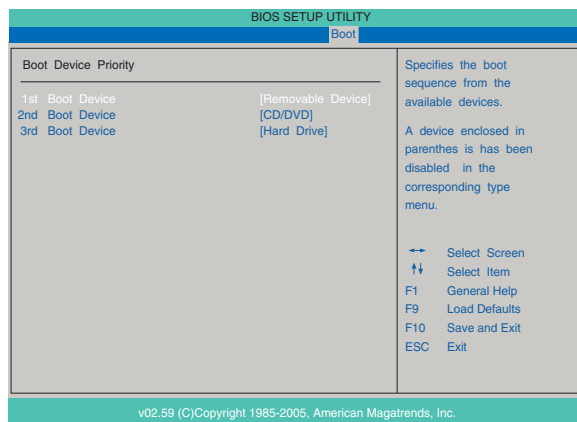
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<▶のある項目の場合>

▶のある項目の場合、(↵)を押すとサブメニュー画面が表示されます。

↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

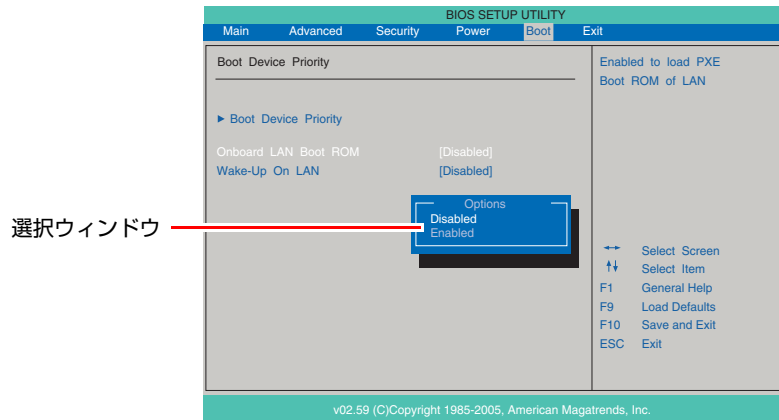


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻するには (Esc) を押します。

## 2 設定値を変更します。

◀を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓で値を選択し、◀で決定します。



## キー操作一覧

BIOSの画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
Fn + -, (P <sub>u</sub> ) Fn + +, (+ <sub>h</sub> )	項目の値を変更します。
◀	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メニュー画面中の▶の付いている項目で押すと、サブメニュー画面を表示します。</li> <li>● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。</li> <li>● 設定値を選択します。</li> </ul>
Esc	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更した内容を破棄し、終了します。</li> <li>● サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。</li> </ul>
F7	変更した設定値を前回保存した設定値に変更します。
F9	全設定項目の値を初期値に変更します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。



## ▶ BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setupユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

### Save Changes and Exit（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択すると次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit setup?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、**↵** を押します。

### Discard Changes and Exit（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Exit」を選択すると次のメッセージが表示されます。

Discard changes and exit setup ?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、**↵** を押します。

## ▶ 設定値を元に戻す

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setupユーティリティの設定を初期値や前回保存した値に戻すことができます。

### Load Optimal Defaults（初期値に戻す）

BIOS Setupユーティリティの設定を、初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面にある項目の設定は、初期値に戻りません。


- 1 **F9** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると次のメッセージが表示されます。

Load Optimal Defaults ?	
[Ok]	[Cancel]


- 2 [Ok] を選択して  を押します。

## Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

BIOS Setupユーティリティを終了せずに、前回保存した設定値に戻します。

- 1  を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard Changes ?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、 を押します。

## ▶パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でBIOSのパスワードを設定すると、BIOSやWindowsの起動時にパスワードを要求されるようになります。


パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき (HDDアクセス制限など)

### パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)  
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードでBIOSにログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)  
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードでBIOSにログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます (権限は、設定変更することができません)。


 p.171 「ユーザーパスワードの権限設定」

### パスワードの設定方法


パスワードの設定方法は、次のとおりです。管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードを設定できるようになります。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、BIOSの設定変更や、設定によってはWindowsの起動ができなくなります。万一、パスワードを忘れた場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。


- 1** 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password


- 2** パスワードを入力し、 を押します。


「\*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

- 3** 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm New Password

同じパスワードを入力しないと、「Passwords do not match!」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押すと、BIOSのメニュー画面に戻ります。この場合、手順1からやりなおしてください。


- 4** 「Password installed.」というメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。

パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Installed」に変わります。

続いて、「ユーザーパスワードの権限」や、「どこでパスワードを要求するか」を決めて設定します。


### ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードでBIOSにログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.178 「Securityメニュー画面」－「User Access Level」

### パスワード入力タイミングの設定

BIOS起動時や、Windows起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。


 p.178 「Securityメニュー画面」－「Password Check」

## パスワードの削除方法


パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでBIOSにログオンしてください。


管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザーパスワードも削除されます。

- 1 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password
--------------------

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Password uninstalled.
[Ok]


- 3 [Ok] が選択された状態で  を押します。

「Supervisor Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。


これでパスワードが削除されました。

## ユーザーパスワードの削除

ユーザーパスワードは、次の方法で簡単に削除することができます。削除方法は、次のとおりです。

- 1 「Clear User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Clear User Password?
[Ok] [Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、 を押します。

「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。

これでユーザーパスワードが削除されました。

## ▶HDDアクセス制限

HDDアクセス制限の設定をすると、次の状態になります。

- BIOSやWindows起動時、休止状態からの復帰時に管理者パスワードを要求されるようになる
- HDDをほかのコンピューターに接続した場合、認識されないようになる

HDDへの無断アクセスや、万が一HDDが盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDDアクセス制限の設定をします。

### HDDアクセス制限の設定方法

HDDアクセス制限の設定方法は次のとおりです。


※HDDアクセス制限を設定するときは、必ずシャットダウン状態からBIOS Setupユーティリティを起動してください。



制限


パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

#### 1 管理者パスワードを設定します。

 p.170 「パスワードの設定方法」

#### 2 HDDアクセス制限の設定をします。


「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定します。

 p.178 「Securityメニュー画面」

### 解除方法

HDDアクセス制限の解除方法は次のとおりです。

#### 1 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Disabled」に設定します。

 p.178 「Securityメニュー画面」

## ▶起動（Boot）デバイスの順番を変更する

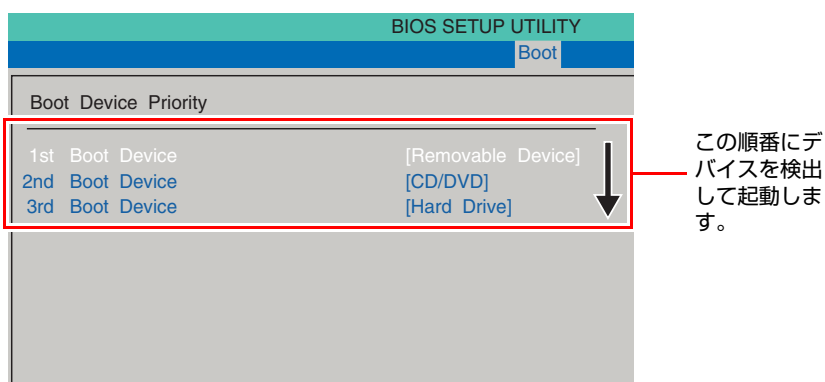
本機の電源を入れて起動しようとしたときに、リムーバブルディスク（USBフラッシュメモリーやUSB HDDなど）を接続していたり、USB FDDにFDがセットされていると、Windowsが起動しないことがあります。

このような場合、「BIOS Setupユーティリティ」で設定されている起動（Boot）デバイスの順番を変更すると、起動したいデバイスからシステムを起動することができます。

### 起動（Boot）デバイスの順番とは

電源を入れると、コンピューターは起動デバイスの順番に従ってデバイスを確認し、最初に見つけたシステム（WindowsなどのOS）から起動します。

起動デバイスの順番の設定は、「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」で行います。



<イメージ>








「Boot Device Priority」に表示されるデバイスは次のとおりです。

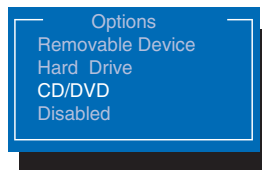
- Removable Device (USB FDDやUSBフラッシュメモリー、USB HDDなど)
- CD/DVD (接続されている光ディスクドライブ)
- Hard Drive (接続されているHDD)
- Network (ネットワーク)
- Disabled (検出するデバイスを割り当てないときに設定します)

購入時は、Removable Deviceの順番がHDDより前に設定されているため、USB機器などのリムーバブルディスクを接続しているとHDD内のWindowsから起動できません。

## 起動 (Boot) デバイスの順番の変更方法

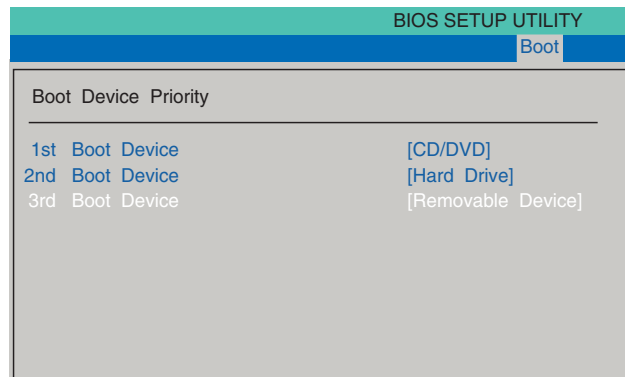
起動デバイスの順番の変更方法は、次のとおりです。ここではリムーバブルディスクを接続した状態でWindowsを起動できるように、光ディスクドライブ、HDD、リムーバブルディスクの順番に設定する方法を説明します。

- 1 「Boot」メニュー画面で「Boot Device Priority」を選択して  を押します。
- 2 サブメニュー画面が表示されたら、現在の起動の順番を確認します。  
購入時は、リムーバブルディスク、光ディスクドライブ、HDDの順番に起動するように設定されています。
- 3 光ディスクドライブの順番を1番目に設定します。  
(1)   で「1st Boot Device」(1番目)を選択し、 を押します。  
(2) 「選択」ウィンドウが表示されたら、  で「CD/DVD」を選択し、 を押します。  
光ディスクドライブの順番が1番目になります。




<選択ウィンドウ画面>

- 4 同様の方法で、HDDの順番を2番目に設定します。  
「2nd Boot Device」(2番目)を「Hard Drive」に設定します。自動的に「3rd Boot Device」(3番目)が「Removable Device」に設定されます。



起動デバイスの順番が変更になり、リムーバブルディスクを接続した状態でWindowsを起動できます。

- 5  を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。

 p.169 「BIOS Setupユーティリティの終了」

これで、起動デバイスの変更は完了です。

# BIOS Setupユーティリティーの設定項目

ここでは、BIOS Setupユーティリティーで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。BIOS Setupユーティリティーのメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Mainメニュー画面  
日付、時間などの設定を行います。
- Advancedメニュー画面  
シリアルATA装置の仕様確認やタッチパッドの設定を行います。
- Securityメニュー画面  
パスワードに関する設定や、マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。
- Bootメニュー画面  
システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
- Exitメニュー画面  
BIOSを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻します。

## ▶ Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間などの設定を行います。  
設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

AMI BIOS	*Version	本機に搭載されているBIOSのバージョンを表示します。
Processor	*Type	本機に搭載されているCPUのタイプを自動的に表示します。
	*Speed	本機に搭載されているCPUの周波数を自動的に表示します。
System Memory	*Size	メモリー容量を起動時に自動的に計算して表示します。
System Time		時刻を設定します。(時：分：秒)の順で表示されています。
System Date		日付を設定します。(曜日/月/日/年)の順で表示されています。



## ▶ Advancedメニュー画面


「Advanced」メニュー画面では、シリアルATA装置の仕様やタッチパッドの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ


SATA Configuration シリアルATA装置の設定を表示します。	SATA Port 0 [Hard Disk]/ SATA Port 1 [ATAPI CDROM]	接続しているシリアルATA装置について、以下の項目をサブメニューに表示します。 表示される項目はシリアルATA装置によって異なります。
	*Device	シリアルATA装置の名称を表示します。
	*Vendor	シリアルATA装置の型番を表示します。
	*Size	HDDの容量を表示します。
	*LBA Mode	LBA (Logical Block Addressing) をサポートしているかどうかを表示します。
	*S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T. (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) をサポートしているかどうかを表示します。
Internal Pointing Device		本機のタッチパッドを使用するかどうかを設定します。 <b>Enabled</b> : タッチパッドを使用します。 <b>Disabled</b> : タッチパッドを使用しません。
Exchange Fn & L-Ctrl key		キーボードの左下側にある <b>Fn</b> と、その隣にある <b>Ctrl</b> の機能を入れ替えるかどうかを設定します。 <b>Disabled</b> : <b>Fn</b> と <b>Ctrl</b> の機能を入れ替えません。 <b>Enabled</b> : <b>Fn</b> と <b>Ctrl</b> の機能を入れ替えます。
Exchange R-Alt & Win App key		キーボードの右下側にある <b>Alt</b> と、その隣にある <b>Win</b> (アプリケーションキー) の機能を入れ替えるかどうかを設定します。 <b>Disabled</b> : <b>Alt</b> と <b>Win</b> の機能を入れ替えません。 <b>Enabled</b> : <b>Alt</b> と <b>Win</b> の機能を入れ替えます。

## ▶ Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定や、マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。パスワードの設定方法は、 p.170 「パスワードを設定する」をご覧ください。  
設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_\_は初期値


\*は項目表示のみ

*Supervisor Password/User Password	Supervisor Password（管理者パスワード）とUser Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 <u>Not Installed</u> ：パスワードが設定されていません。 <u>Installed</u> ：パスワードが設定されています。
Change Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
User Access Level ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードを入力したユーザーがBIOSにアクセスすることを4段階で制限します。 <u>No Access</u> ：BIOSを起動することができません。 <u>View Only</u> ：BIOSを閲覧できますが、設定項目の変更はできません。 <u>Limited</u> ：BIOSを閲覧できるほかに、一部の設定項目を変更できます。 <u>Full Access</u> ：管理者と同一の権利を許可します。BIOSのすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。
Change User Password ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。
Clear User Password ※ユーザーパスワードを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードを削除します。  p.172 「ユーザーパスワードの削除」
Password Check ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 <u>Setup</u> ：BIOS起動時にパスワード入力を要求します。 <u>Always</u> ：BIOSやWindows起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。
Boot Sector Virus Protection ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	HDDのブートセクター（システム領域）への書き込みを禁止するかどうかを設定します。 <u>Disabled</u> ：書き込みを許可します。 <u>Enabled</u> ：書き込みを禁止します。
TPM Security	セキュリティーチップ（TPM）を使用するかどうかを設定します。 <u>Disabled</u> ：セキュリティーチップを使用しません。 <u>Enabled</u> ：セキュリティーチップを使用します。

<p>TPM Security Clear</p> <p>※「TPM Security」を「Enabled」に設定すると表示されます。「Enabled」の設定を保存して再起動すると設定可能になります。</p>		<p>セキュリティーチップ (TPM) の設定を初期化 (消去) します。</p> <p>※初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用することができなくなります。セキュリティーチップの初期化は、十分に注意し、お客様の責任において行ってください。</p> <p>初期化する場合は、 を押し、初期化確認ウィンドウが表示されたら [Ok] を選択します。設定を保存して再起動すると、「TPM Security」は「Disabled」に設定されます。</p>
<p>I/O Interface Security</p> <p>データの盗難を防ぐために、インタフェースの有効、無効を設定します。</p> <p>※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。</p>	AUDIO	<p>サウンド機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : サウンド機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : サウンド機能の使用を不可にします。</p>
	LAN	<p>ネットワーク (有線LAN) 機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : LAN 機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : LAN 機能の使用を不可にします。</p>
	Wireless LAN	<p>無線LAN機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : 無線LAN機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : 無線LAN機能の使用を不可にします。</p>
	SATA ODD	<p>光ディスクドライブ機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : 光ディスクドライブ機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : 光ディスクドライブ機能の使用を不可にします。</p>
	SD/MS/MMC/IEEE 1394	<p>メモリーカード/IEEE1394機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : メモリーカード/IEEE1394機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : メモリーカード/IEEE1394 機能の使用を不可にします。</p>
	USB	<p>USB 機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : USB機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : USB機能の使用を不可にします。</p> <p>※「LOCKED」を選択すると、USBタイプのExpressカードも使用不可となります。</p>
	Express Card	<p>Expressカード機能の使用を可能にするかどうかを設定します。</p> <p><b>UNLOCKED</b> : Expressカード機能の使用を可能にします。</p> <p><b>LOCKED</b> : Expressカード機能の使用を不可にします。</p> <p>※「LOCKED」を選択すると、PCI-Expressタイプのカードのみ使用不可となります。</p>
	<p>Hard Disk Protection</p> <p>※管理者パスワードを設定すると、設定可能になります。</p>	

## ▶ Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。

起動の順番の変更方法については、 p.174 「起動（Boot）デバイスの順番を変更する」をご覧ください。

設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

Windowsを起動する ドライブの順番を設定します。	1st Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。 初期値は、「Removable Device」です。
	2nd Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。 初期値は、「CD/DVD」です。
	3rd Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。 初期値は、「Hard Drive」です。
	4th Boot Device	ネットワークから起動する場合に使用します。 「Boot」メニュー画面－「Onboard LAN Boot ROM」を「Enabled」に設定してから「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択してBIOSを終了します。再度BIOSを起動すると表示されます。初期設定は「Realtek Boot Agent」です。
Onboard LAN Boot ROM		リモートブートを行う場合は「Enabled」に設定します。 <u>Disabled</u> ：無効にします。 Enabled：有効にします。
Wake-Up On LAN (LANからの起動設定)		電源切断時やスリープ状態、休止時において、ネットワークからの信号により起動するかどうかを設定します。この機能を使用するときは、必ずACアダプターを接続してください。また、電源切断状態からの復帰は、Windowsを正常に終了した状態でのみ使用可能です。 <u>Disabled</u> ：設定しません。 Enabled：設定します。

## ▶ Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、BIOSを終了したり、設定を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOSを終了します。
Discard Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOSを終了します。
Discard Changes	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimal Defaults	「Security」メニュー以外の設定を、初期値に戻します。

## ▶ BIOS Setupユーティリティーの設定値

BIOS Setupユーティリティーで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくくと便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

### Advanced メニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容	
Internal Pointing Device	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Exchange Fn & L-Ctrl key	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Exchange R-Alt & Win App key	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

### Security メニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容		
User Access Level* <sup>1</sup>	No Access Limited	View Only Full Access	No Access Limited	View Only Full Access	
Password Check* <sup>1</sup>	Setup	Always	Setup	Always	
Boot Sector Virus Protection* <sup>2</sup>	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	
TPM Security	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	
I/O Interface Security* <sup>2</sup>	AUDIO	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	LAN	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	Wireless LAN	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	SATA ODD	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	SD/MS/MMC/ IEEE 1394	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	USB	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
Express Card	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED	
Hard Disk Protection* <sup>2</sup>	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	

\*<sup>1</sup> 管理者パスワードを設定すると表示されます。

\*<sup>2</sup> 管理者パスワードを設定すると、設定可能になります。

### Boot メニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容	
Boot Device Priority	1st Boot Device			
	2nd Boot Device			
	3rd Boot Device			
	4th Boot Device			
Onboard LAN Boot ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Wake-Up On LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled



# 第5章 ソフトウェアの 再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

「再インストールする前に必ずお読みください」 .....	184
「ソフトウェアの再インストールを行う」 .....	186

# 再インストールする前に必ずお読みください

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に知っておいていただきたい情報について記載しています。

## 再インストールとは

本書では、HDDをフォーマットして、Windowsや本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。再インストールは「リカバリー」とも言います。


## 再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因でWindowsが起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD領域の構成を変更したい場合

## Windowsを修復する

なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows回復環境」でWindowsの修復を行ってみてください。再インストールしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.218 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

### システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「トラブル解決」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

## ▶重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

### 当社製以外のBIOSへのアップデート禁止

当社製以外のBIOSへのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外のBIOSにアップデートすると、再インストールができなくなります。



## Webフィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付のWebフィルタリングソフトウェア「i-フィルター 30日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windowsを再インストールすると利用期限が30日に設定されてしまいます。

この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアルIDを利用してインストールを行ってください。

詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

## 最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

## PCお役立ちナビのバックアップ

サポートツール「PCお役立ちナビ」に収録されているコンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）は、再インストールをすると消えてしまいます。

再インストールの前に、必ずバックアップをとってください。



p.225 「PCお役立ちナビのデータをバックアップする」

# ソフトウェアの再インストールを行う


ここでは、ソフトウェアの再インストール方法について記載しています。

## ▶必要なメディア

再インストールには、次のメディアが必要です。

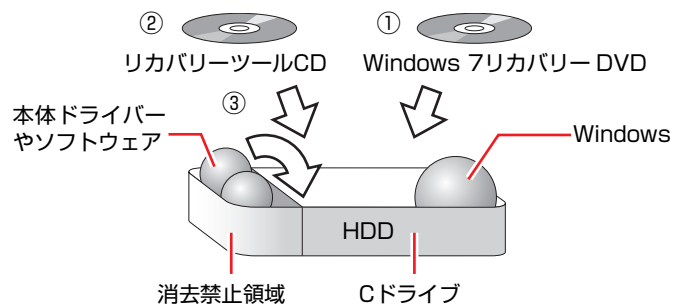
- Windows 7リカバリー DVD  
Windows 7が収録されているDVD-ROMです。
- リカバリーツールCD  
本体ドライバーやソフトウェアを、HDDの「消去禁止領域」からインストールするためのプログラムが収録されているCD-ROMです。
- そのほか必要なメディア  
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

本体ドライバーやソフトウェアはHDDの消去禁止領域に収録されています。専用のメディアは添付されていません。

 p.26 「添付されているソフトウェア」

## ▶再インストールの概要


ソフトウェアの再インストールの概要は、次のとおりです。



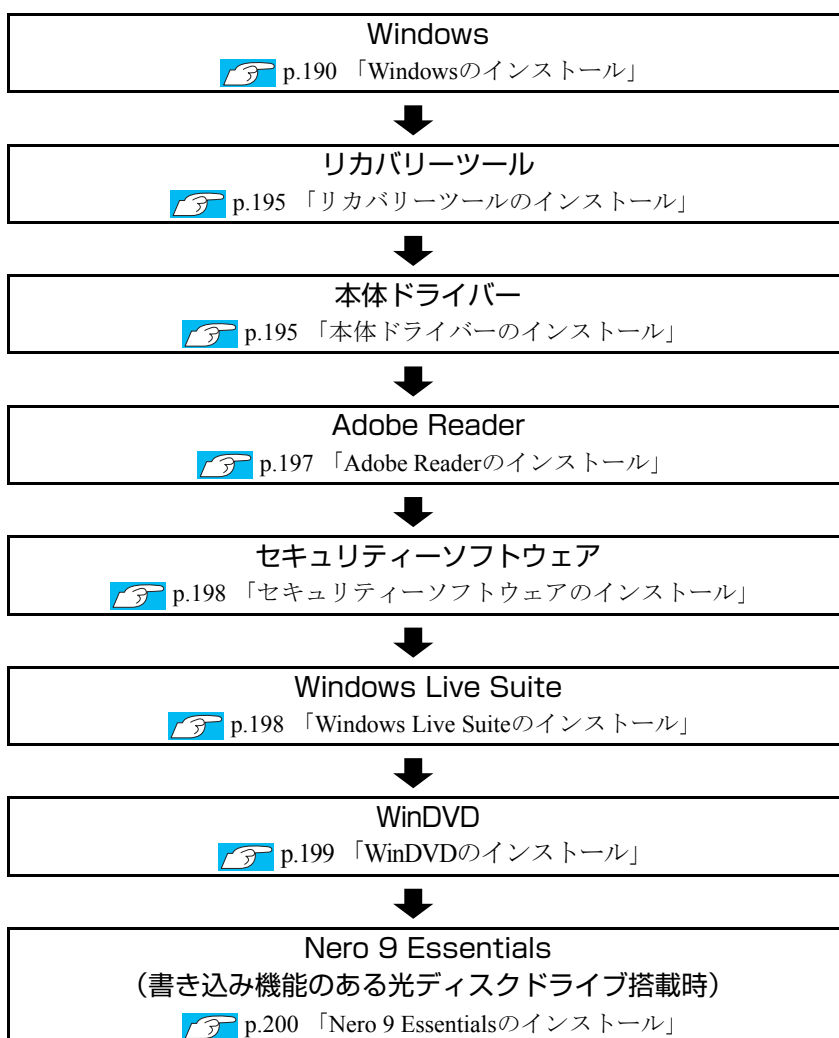
- ① Windows 7リカバリー DVDから、Windowsをインストールします。
- ② リカバリーツールCDから、リカバリーツールをインストールします。  
HDDの消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアのインストールは、リカバリーツールを使用して行います。
- ③ リカバリーツールを使用して、本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

## ▶インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。

購入時のインストール状態は、 p.26 「添付されているソフトウェア」で確認してください。

### 必ずインストールするソフトウェア



## 必要に応じてインストールするソフトウェア



## ▶インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点を確認してください。

### インストール全般

インストール作業は、ACアダプターを接続して行ってください。

### 管理者 (Administrator) のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。

### システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOSの設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。


### ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

Aドライブ : USB FDD (オプション)  
Cドライブ : HDD  
Dドライブ : 光ディスクドライブ

### 各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が初期値に戻ってしまったり、データが消えてしまったりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。


 p.191 「バックアップを取る」

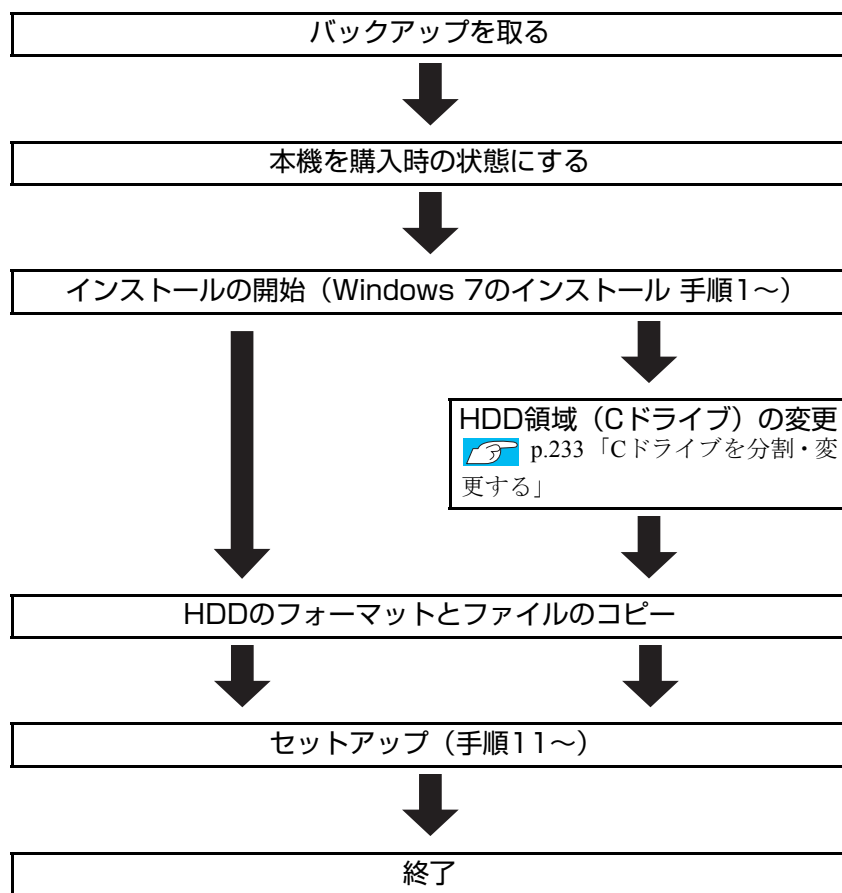
### 初期設定ツール

初期設定ツールは、Windowsを再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

## ▶Windowsのインストール


### インストールの流れ

Windowsのインストールの主な流れは次のとおりです。  
インストール作業は、 p.191 「Windows 7をインストールする」以降の手順に従って行ってください。



### HDD領域 (Cドライブ) を変更するには

Windowsのインストール中にCドライブ (Windowsがインストールされている領域) のサイズを変更したり、分割したりすることができます。


HDD領域の変更や、分割の詳細な説明は、 p.230 「HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成」をご覧ください。

## ▶Windows 7をインストールする

### バックアップを取る

Cドライブの設定やデータは、Windowsの再インストールを行うと消去されます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。\*


- PCお役立ちナビのデータ

 p.225 「PCお役立ちナビのデータをバックアップする」

- ネットワークの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

- Internet Explorerの「お気に入り」、Windows Liveメールの「アドレス帳」やメールデータ

 p.226 「データのバックアップ方法」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- セキュリティーチップユーティリティの設定

セキュリティーチップユーティリティを使用している場合は、設定のバックアップを行ってください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「セキュリティー機能 (TPM) 設定ガイド」－「Windowsを再インストールする前に」

- 重要なデータ

ほかのメディアなどにコピーしておいてください。

HDD領域の変更を行わない場合でも、Cドライブ以外のドライブ（HDD領域）のデータをバックアップすることをおすすめします。

 p.227 「バックアップCDの作成方法」


\*再インストール中にHDD領域の変更を行うと、Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。HDD領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップすることをおすすめします。

### コンピューターを購入時の状態にする

マウスなどの周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われず可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

## Windows 7のインストール

Windows 7のインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、Windowsが起動したら、「Windows 7リカバリーDVD」を光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。ここからはインストールを行いません。
- 2** [スタート] - [D] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。Windowsが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5** オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windowsの起動に伴う…」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」をクリックします。
- 7** 「インストールを開始しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。
- 8** 「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9** 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

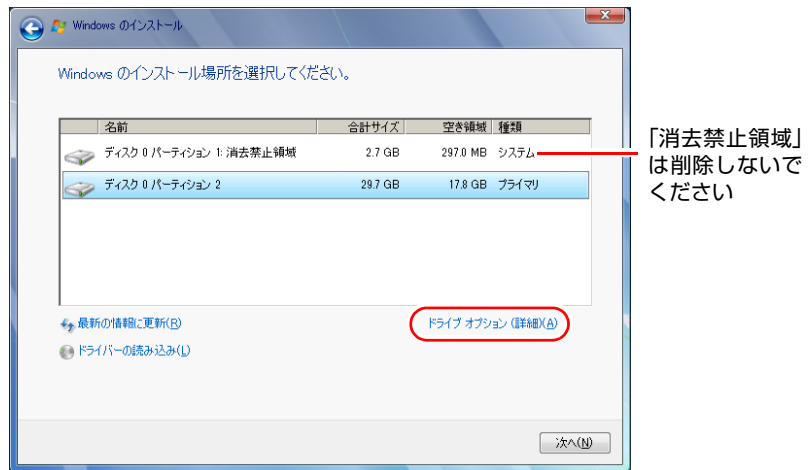


## 10 「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。

※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。

<領域変更を行わない場合（通常）>

(1) 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



<イメージ>


(2) 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ)が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。

(3) 「パーティションには…」と表示されたら、[OK]をクリックします。フォーマットが開始されます。

(4) フォーマットが終了すると、[次へ]がクリックできる状態になります。「ディスク0パーティション2」(Cドライブ)が選択された状態で[次へ]をクリックします。

Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。手順13の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

<領域変更を行う場合>


 p.233 「Cドライブを分割・変更する」の順に従ってください。

## 11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、[次へ]をクリックします。

## 12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、[次へ]をクリックします。


## 13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

- 14** 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、「次へ」をクリックします。
- 15** 無線 LAN 機能が有効になっている場合、「ワイヤレスネットワークへの接続」と表示されます。ここでは「スキップ」をクリックします。  
ワイヤレスネットワークの設定は、後で行います。  
 p.129 「無線LAN接続の設定をする」
- 16** ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。
- 17** Windowsのデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows 7リカバリー DVD」を取り出します。



これでWindowsのインストールは完了です。

- 18** 手順10で領域変更を行った場合は、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。  
領域（パーティション）の作成は、ドライバーやソフトウェアのインストールが終了してから行ってもかまいません。  
 p.234 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

## ▶リカバリーツールのインストール

リカバリーツールは、HDDの消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアのインストールの際に使用します。

リカバリーツールのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「リカバリーツールCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「setup.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」－「コンピューター」－「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 4 以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。  
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。



<リカバリーツールアイコン>

- 5 「リカバリーツールCD」を光ディスクドライブから取り出します。  
これで「リカバリーツール」のインストールは完了です。

## ▶本体ドライバーのインストール

本機のマザーボード上に搭載されているデバイスのドライバー類を、一括してインストールします。

本体ドライバーのインストール手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。

- 4** 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「本体ドライバー」を選択して【インストール】をクリックします。  
手順5の画面が表示されるまでには、数分かかります。



<イメージ>

- 5** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、一覧から【インストール】をクリックします。
- 6** 「インストール確認」画面が表示されます。内容をよくお読みになり、【OK】をクリックします。  
各ドライバーが自動的にインストールされます。インストールには、約15分かかります。
- 7** 「これらの変更を・・・コンピューターを再起動する必要があります。」と表示された場合は、【後で再起動する】をクリックします。
- 8** 「インストールが完了しました。」と表示されたら、【OK】をクリックします。
- 9** 「インストール処理」画面が表示されたら、ドライバーのインストールが正常に完了したかを確認して【PC再起動】をクリックします。  
ドライバーによっては、Windowsの再起動後に自動的にインストールされます。
- 10** 「これらの変更を・・・コンピューターを再起動する必要があります。」と表示された場合は、【今すぐ再起動する】をクリックします。  
Windowsが再起動したら、本体ドライバーのインストールは完了です。

参考

リカバリーツールの「ファイル削除」の表示について

リカバリーツールからインストールを行う際、ソフトウェアによっては一時的にHDDにインストール用データをコピーします。「リカバリーツール」画面で「ファイル削除」が黒字で表示されるときは、コピーされた不要なインストール用データがHDDに残っています。「ファイル削除」をクリックしてデータを削除すると、HDDの容量を節約することができます。

## ▶ Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

### インストール

Adobe Readerのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Adobe Reader」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5 「インストール先のフォルダ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、[インストール] をクリックします。  
インストールにはしばらく時間がかかります。
- 7 「セットアップ完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。  
続いてAdobe Readerのセットアップを行います。

### セットアップ

インストールが完了したら、続いてセットアップを行います。Adobe Readerのセットアップ手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「Adobe Reader」アイコンをダブルクリックします。

- 2 「使用許諾契約書」が表示されたら、「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。

同意する場合は、[同意する] をクリックします。[同意しない] を選択すると、Adobe Readerは使用できません。

これで、Adobe Readerのセットアップは完了です。

## ▶セキュリティソフトウェアのインストール

---

本機に添付のセキュリティソフトウェア「マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版」をインストールします。

市販のセキュリティソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

### マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版のインストール

マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版のインストール方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーションCD」を選択して、[インストール] をクリックします。
- 5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、一覧から「McAfee PC Security Center 90日版」をクリックします。
- 6 マカフィーのインストール画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。


## ▶Windows Live Suiteのインストール

---

「Windows Live Suite」は、「Windows Liveメール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。

Windows Live Suiteのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。

- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーションCD」を選択して、[インストール] をクリックします。
- 5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、一覧から「Windows Live Suite」をクリックします。
- 6 「サービス利用規約」と表示されたら、[同意する] をクリックします。
- 7 「インストールする製品を選択してください」と表示されたら、インストールしたい製品にチェックを付けて、[インストール] をクリックします。  
購入時にインストールされている製品は、 p.53「Windows Live Suite」に記載しています。
- 8 「もう少しで完了です」と表示されたら、[続行] をクリックします。
- 9 「Windows Liveへようこそ!」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。  
これで、Windows Live Suiteのインストールは完了です。

## ▶ WinDVDのインストール

「WinDVD」は、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。  
WinDVDのインストール手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「InterVideo WinDVD …」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5 「InstallShield Wizard」画面が表示された場合は、WinDVD のインストールに必要なアプリケーションをインストールします。
- 6 「WinDVD セットアップへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶Nero 9 Essentialsのインストール

---

---

＜書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時＞

「Nero 9 Essentials」は、光ディスクドライブで書き込みを行うためのソフトウェアです。

Nero 9 Essentialsのインストール手順は次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4** 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Nero 9 Essentials」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5** 「Nero MultInstaller」画面が表示されたら、[Nero 9 Essentials] をクリックします。
- 6** 「Nero 9 Essentialsのインストールへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶WDLCフォトガジェットのインストール

---

---

「WDLCフォトガジェット」は、デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。

WDLCフォトガジェットのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4** 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーションCD」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5** 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、一覧から「WDLC フォトガジェット」をクリックします。  
これで、WDLCフォトガジェットのインストールは完了です。



## ▶Webフィルタリングソフトウェアのインストール

本機に添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。i-フィルター 30日版は、有害サイトをブロックするためのWebフィルタリングソフトウェアです。

市販のWebフィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

### i-フィルター 30日版のインストール

i-フィルター 30日版のインストール手順は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「i-フィルター 30日版」を選択して [インストール] をクリックします。
- 5 「i-フィルター…インストール」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「使用許諾契約」と表示されたら、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 7 「セットアップタイプ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8 「インストール準備の完了」と表示されたら、[インストール] をクリックします。

デスクトップ上に「i-フィルター」アイコンが表示されたら、i-フィルター 30日版のインストールは完了です。

続いて、i-フィルター 30日版のユーザー登録を行います。

### i-フィルター 30日版のユーザー登録

i-フィルター 30日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。

ユーザー登録はインターネット接続後に行います。

ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。  
Windowsを再起動した場合は、「i-フィルター・・・」画面が自動的に表示されます。

- 2 「i-フィルター…」画面が表示されたら、使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、「[i-フィルター] を使ってみる」をクリックします。
- 3 「[i-フィルター] の開始」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。

## ▶JWord Pluginのインストール

---

「JWord Plugin」は、Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。

JWord Pluginのインストール手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「JWord Plugin」を選択して「インストール」をクリックします。
- 5 「JWordプラグイン…へようこそ」画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶gooスティックのインストール

---

「gooスティック」は、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。

gooスティックのインストール手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「gooスティック」を選択して「インストール」をクリックします。
- 5 「インストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。これで、gooスティックのインストールは完了です。

## ▶そのほかのインストール

---

必要に応じて次のインストールを行ってください。

### 各種ドライバーのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバーやユーティリティ、ソフトウェアなどのインストールが必要です。インストールは、オプション機器類に添付されているメディアを使用して行ってください。



#### インストールが必要なドライバーの例

お使いになるシステム構成によって、次のようなドライバーやユーティリティが必要になります。

- USB対応機器を使用する場合：USB機器に添付のドライバー
- プリンターを使用する場合：プリンターに添付のドライバー

### そのほかのソフトウェアのインストール

「Office」など、そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。インストール方法はソフトウェアのマニュアルをご覧ください。


## ▶再インストール後の作業

---

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。


### 領域の作成

Windowsのインストール中にHDD領域を変更した場合、「未使用の領域」はそのままでは使用できません。Windowsの「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。

 p.235 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

### ネットワークの設定

ネットワーク（有線LAN）や無線LANを使用する場合は、ネットワークへの接続を行います。

 p.122 「ネットワーク（有線LAN）を使う」

 p.124 「無線LANを使う」


### ネットワークアダプターの設定

Wakeup On LANを使用して、ネットワークからの信号により本機を復帰できるようにするため、ネットワークアダプターの設定を行います。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「システム」 - 「デバイスマネージャー」 - 「ネットワークアダプター」 - 「Realtek PCIe …」 - 「電源の管理」タブをクリックします。
- 2 「このデバイスで…」にチェックを付け、[OK] をクリックします。  
これで作業は完了です。

### バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

 p.226 「データのバックアップ方法」

- PCお役立ちナビのデータ
- Internet Explorer、Windows Liveメールの設定の復元
- 重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

### Windows Update

Windowsの再インストールを行うと、今までに行った「Windows Update」のプログラムがインストールされていない状態に戻ります。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、Windowsが最新の状態になります。

 p.141 「Windows Update」

# 第6章 困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

「トラブルが発生したら」 .....	206
「起動・画面表示できないときは」 .....	208
「トラブル時に効果的な対処方法」 .....	215

# トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

## ▶ 起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PCお役立ちナビ」の[トラブル解決]で対処方法を探してください。

ダブルクリック

<PC お役立ちナビアイコン>

トラブル解決

お役立ち

マニュアル検索

検索

ブックマーク

質問を入力してください。ハードディスク内の情報と、ウェブサイトのオンライン情報との照らし合わせが可能です。

SEARCH

キーワード | クリア

PCお役立ちナビ

TOP

トラブル解決

お役立ち

マニュアル検索

「システム診断ツール」起動

Webでもっと見る

設定方法/機能別

- コンピュータ本体
- 周辺機器
- サウンド
- Windows操作
- ネットワーク/インターネット
- アプリケーション
- 文字入力

トラブルの解決方法別

- ハードウェア故障のときは

コンピュータの管理者と制限付きアカウント

1台のコンピュータを複数のユーザーが使用する場合、ユーザーごとに「アカウント」を作成すれば、お互いが干渉せずにコンピュータを利用することができます。さらに、パスワードを設定する（→ユーザー/パスワードを設定する）と、自分のアカウントは自分だけが使うことができます。

「アカウント」には、「コンピュータの管理者（Administrator）」と「制限付きアカウント（制限ユーザー）」の2種類があり、Windowsの管理における操作の違いがあります。

- 「コンピュータの管理者」  
コンピュータに必ず存在しているアカウント（ユーザー）で、コンピュータを管理する役目を担っています。Windowsの管理機能の中には、アプリケーションのインストールやアカウントの作成/削除など、管理者でなければ操作できないものが多数あります。
- 「制限付きアカウント」  
Windowsの管理において操作できることが制限されており、パスワードの作成/変更/削除や自分のアカウントの画像変更くらいしかできません。

なお、通常のWindowsやアプリケーションの操作は、どちらのアカウントでも同じように行うことができます。

■コンピュータの管理者と制限付きアカウントの違い  
操 作 コンピュータの管理者 制限付きアカウント  
アプリケーションドライバのインストール ○ ×  
Windowsのシステム設定 ○ ×

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

トラブルの種類を選択します

## Windowsのトラブルシューティングツール


Windows 7にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

【スタート】－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。


## ▶ 起動・画面表示できない場合

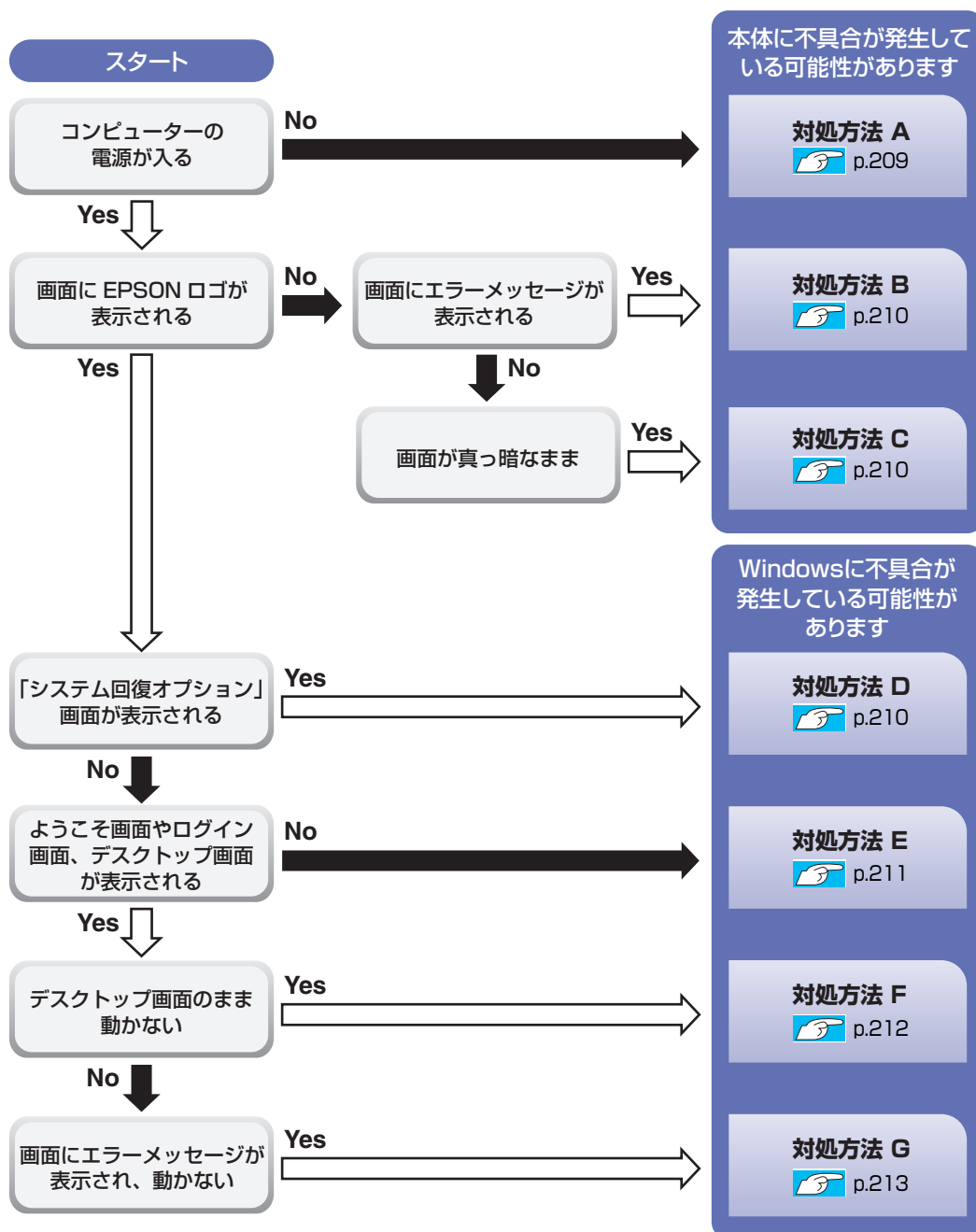
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.208 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

# 起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

## ▶ 診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.209 「対処をする」へ進んでください。





## ▶ 対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。対処を行っても不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

### 対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

#### 1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

#### 2 コンピューターへの電源供給を確認する

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、ACアダプター、電源コードを接続しなおし、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。ACアダプターを接続して使用してみてください。

#### 3 壁のコンセントに直接接続する

電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。

#### 4 消費電力の大きい機器を停止する

大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。


#### 5 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

#### 6 電源保護回路を解除する

過電流によってコンピューターが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（マウス、外付けディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

## 対処方法 B

まず、 p.214 「エラーメッセージ/警告音一覧」をご覧ください。エラーメッセージに応じた対処を行ってください。あてはまるメッセージがない場合は、次の対処を順番に行ってみてください。

### 1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

## 対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

### 1 コンピューターへの電源供給を確認する

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、ACアダプター、電源コードを接続しなおし、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。  
バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。ACアダプターを接続して使用してみてください。

### 2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


### 3 電源保護回路を解除する

過電流によってコンピューターが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（マウス、外付けディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

## 対処方法 D

次の対処を行ってみてください。

### 1 Windows 回復環境 (Windows RE) で不具合対処をする

 p.219 「システム回復オプション」画面が表示されたら

## 対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

**1 コンピューター本体の電源を入れなおす**

電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

**2 周辺機器や増設した装置を取り外す**

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

**3 セーフモードで起動し、システムの復元を行う**

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。



p.216 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。



p.216 「システムの復元」

**4 前回正常起動時の構成で起動する**

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。



p.217 「前回正常起動時の構成で起動する」

**5 BIOS の設定を初期値に戻す**

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。



p.169 「設定値を元に戻す」

**6 Windows REを使う**

「Windows回復環境 (Windows RE)」の回復ツールを使用して、Windowsを修復してみてください。



p.218 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

**7 Windowsを再インストールする**

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。



p.186 「ソフトウェアの再インストールを行う」

## 対処方法 F

次の対処を順番に行ってみてください。

### 1 コンピューター本体の電源を入れなおす


電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

### 2 周辺機器や増設した装置を取り外す


本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

### 3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う


必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.216 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。


 p.216 「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.216 「システムの復元」


### 4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

 p.217 「前回正常起動時の構成で起動する」


### 5 Windows REを使う

「Windows回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windowsを修復してみてください。

 p.218 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

### 6 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.186 「ソフトウェアの再インストールを行う」

## 対処方法 G


次の対処を順番に行ってみてください。

**1 コンピューター本体の電源を入れなおす**


電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

**2 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う**


必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.216 「セーフモードでの起動」


セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.216 「常駐ソフトの停止」


常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.216 「システムの復元」**3 Windows REを使う**

「Windows回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windowsを修復してみてください。

 p.218 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」**4 Windowsを再インストールする**

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.186 「ソフトウェアの再インストールを行う」

## ▶エラーメッセージ/警告音一覧

本機は、起動時に自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次のメッセージが表示されたり、警告音（ビープ音）が鳴ったりした場合には、対処を行ってください。対処を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

### エラーメッセージ









メッセージ	説明と対処方法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ブートデバイスにシステムがない場合は、「BIOS Setupユーティリティ」－「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。</li> <li>● ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。</li> </ul>
CMOS Battery Low	バックアップ用電池の容量が不足して、CMOS RAMの内容を保持できません。テクニカルセンターまでご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOSの設定が正しく行われていません。BIOS Setupユーティリティを起動して、「Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択してください。
CMOS Date/Time Not Set	日付と時間の設定が正しく行われていません。BIOS Setupユーティリティを起動し、日付と時刻の設定をなおしてから「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択してください。

### 警告音（ビープ音）

警告音の回数	警告の内容	説明と対処方法
1	Memory refresh timer error	メモリーリフレッシュが正しく行われていません。メモリーの増設・交換を行った場合は、取り付けなおしてください。
3	Main memory read/write test error	メモリーの読み込み、書き込みが正しく行われていません。メモリーの増設・交換を行った場合は、取り付けなおしてください。
6	Keyboard controller BAT test error	キーボードが正しく機能していません。テクニカルセンターまでご連絡ください。
7	General exception error	メモリー、キーボード以外のシステムが正しく動作していません。テクニカルセンターまでご連絡ください。
8	Display memory error	ビデオメモリーが正しく動作していません。テクニカルセンターまでご連絡ください。

# トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
セーフモードで起動  p.216 必要最低限の状態ではWindowsを起動します。	● Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止  p.216 不具合のある常駐ソフトを停止します。	● Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき (セーフモードで起動できたとき)
システムの復元  p.216 Windowsを以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	● Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき (セーフモードで起動できたとき)
前回正常起動時の構成で起動  p.217 Windowsを前回正常起動できた状態に戻します。	● Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき (セーフモードでも起動できないとき)
BIOSの初期化  p.169 BIOSの設定を初期値に戻します。	● BIOSの設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
Windows回復環境 (Windows RE)  p.218 Windowsを修復します。	● 「システム回復オプション」画面が表示されたとき ● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール  p.186 本機を購入時の状態に戻します。	● Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき (上記項目の対処をしても起動できないとき) ● HDDの領域を分割したいとき
システム診断ツール  p.221 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	● 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

## ▶セーフモードでの起動

---

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。  
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20秒程放置してから電源を入れます。
- 2 EPSONと表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押して「セーフモード」を選択し、**←** を押します。  
セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

## ▶常駐ソフトの停止

---

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼働中、常に稼働しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、**↵** を押します。
- 2 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。
- 3 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。  
常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

## ▶システムの復元

---

コンピューターの動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行ってWindowsを以前の状態（復元ポイントが作成された時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。



- 2** 「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。  
復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。
- 3** [次へ]をクリックします。
- 4** 復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、[次へ]をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了]をクリックします。
- 6** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい]をクリックします。  
コンピューターが再起動します。
- 7** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。  
これでシステムの復元は完了です。

## ▶ 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

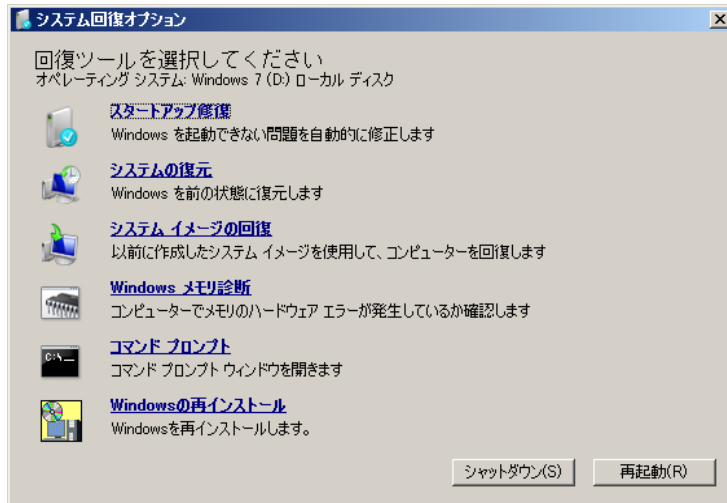
- 1** シャットダウン状態からコンピューターの電源を入れます。
- 2** 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3** 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押し、**←** を押します。

## ▶Windows回復環境（Windows RE）を使う

本機のHDDとWindows 7リカバリーDVD内には、「Windows 回復環境（Windows RE）」が設定されています。Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、不具合に対する対処を行うことができます。

### Windows RE の項目

Windows REには、次の項目があります。




<イメージ>

- スタートアップ修復

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

- システムの復元

コンピューターの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。Windowsの動作が不安定な場合に行ってみてください。

 p.216 「システムの復元」

問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

- システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「トラブル解決」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

- Windows メモリ診断

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

- コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

## 「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windows に不具合が起きると、HDD 内のWindows RE が自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順でWindows RE の項目を表示させ、対処を行います。

- 1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 2 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 3 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.218 「Windows RE の項目」

## HDD 内のWindows RE を手動で起動する

HDD 内のWindows RE は、手動で起動することもできます。

手動で起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、**↵** を押します。

- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.218 「Windows RE の項目」

## DVD のWindows RE を使用する

Windows RE は、本機に添付の「Windows 7リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されているWindows RE を消去してしまった場合などに使用してください。

DVD に収録されているWindows RE の起動方法は、次のとおりです。

- 1 「Windows 7リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットして、コンピューターを再起動します。
- 2 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
- 3 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 4 オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.218 「Windows RE の項目」

## ▶システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

### システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の2種類があります。

- PCお役立ちナビから起動するシステム診断ツール

PCお役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windowsを起動できる場合に使用します。

- CDから起動するシステム診断ツール

Windowsが起動できない場合に、「リカバリーツールCD」からツールを起動してシステム診断を行います。

### システム診断を実行する

Windowsを起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

#### Windowsを起動できる場合

PCお役立ちナビからシステム診断を行います。  
実行方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「PCお役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。



<PC お役立ちナビアイコン>

- 2** PCお役立ちナビが起動したら、[トラブル解決] – [システム診断ツール起動] をクリックします。

- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[[はい]] をクリックします。

- 4** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。  
該当項目の診断が開始されます。

- 5** 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。

「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。

『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

## Windowsを起動できない場合

「リカバリーツールCD」からシステム診断ツールを起動します。  
実行方法は、次のとおりです。

- 1** リカバリーツールCDを光ディスクドライブにセットして、コンピューターを再起動します。
- 2** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 3** 診断が終了したら、診断結果を確認します。  
「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。
- 4** 光ディスクドライブからリカバリーツールCDを取り出し、電源を切ります。  
これでシステム診断は完了です。

# 付録

お手入れ方法やHDD領域の作成方法、仕様などについて説明します。

「お手入れ」 .....	224
「データのバックアップ」 .....	225
「バックアップCDの作成」 .....	227
「セキュリティーチップ（TPM）によるデータの暗号化」 .....	229
「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」 .....	230
「リチウム電池の交換」 .....	238
「コンピューターを廃棄するときは」 .....	239
「機能仕様一覧」 .....	241

# お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



制限

お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## ▶本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

### 外装

コンピューター本体の外装の汚れは、柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



制限

- 本機をたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

### LCD画面

LCD画面は乾いた布やティッシュペーパーなどで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。



# データのバックアップ

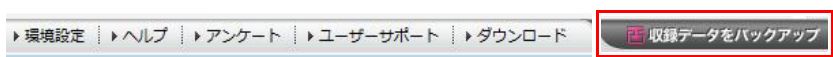
Windowsを再インストールすると、Windowsがインストールされるドライブ（通常Cドライブ）に保存しているデータはすべて消去されます。Windowsを再インストールする前に、必要なデータのバックアップを取っておいてください。

## ▶PCお役立ちナビのデータをバックアップする

PCお役立ちナビに収録されている、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）は、Windowsを再インストール（リカバリー）すると、消えてしまいます。Windowsの再インストールをする際は、事前にバックアップを行ってください。

### バックアップ方法

光ディスクメディアやUSB記憶装置をセットしてから、PCお役立ちナビ画面右下の「収録データをバックアップ」をクリックし、画面の指示に従ってバックアップを行ってください。



### 復元方法

バックアップしたデータの入った光ディスクメディアやUSB記憶装置をセットしてから、PCお役立ちナビ画面右下の「バックアップ情報を復元」をクリックし、画面の指示に従って復元を行ってください。



## コンテンツやマニュアルデータをダウンロードする

データのバックアップを取らずに再インストールをしてしまった場合は、Webのユーザーサポートページから、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）をダウンロードします。



ダウンロードしたマニュアル類（ユーザーズマニュアル以外）は、PCお役立ちナビには復元できません。マニュアルごとにファイル（PDF）を開いてご覧ください。

### ダウンロード

PCお役立ちナビで、コンテンツやマニュアルを表示する際、画面に「コンテンツデータが存在しません」と表示されたら、メッセージ内のリンクからユーザーサポートページにアクセスし、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）をダウンロードします。

### 復元

ダウンロードしたファイル内に記載されている復元方法に従って、データを復元します。

### 検索情報の再構築

マニュアルとコンテンツ類を復元したら、検索情報の再構築を行います。画面下 [環境設定] 内の [検索情報の再構築] をクリックしてください。

## ▶データのバックアップ方法

---

作成したファイルやInternet Explorerの「お気に入り」など、HDD内のデータをバックアップする方法やバックアップしたデータを復元する方法は、次の場所をご覧ください。

**「PCお役立ちナビ」 - 「トラブル解決」 - 「Windowsの操作」 - 「バックアップ」 - 「Windows転送ツールを使う」**

# バックアップCDの作成

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

HDDの消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データは、CDメディアにバックアップすることができます。

HDDが故障したり、誤って消去禁止領域を削除したりすると、インストール用データは消えてしまいます。万一に備え、インストール用データをCDメディアにバックアップしておくことをおすすめします。

## ▶バックアップCDの作成方法

バックアップCDはリカバリーツールを使用して作成します。

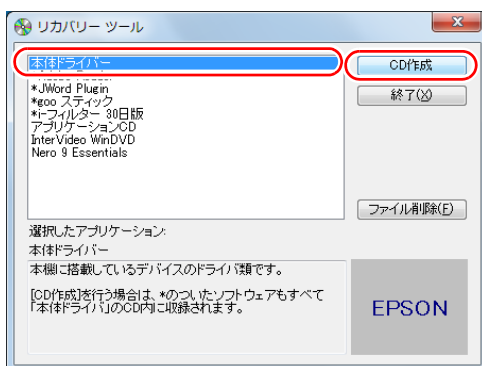
バックアップCDの作成方法は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。



<リカバリーツールアイコン>

- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[CD作成] をクリックします。
- 4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧の画面が表示されたら、一覧からCDにバックアップしたい項目を選択して [CD作成] をクリックします。  
バックアップするデータが一時的にHDDにコピーされます。選択した項目によっては、手順5の画面が表示されるまでに数分かかります。



<イメージ>

項目名の前に「\*」のついたソフトウェアは、すべて本体ドライバーのCD内に収録されます。それ以外の項目は、1項目につきCDメディアが1枚必要です。

- 5 画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってCDに書き込みを行ってください。


## ▶バックアップCDからインストールを行うには

---

作成したバックアップCDから本体ドライバーやソフトウェアをインストールする方法は次のとおりです。

ここでは、本体ドライバーのバックアップCDからインストールする手順を例に説明します。

- 1 作成した本体ドライバーのバックアップCDを光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
クリックする記載内容は、「Setup.exeの実行」など、作成したバックアップCDによって異なります。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] – 「コンピューター」 – 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。  
本体ドライバー以外のソフトウェアをインストールする場合は、ソフトウェア名をクリックします。

ここで表示される画面は、作成したバックアップCDによって異なります。  
以降の手順は、 p.186 「ソフトウェアの再インストールを行う」のそれぞれの項目をご覧ください。

# セキュリティーチップ (TPM) によるデータの暗号化

本機に搭載されているセキュリティーチップ (TPM) を使用すると、本機に保存されているデータを高度に暗号化することができます。TPMのセキュリティー機能の使用方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「セキュリティー機能 (TPM) 設定ガイド」



TPM のセキュリティー機能で設定したパスワードは絶対に忘れないでください。忘れた場合、それまでに暗号化したデータの復元ができなくなります。

## 使用上の注意

これは管理者向けの機能です。TPMのセキュリティー機能を使用する場合は、内容を十分に理解し、お客様の責任において暗号化を行ってください。

## TPMのセキュリティー機能使用前の準備

TPMのセキュリティー機能を使用するには、BIOSの設定と「セキュリティーチップユーティリティ」のインストールが必要です。

### ● BIOSの設定

BIOSの設定値を次のように変更します。

「Security」メニュー画面

「TPM Security」: Enabled (有効)

購入時は、「Disabled」に設定されています。



p.165 「BIOS Setupユーティリティの操作」

### ● セキュリティーチップユーティリティのインストール

購入時、本機に「セキュリティーチップユーティリティ」はインストールされていません。TPMのセキュリティー機能を使用するには、セキュリティーチップユーティリティのインストールを行う必要があります。インストール方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「セキュリティー機能 (TPM) 設定ガイド」

# HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成

ここでは、HDD領域（ドライブ）を分割・変更して使用方法について説明します。

## ▶HDD領域を分割して使用する（概要）

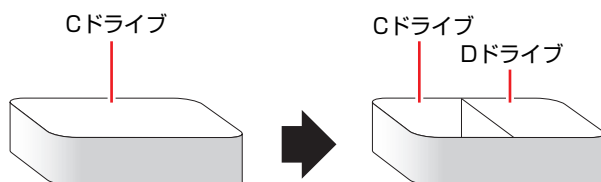
### HDD領域（ドライブ）の分割

HDD領域は、いくつかに分けて、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

HDDを分割した1つ1つを「HDD領域」または「パーティション」とも言います。また、Windowsで使えるHDD領域が、「ドライブ」になります。

<1台のHDDを分割する>

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を、2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割します。



#### 消去禁止領域

HDD領域には、「消去禁止領域」が作成されています。

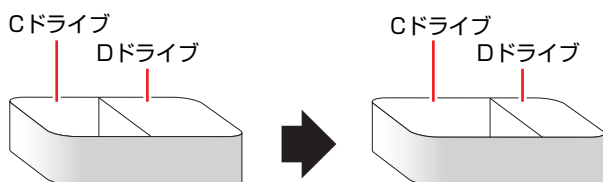
「消去禁止領域」には、本体ドライバーやソフトウェアなどを再インストールするためのデータと「Windows回復環境（Windows RE）」が設定されています。この領域を削除すると再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

### HDD領域（ドライブ）のサイズの変更

すでに分割されているHDD領域のサイズ（容量）を変更することもできます。

<ドライブのサイズを変更する>

例：Cドライブのサイズを大きくします。



この場合は、CドライブとDドライブを削除して、分割しなおす必要があります。

## ▶Cドライブを分割・変更する

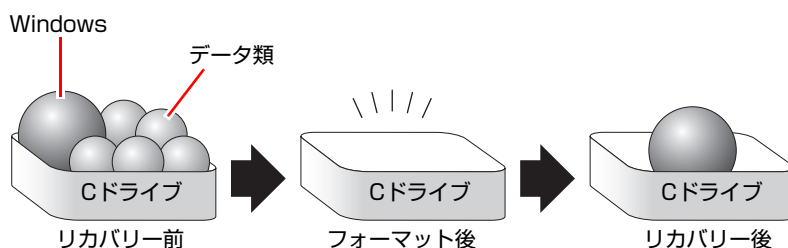
### Cドライブ分割のメリットとデメリット

Cドライブを分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。  
Cドライブを分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

#### ●メリット

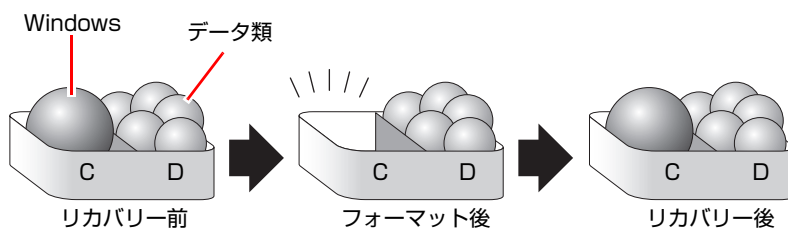
HDD領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、リカバリー（Windowsの再インストール）時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。

#### <HDD領域が1つの場合>



リカバリーを行うと、Cドライブのデータはすべて消去されます。

#### <HDD領域を分割した場合>



たとえば、WindowsやソフトウェアはCドライブに、作成したデータなどはDドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリー（Windowsの再インストール）を行うと、消去されるのはCドライブのみとなるため、Dドライブのデータは、リカバリー後、すぐにそのまま使用することができます。



制限


HDD が分割されている状態でリカバリーを行うときは、万一に備えて C ドライブ以外のドライブの重要なデータもバックアップしてください。

● デメリット

- Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割を行うには、リカバリー（Windowsの再インストール）が必要です。
- HDD 領域を変更すると、変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。


## Cドライブの分割・変更の流れ

Cドライブの分割・変更は、リカバリー（Windowsの再インストール）中に行います。サイズ（容量）を変更するには、まず変更するドライブを削除してからサイズを指定して再作成します。


Cドライブ以外のドライブの変更方法は、 p.234 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

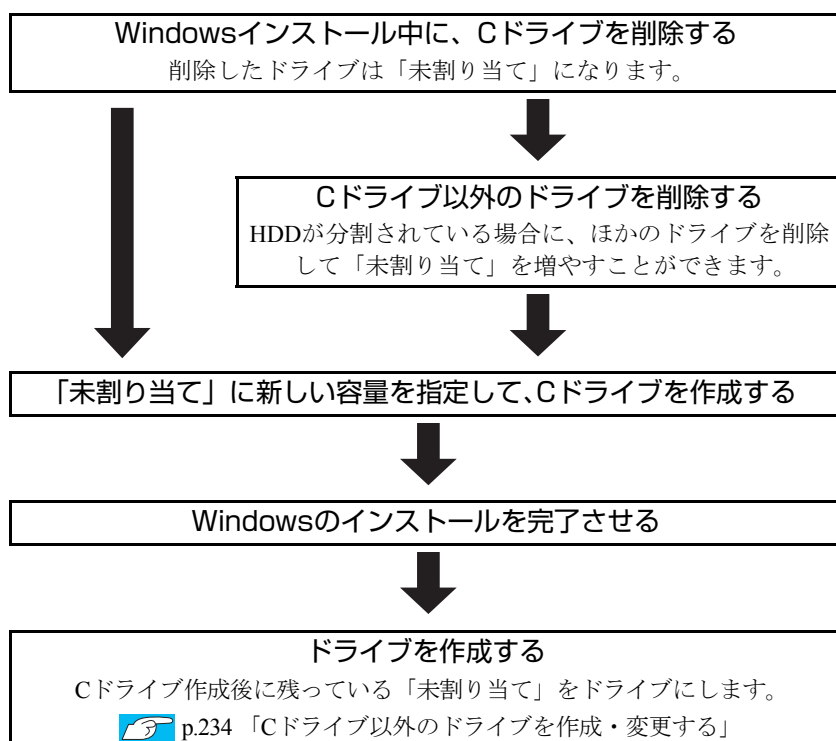


ドライブを分割・変更すると、分割・変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。必要に応じてバックアップを取っておいてください。

 p.225 「データのバックアップ」

Cドライブの分割・変更の流れは次のとおりです。


作業は  p.233 「Cドライブを分割・変更する」に従ってください。





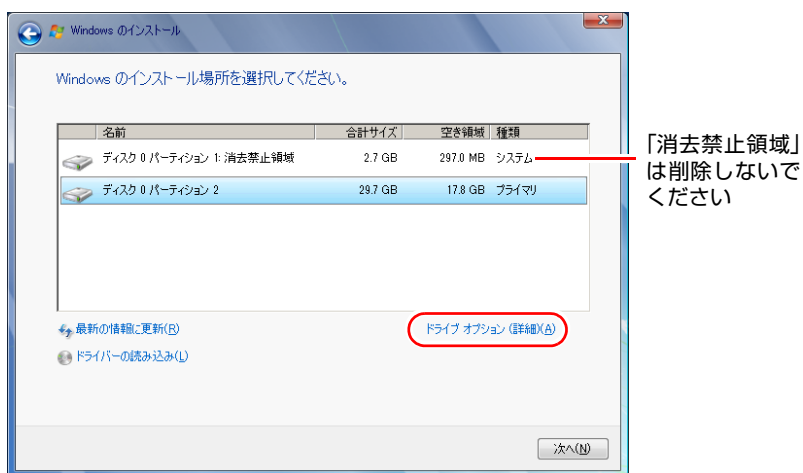
## Cドライブを分割・変更する

Cドライブの分割・変更をする場合は、Windowsの再インストールが必要です。

 p.192 「Windows 7のインストール」の手順10を次の手順に読み替えて、Windowsのインストールを行ってください。

<p.192 「Windows 7のインストール」の手順10の読み替え>

### 1 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



<イメージ>

### 2 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で「削除」をクリックします。

### 3 「パーティションには…」と表示されたら、[OK] をクリックします。

削除したパーティション (Cドライブ) が「未割り当て領域」となります。

### 4 次のとおり作業を続けます。

<Cドライブを分割したい場合>

(1) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

手順5に進みます。

<Cドライブの容量を増やしたい場合>


すでにHDDが分割されている場合は、Cドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。

(1) そのほかのパーティションもCドライブと同様に削除し、「ディスク0未割り当て領域」を増やします。

(2) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

手順5に進みます。


- 5 Cドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。  
Cドライブには、40GB（40000MB）程度を割り当てることをおすすめします。
- 6 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で、「次へ」をクリックします。  
Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。  
続いて  p.192 「Windows 7のインストール」手順11に進みます。  
手順11の画面が表示されるまで、キーボードやタッチパッドは操作しないでください。

## ▶Cドライブ以外のドライブを作成・変更する


ここでは、Cドライブ以外のドライブを作成・変更する方法について説明します。

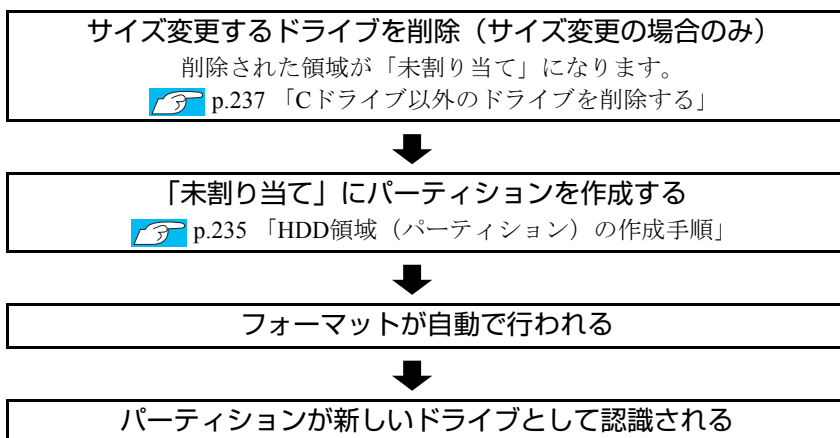
次のような場合にご覧ください。

- Cドライブ以外のドライブのサイズを変更する場合
- Windowsの再インストール中にCドライブを分割して作成・変更された「未割り当て」をドライブにして使用する場合

Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割・変更を行う場合は、  
 p.231 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

### ドライブ作成・変更の流れ

ドライブの作成の流れは次のとおりです。  
作業は  p.235 「HDD領域（パーティション）の作成手順」に従ってください。

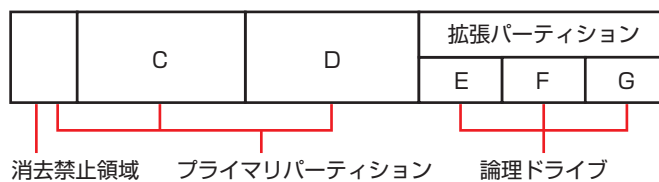


※ HDD 内の「未割り当て」にパーティションを作成すると、パーティションは、Windows上でドライブ（DやEなど）として利用できるようになります。


**参考**
**パーティションとは**

ドライブの作成・変更を行う画面（ディスクの管理）では、HDD領域のことを「パーティション」と言います。パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。

- 1つのHDDに作成できるパーティションは最大で4つです。「消去禁止領域」もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。本機にはすでに3つパーティションが設定されているため、新たに作成できるのは拡張パーティションのみです。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

**<パーティションの組み合わせの例>**


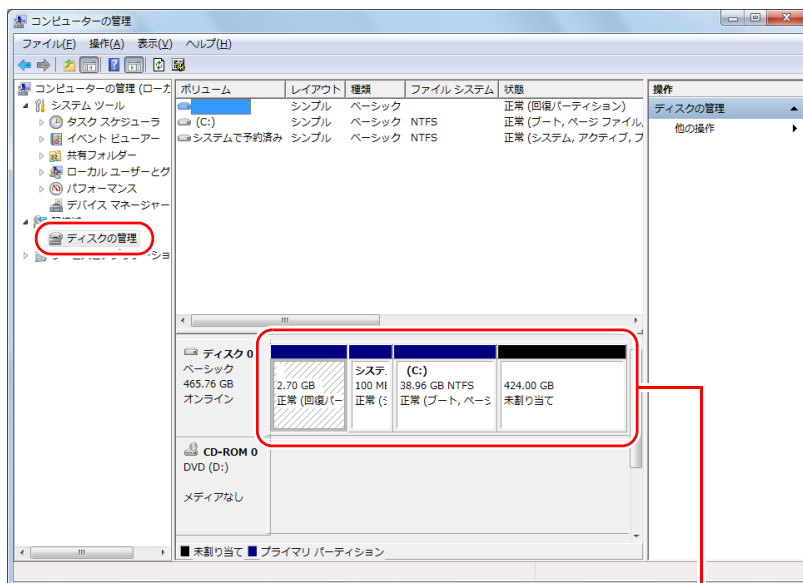
## HDD領域（パーティション）の作成手順

HDD領域（パーティション）を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「管理ツール」 - 「コンピューターの管理」をダブルクリックします。

## 2 「コンピューターの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

HDD領域の状態が表示されます。



HDD領域の状態

<イメージ>

## 3 パーティションを作成したい「未割り当て」または「空き領域」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。

## 4 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

## 5 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。

## 6 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。

## 7 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。

## 8 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されます。[完了] をクリックします。

フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、HDD領域（パーティション）の作成は完了です。

## ▶Cドライブ以外のドライブを削除する

Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のサイズを変更するには、変更するドライブを削除して、新しいサイズでドライブを作成しなおします。

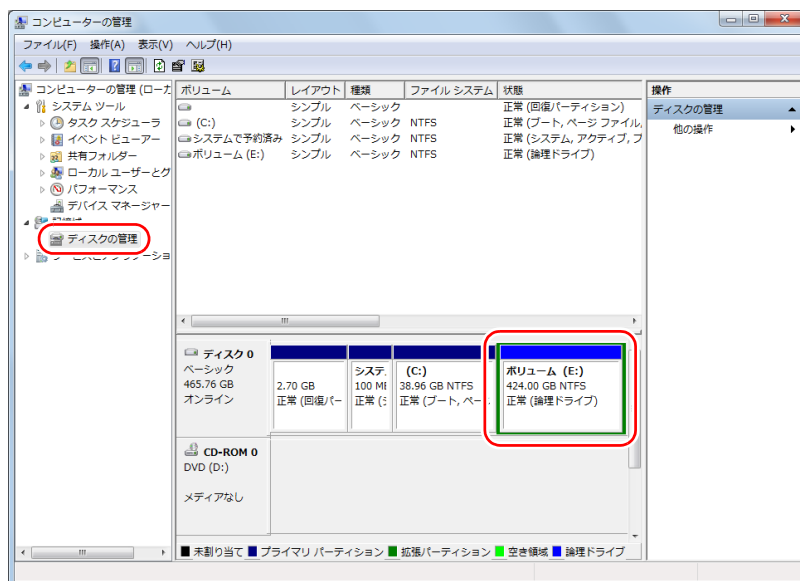
ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。ドライブ内の重要なデータは、CドライブやCD-Rメディアなどにあらかじめバックアップを行ってください。

ドライブを削除する手順は、次のとおりです。

**1** [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「管理ツール」 - 「コンピューターの管理」をダブルクリックします。

**2** 「コンピューターの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

HDD領域の状態が表示されます。




<イメージ>

**3** 削除したいドライブ（パーティション）を右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。

**4** 「・・・続行しますか？」と表示されたら【はい】をクリックします。

パーティションを削除すると、「未割り当て」または「空き領域」になります。「未割り当て」または「空き領域」をパーティションとして使用したい場合は、パーティションの作成を行います。

 p.235 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

# リチウム電池の交換

BIOS Setupユーティリティーで設定した情報は、本機内部のリチウム電池によって保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況によって異なりますが、ACアダプターやバッテリーからの電源供給が全くない場合、本機のリチウム電池の寿命は約5年です。

日付や時間が異常になったり設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。『サポート・サービスのご案内』(別冊)をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

# コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄するときは『サポート・サービスのご案内』（別冊）の「コンピューターの廃棄・譲渡について」をご覧ください。

## ▶HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前にHDDのデータを消去してください。

リカバリーツールCDに収録されている「システム診断ツール」では、HDD内のデータをすべて消去することができます。










消去を開始すると、HDDのデータはもとには戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

### データの消去

HDD内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、リカバリーツールCDを光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [D] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。
- 5** 選択項目画面が表示されたら、 で「HD Erase」を選択して  を押します。
- 6** 選択項目画面が表示されたら、 で「Full Erase」を選択して  を押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択して  を押します。  
「!!WARNING!!」画面が表示されます。  
消去が開始されると、途中で止めることはできません。消去を中止する場合は、 を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。

**8** キーボードで「Yes」と入力します。

消去が始まります。

消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間はHDDの容量によって異なります（40GBのHDDの場合で約30分）。

**9** 「Erase of HDD :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、リカバリーツールCDを光ディスクドライブから取り出して、コンピューターの電源を切ります。

これでデータの消去は完了です。



# 機能仕様一覧

項目		NJ3100	NJ3100E
CPU	プロセッサ	インテル Celeron プロセッサ	インテル Core 2 Duo プロセッサ
	ソケット	Socket479	
チップセット		モバイルインテル GM45 Express + ICH9M	
BIOS		AMI BIOS	
メインメモリー	メモリー	PC2-6400 (DDR2-800 SDRAM) を使用して最大4GBまで搭載可能 (システム上利用できるのは約3GBまで)	
	スロット	SODIMMスロット (200ピン) ×2 (同容量2枚1組で使用の場合、デュアルチャネルで動作)	
インテルターボ・メモリ (オプション)		購入時の選択による	
ビデオ機能	コントローラー	モバイルインテル GM45 Express チップセット内蔵3Dグラフィックス	
	メモリー (メインメモリーと共用)	メインメモリー 1GB搭載時: 最大269MB メインメモリー 2GB搭載時: 最大782MB メインメモリー 4GB搭載時: 最大1294MB	
	液晶タイプ、液晶表示解像度 (最大)	15.4型TFT WXGA+カラー液晶: 1440×900 15.4型TFT WXGAカラー液晶: 1280×800 True Color 32ビット (約1,677万色) *1	
	外部ディスプレイ表示解像度 (最大) *2	1600×1200 1920×1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ) True Color 32ビット (約1,677万色)	
HDD		シリアルATA対応 2.5型HDD (容量は購入時の選択による)	
光ディスクドライブ		シリアルATA対応 スリム光ディスクドライブ (種類は購入時の選択による)	
IEEE1394機能		400Mbps (1394a) 対応	
サウンド機能		インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応Realtek製ALC662コントローラー ステレオスピーカー (出力1.5W×2)、モノラルマイク	
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応 Realtek製RTL8111Cコントローラー	
キーボード		日本語対応87キー、インスタントキー 2個	
ポインティングデバイス		タッチパッド	
インタフェース	USB	4 (右側面×2、背面×2): USB2.0	
	IEEE1394	1: 4ピン	
	LAN	1: RJ-45	
	サウンド	マイク入力×1、ヘッドホン出力×1	
	ディスプレイ	VGA ミニD-SUB 15ピン×1、HDMI 19ピン×1	
メモリーカードスロット*3		1: SDメモリーカード (SDHC対応)、マルチメディアカード、メモリースティック (PRO対応) に対応	
Expressカードスロット		1: Express Card/34/54スロット	
セキュリティーチップ (TPM)		TPM1.2対応Infineon SLB9635TT1.2コントローラー	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		365×264×41mm (突起部を除く)	
質量		約2.7kg (バッテリー含む/基本構成時)	
電源	ACアダプター*4 (SADP-65KB)	入力: AC100V~240V±10% (50/60Hz)、1.5A 出力: DC19V、3.42A、65W 質量: 約320g (電源コード含む)	
	バッテリー (BT3203-B)	容量: 4800mAh リチウムイオン 11.1V 動作時間*5: 約4.3時間 (Core 2 Duo搭載時)、約4.0時間 (Celeron 搭載時)	
消費電力 (AC側)		76.5W (最大) / 1.3W (スリープ時) / 1.0W (電源OFF時)	
動作環境		動作温度: 10~35℃、動作湿度: 20~80% (ただし、結露しないこと)	

\*1 ビデオコントローラーのディザリング機能により実現。

\*2 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

\*3 SDメモリーカード、メモリースティックの著作権保護機能、またメモリースティックおよびメモリースティックPROの高速転送、セキュリティー機能には非対応。

\*4 標準添付の電源コードはAC100V用 (日本仕様)。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。

\*5 動作時間はJEITA測定方法Ver1.0の測定値 (システム構成や使用環境により異なる)。

無線LAN\*<sup>1</sup> (オプション)

## ● IEEE802.11a/b/g

準拠規格	IEEE802.11a : ARIB STD-T71 (小電力データ通信システム規格) (W52/W53/W56) 5GHz 無線LAN標準プロトコル IEEE802.11b/g : ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格) 2.4GHz 無線LAN標準プロトコル
データ転送速度 (規格値) * <sup>2</sup>	802.11a/g: 54Mbps 802.11b : 11Mbps
伝送方式	OFDM方式 (IEEE802.11a/g) DS-SS方式 (IEEE802.11b)
伝送距離 (理論値)	11Mbps : 40m (IEEE802.11b) 54Mbps : 25m (IEEE802.11g) /12m (IEEE802.11a) 屋内におけるアクセスポイントとの通信時* <sup>3</sup>
セキュリティー	128/64bit WEP、WPA、WPA2対応
認証	802.1x* <sup>4</sup>
使用無線 チャンネル	IEEE802.11a : 36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/108/112/116/ 120/124/128/132/136/140 (W56) IEEE802.11b : 1~13ch IEEE802.11g : 1~13ch

## ● IEEE802.11nドラフト2.0

準拠規格	IEEE802.11nドラフト2.0
データ転送速度 (規格値) * <sup>2</sup>	450Mbps
伝送方式	MIMO方式
セキュリティー	WPA、WPA2対応 (AESのみ)
認証	802.1x* <sup>4</sup>

\*<sup>1</sup> 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : 533AN\_MMW

認証番号 : 003WWA080152、003XWA080153、003YWA080154

\*<sup>2</sup> 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。\*<sup>3</sup> 実際の通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windowsなどの使用条件によって短くなります。\*<sup>4</sup> 当社では、Windows 2003 ServerとのIEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS対応認証サーバー) + WPA (TKIP) との組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

# 索引

## A

ACアダプター	
接続する	38
使う	62
ACアダプターコネクタ	33
Adobe Reader	27
インストール	197
セットアップ	197

## B

BIOS	163
BIOS Setupユーティリティ	165
HDDアクセス制限	173
起動	165
起動(Boot)デバイスの順番を変更する	174
終了	169
設定項目	176
設定値	181
設定値を元に戻す	169
操作	166
パスワードの設定	170

## C

Caps Lockランプ	31
CDメディア	
読み込み・再生	88
COAラベル	25
CPRM	89
CPU	241
Cドライブ	82
分割・変更する	231
Cドライブ以外のドライブ	
削除する	237
作成・変更する	234

## D

DVD VIDEO再生ソフト	89
DVDメディア	
読み込み・再生	89
DVI-HDMI変換アダプター	109

## E

Expressカード	100
------------	-----

## F

Fnキー	76, 79
------	--------

## G

gooスティック	27, 140
インストール	202

## H

HDDアクセス制限	173
HDDアクセスランプ	32
HDD設定変更サービス	83
HDDのデータ消去	239
HDD領域	82
分割・変更・作成	230
HDD(ハードディスクドライブ)	
使う	82
HDMIコネクタ	33
HDMI接続	109

## I

IEEE1394コネクタ	33, 151, 162
IEEE802.11a/b/g/n	124
Intel Matrix Storage Manager	26
Internet Explorer	138
情報バー	139
追加機能	140
i-フィルター 30日版	27, 144

- インストール ..... 201  
 管理パスワード ..... 145  
 ユーザー登録 ..... 201
- J**
- Java2 Runtime Environment ..... 27  
 JWord Plugin ..... 27, 140  
   インストール ..... 202
- L**
- LANケーブル ..... 122, 129  
   接続 ..... 37, 122  
 LANコネクタ ..... 33, 162  
   接続 ..... 37, 122  
 LCD画面 ..... 30  
   お手入れ ..... 224  
 LCD表示 ..... 112  
 LCDユニット ..... 30, 104  
 LCDタッチ ..... 30
- M**
- MACアドレスフィルタリング ..... 134  
 MS-IME ..... 77
- N**
- Nero 9 Essentials ..... 27  
   インストール ..... 200  
   使い方 ..... 92  
 NumLockランプ ..... 31, 78
- O**
- Outlook Express ..... 138
- P**
- PCお役立ちナビ ..... 27, 54
- S**
- SODIMM(メモリー) ..... 155  
 SSID ..... 125  
 SSID非通知 ..... 136  
 Supervisor Password(管理者パスワード) ..... 170
- T**
- TKIP ..... 131  
 TPM(セキュリティーチップ) ..... 229
- U**
- USB ..... 94  
 USB機器 ..... 94  
   接続と取り外し ..... 94  
   使う ..... 94  
 USBコネクタ ..... 33, 162  
 USBマウス ..... 74  
 User Password(ユーザーパスワード) ..... 170
- V**
- VGAコネクタ ..... 33, 162
- W**
- Wakeup On LAN ..... 123  
 WDLICフォトガジェット ..... 27  
   インストール ..... 200  
 Webフィルタリング ..... 144  
 Webフィルタリングソフトウェア ..... 144  
   インストール ..... 201  
 WEP ..... 131  
 Windows 7 ..... 26  
   インストール ..... 190, 192  
   セットアップ ..... 43  
 Windows 7リカバリーDVD ..... 26, 186  
 Windows Live Suite ..... 27  
   インストール ..... 198

Windows Live メール	138
Windows RE	48, 218
Windows Update	141
Windows回復環境	48, 218
Windowsの修復	48
Windowsメモリ診断	219
WinDVD	27, 89
インストール	199
WPA	131

## あ

アイコン	20
アウトLOOKエクスプレス (Outlook Express)	138
アクセスランプ	30, 32
アップグレードサービス	154
アップデート	
Windows	141
アナログ接続	109
アルファベットの入力	78
暗号化	131

## い

色	107
インスタントキー	31, 81
インスタントキードライバー	26
インスタントキーユーティリティ	26
インストール	
Adobe Reader	197
gooスティック	202
i-フィルター 30日版	201
JWord Plugin	202
Nero 9 Essentials	200
WDLCフォトガジェット	200
Webフィルタリングソフトウェア	201
Windows 7	190, 192
Windows Live Suite	198

WinDVD	199
セキュリティソフトウェア	198
セキュリティチップユーティリティ	229
本体ドライバー	195
マカフィー・PCセキュリティセンター	
90日期間限定版	198
リカバリーツール	195
インターネットエクスプローラー (Internet Explorer)	138
インテル・ターボ・メモリ	26, 151

## え

液晶ディスプレイ	104
----------	-----

## お

オーディオ機器の接続	119
お手入れ	224
お問い合わせ情報シール	25
オペレーティングシステム (OS)	19
音量の調節	120

## か

解像度	107
書き込み	
光ディスクメディア	91
拡張デスクトップ表示	112
拡張パーティション	235
各部の名称と働き	30
カスタマイズ	22
かな入力	77
画面サイズ切り替えキー	31
画面サイズの切り替え	107
画面表示	104
管理者	51, 189
管理者パスワード	170
管理パスワード	
i-フィルター 30日版	145

## き

キーボード .....	32, 76
起動順位の変更 .....	174
機能キー .....	76
機能仕様一覧 .....	241
休止状態 .....	148
強制取り出し	
光ディスクメディア .....	88
記録メディア .....	9

## く

クリックボタン .....	32
クローン表示 .....	112

## こ

コピーコントロールCD .....	84
コマンドプロンプト .....	219
コンピューターウイルス .....	142
コンピューターの廃棄 .....	239
コンピューター名 .....	43

## さ

再インストール .....	184
必要なメディア .....	186
再起動 .....	58
サウンド機能 .....	118
サウンドドライバー .....	26
サウンドユーティリティ .....	120
サポート・サービスのご案内 .....	25

## し

システムイメージの回復 .....	219
システム診断ツール .....	28
HDDのデータ消去 .....	239
システムの拡張 .....	153
システムの復元 .....	218

終了 .....	57
電源を切る .....	56
仕様 .....	241
消去禁止領域 .....	26, 27, 83, 230
省電力機能 .....	48, 147
省電力状態	
移行しない設定 .....	149
移行方法 .....	149
復帰方法 .....	150
使用・保管時の注意 .....	8
初期設定ツール .....	45
シリアルATA .....	82
シングルチャネル .....	155

## す

数値キー .....	76
数値の入力 .....	78
スクロール .....	72
スタートアップ修復 .....	218
スタートボタン .....	20
スタートメニュー .....	20
ステータス表示ランプ .....	31
ステレオスピーカー .....	34, 118
スリープ .....	148

## せ

制御キー .....	76
セキュリティー機能 .....	229
セキュリティーソフトウェア .....	142
インストール .....	198
セキュリティーチップユーティリティ .....	27
インストール .....	229
設定 .....	191
セキュリティーチップ (TPM) .....	229
セキュリティーロックスロット .....	33, 152

- 接続と取り外し  
 USB機器 ..... 94  
 設定値を元に戻す ..... 169  
 セットアップ  
 Adobe Reader ..... 197  
 Windows ..... 43  
 セットアップ完了後の作業 ..... 46  
 セットと取り外し  
 Expressカード ..... 100  
 メモリーカード ..... 97
- そ**  
 外付けディスプレイ ..... 109  
 解像度と表示色 ..... 117  
 キーボードで画面表示を切り替える ..... 113  
 接続 ..... 109  
 ユーティリティで画面表示を切り替える ..... 114  
 外付けディスプレイ表示 ..... 112  
 ソフトウェア  
 強制終了 ..... 59
- た**  
 タスクバー ..... 20  
 タッチパッド ..... 32, 71  
 タッチパッドドライバー ..... 26  
 タブ ..... 20  
 ダブルクリック ..... 72
- ち**  
 チップセットドライバー ..... 26  
 直接入力モード ..... 77
- つ**  
 通知領域 ..... 20  
 通風孔 ..... 33, 34
- て**  
 ディスクの管理 ..... 204, 236  
 ディ스플레이 (LCD) ..... 104  
 データの暗号化 ..... 229  
 デジタル接続 ..... 109  
 デスクトップ ..... 20  
 デュアルチャネル ..... 155  
 電源スイッチ ..... 31  
 電源の入れ方 ..... 42  
 電源ランプ ..... 32  
 電源を切る ..... 56  
 強制終了 ..... 59  
 シャットダウン ..... 56  
 添付されているソフトウェア ..... 26
- と**  
 ドラッグアンドドロップ ..... 72  
 トラブルシューティングツール ..... 207  
 「取り外し」アイコン ..... 95, 98, 102
- な**  
 内蔵ステレオスピーカー ..... 34, 118  
 内蔵マイク ..... 30, 118
- に**  
 日本語入力システム ..... 77  
 日本語入力モード ..... 77
- ね**  
 ネットワークドライバー ..... 26  
 ネットワークプロファイル ..... 133  
 ネットワーク (有線LAN) ..... 122
- の**  
 ノーマル表示 ..... 108

## は

パーティション .....	235
ハードディスクドライブ (HDD) .....	82
使う .....	82
廃棄 (コンピューター) .....	239
パスワード .....	170
パスワードの設定 .....	170
バックアップ .....	191, 225
バックアップCD	
インストール .....	228
作成 .....	227
バックライト .....	106
バッテリー残量低下	
省電力状態に移行 .....	149
通知 .....	66
バッテリー充電ランプ .....	32
バッテリーパック .....	34
交換 .....	67
装着する .....	36
使う .....	62
ハングアップ .....	59

## ひ

光ディスクドライブ .....	30
使う .....	84
光ディスクドライブアクセスランプ .....	30
光ディスクドライブイジェクトホール .....	30
光ディスクドライブイジェクトボタン .....	30
光ディスクメディア	
書き込み .....	91
読み込み・再生 .....	88, 89
ビデオドライバー .....	26
標準ユーザー .....	51

## ふ

ファイル削除	
リカバリーツール .....	197
フォルダーメニュー .....	50
プライマリパーティション .....	235
ブロードバンドモデム .....	129
プロジェクター .....	111

## へ

ヘッドホン出力コネクタ .....	33, 119, 162
-------------------	--------------

## ほ

ボタン .....	20
本機の終了方法 .....	56
本体ドライバーのインストール .....	195

## ま

マイク入力コネクタ .....	33, 119, 162
マウスの接続 .....	74
マカフィー・PCセキュリティセンター	
90日期間限定版 .....	27, 142
インストール .....	198
マカフィー・サイトアドバイザプラス .....	140

## む

無線LAN	
ON/OFF方法 .....	128
接続の設定 .....	129
使う .....	124
無線LANアイコン .....	132, 136
無線LANアクセスポイント .....	129
無線LANキー .....	31, 128
無線LAN状態ランプ .....	32, 128
無線LANドライバー .....	26



**め**

メディアの強制取り出し .....	88
メモリーカード .....	96
メモリーカードスロット .....	33, 162
メモリーカードドライバー .....	26
メモリー (SODIMM) .....	155
増設・交換 .....	156

**も**

文字キー .....	76
文字を入力するには .....	77

**ゆ**

ユーザーアカウント .....	51
ユーザーアカウント制御画面 .....	52
ユーザー登録	
i-フィルター 30日版 .....	201
ユーザーパスワード .....	170

**ら**

ライセンス認証 .....	44
---------------	----

ライティングソフト .....	91
-----------------	----

**り**

リカバリー .....	184
リカバリーツール .....	26
インストール .....	195
バックアップCDの作成 .....	227
ファイル削除 .....	197
リカバリーツールCD .....	26, 186
リチウム電池の交換 .....	238
リモートブート .....	123
領域の作成 .....	204

**ろ**

ローマ字入力 .....	77
論理ドライブ .....	235

**わ**

ワイド表示 .....	108
-------------	-----

## 使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼働システムなどの極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

## 有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

\* LCD ユニットの最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

## JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

## パソコン回収について



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。  
PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。  
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。  
<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

## 著作権保護法

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

- Microsoft、Windows、Windows 7、Windows Live、Internet Explorer、Windows Media、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Celeron、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- PS/2はInternational Business Machinesの登録商標です。
- McAfeeおよびマカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関連会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Memory Stick、マジックゲート、Memory Stickのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- MultiMedia Card™は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標です。
- SDロゴは商標です。

そのほかの社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

The logo graphic consists of a blue horizontal bar with three white diagonal stripes on the right side, positioned above a white rectangular box that is partially open on the left side.

**shop.epson.jp**